

政策事業に係る

成果説明書

担当	政策経営課 政策調整担当
----	-----------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費
事業名	21 特別定額給付金事業（政策）				

総合計画体系	02-02-01-01				
事業期間	単年度のみ	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	4,144,799	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	0	0
歳 入 計		4,144,799	0
歳出内訳	03 職員手当等	3,214	0
	10 需用費	318	0
	11 役務費	7,189	0
	12 委託料	3,278	0
	18 負担金、補助及び交付金	4,130,800	0
歳 出 計		4,144,799	0
(参 考)		当初予算額 0	当初予算額 0

【事業の概要】

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、緊急事態宣言の下、人々が連携して一致団結し、見えざる敵との闘いという国難を克服しなければならないと示されたため、迅速かつ的確に家計への支援を行うことを目的とした国庫補助事業。

■給付額：給付対象者1人につき10万円

■実施主体：市町村

■実施に要する経費（給付事業費及び事務費）：国（補助率10/10）

■給付対象者数：41,499人

■給付者数：41,308人

■給付率：99.5%

【事業の成果】

市民への周知をHP等で複数回実施し、未申請者に対する個別案内も行うなど、給付対象者が申請忘れをしない対策を行ったことで、99.5%の方に給付することができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
給付者数	人	41,308	0

担当	政策経営課 政策調整担当
----	-----------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費
事業名	03 企画調整事業（政策）				

総合計画体系	07-05-02-01		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	34,360	42,350
歳 入 計		34,360	42,350
歳出内訳	07 報償費	0	166
	08 旅費	9	53
	10 需用費	124	57
	11 役務費	109	0
	12 委託料	27,697	23,034
	14 工事請負費	3,327	8,158
	18 負担金、補助及び交付金	3,093	10,882
	計	34,360	42,350
(参 考)		当初予算額 43,960	当初予算額 36,503

【事業の概要】

- ①新型コロナウイルス感染症対策スマホ決済ポイント還元業務委託 6,274千円
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、市内における消費の喚起及びキャッシュレス決済の推進。
- ②スマートIC実施計画策定業務委託 10,461千円
本市エリア内の常磐自動車道と接続するスマートICの整備に向け、地域の概況や整備効果などを検討し、設置可能性等について調査。
- ③通学定期券購入費助成事業 3,093千円
若い世代の転出抑制と本市への定住促進を目的として、鉄道を利用して県外の大学院、大学等に通う学生の保護者に対し、通学定期券の購入に要する経費の一部を助成。
- ④自転車活用推進計画策定業務委託 5,000千円
- ⑤国土強靱化地域計画策定業務委託 4,290千円
- ⑥サイン工事 3,327千円 等



【事業の成果】

- ①スマホ決済対象事業者並びに利用者は共に増加し、キャッシュレス決済が推進されました。
- ③通学定期券購入費助成事業は、茨城県外に遠距離通学する大学生等の保護者の経済的負担を軽減し、教育の機会の均等を図ることに寄与しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
通学定期券購入費助成実績件数	件	103	236
通学定期券購入費助成実績額	円	3,093,000	10,867,000

担当	政策経営課 政策調整担当
----	-----------------


款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 企画費
事業名	07 公共交通対策事業（政策）				

総合計画体系	03-02-01-07			
事業期間	継続	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	55,550	37,097		
歳 入 計		55,550	37,097		
歳 出 内 訳	18 負担金、補助及び交付金	55,550	37,097		
歳 出 計		55,550	37,097		
(参 考)		当初予算額	62,517	当初予算額	42,610

【事業の概要】

<p>公共交通対策事業（かすみがうら市地域公共交通会議）</p> <p>①千代田神立ラインの運行 J R 神立駅西口から、神立病院や千代田ショッピングモールなどを經由して、J R 神立駅東口と土浦協同病院を結ぶ路線バスを1日15便運行。</p> <p>②霞ヶ浦広域バスの運行 玉造駅からあじさい館、土浦協同病院を經由して土浦駅までを結ぶ路線バスを1日5往復運行。</p> <p>③デマンド型乗合タクシーの運行 希望の時間帯を予約して、自宅から目的地近くの指定乗降箇所まで利用できるデマンド型乗合タクシーを千代田地区と霞ヶ浦地区において、それぞれ運行。</p> <p>④高齢者運転免許自主返納支援 高齢者の運転免許の自主返納に対して、交通系ICカードSuicaを進呈。</p> <p>⑤地域公共交通計画の策定</p>	
---	---

【事業の成果】

高齢者の運転免許返納による移動の支援について、広報誌や市HP等での周知の徹底を図った結果、申請数が年々増えています。			
指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
霞ヶ浦広域バス年間延べ利用者数	人	20,885	33,747
高齢者運転免許の自主返納者への支援数	人	95	72

担当	秘書広報課 広報担当
----	---------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 広聴広報費
事業名	10 広報事業（政策）				

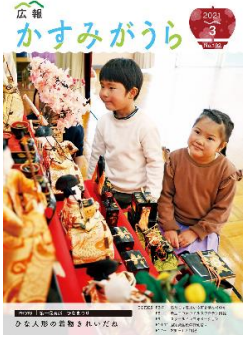
総合計画体系	07-04-01-01		
事業期間	単年度のみ	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	1,040	1,018
	一 般 財 源	9,213	7,045
歳 入 計		10,253	8,063
歳出内訳	10 需用費	3,013	2,817
	12 委託料	6,334	4,807
	13 使用料及び賃借料	906	439
出 計		10,253	8,063
(参 考)		当初予算額 10,736	当初予算額 8,143

【事業の概要】

- 広報誌による市民への市政・地域情報の定期配信
 - ・「広報かすみがうら」毎月20日 年12回発行 総20ページ
 - ・「広報かすみがうらお知らせ版」毎月5日 年12回発行 総4ページ
- 広報デジタルブックの配信
 - ・ 広報誌等をデジタルブック化し、スマートフォンやタブレット利用者向けに配信。音声読み上げや多言語化にも対応し、利用者の拡大を図る
- 市ホームページによる市民への市政・地域情報の配信や観光客向けの観光情報の配信及び市ホームページ閲覧者へ支援機能を充実
 - ・ 市ホームページ運用 アクセス数 年間約47万 月平均4万
 - ・ 市ホームページ支援 音声読み上げや多言語化（10言語／日本語、英語、韓国語、中国繁体語・簡体語、タイ語、インドネシア語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語）により、高齢者や外国人市民等の利用を支援
- 市公式メールマガジンによる暮らし情報や観光情報を定期配信
 - ・ メールマガジンの配信 毎月10日・25日定期配信、防災情報や選挙情報を随時配信
- アプリやSNSを活用した幅広い世代への情報発信によるソーシャルメディア戦略
 - ・ 公式アプリの配信 市ホームページの最新情報をプッシュ通知で常時配信
 - ・ 市公式SNSの配信 幅広い世代に利用されるツイッター・フェイスブックを活用し、行政情報や暮らし情報、観光情報を配信
- 広報誌やホームページを利用した有料広告で財源を確保
 - ・ 広報誌8枠、お知らせ版4枠、ホームページ6枠の有料広告枠を確保



【事業の成果】

広報誌による定期的で正確な情報伝達とホームページ及びSNSによる素早い情報提供により、市民への情報発信はもとより、市外の方にも本市の魅力を高めることができました。

区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
有料広告収入	千円	1,040	1,018
メールマガジンの新規登録者数	人	132	87

担当	情報政策課 情報政策担当
----	-----------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 情報管理費
事業名	07 電子自治体推進事業（政策）				

総合計画体系	07-05-01-01			
事業期間	継続	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	11,033	1,105		
歳 入 計		11,033	1,105		
歳 出 内 訳	18 負担金、補助及び交付金	11,033	1,105		
歳 出 計		11,033	1,105		
(参 考)		当初予算額	13,047	当初予算額	1,106

【事業の概要】

本事業は、公共施設等の行政端末の整備やネットワーク化を推進し、電算化による住民サービスの向上を目的としています。主な内容はLGWAN関連機器の保守、各種協議会等の運営負担です。県域共同システム等の利活用により、サービス向上の効果が期待されています。

◆いばらき公共施設予約システム整備運営協議会運営負担金 424,774円
第1常陸野公園・わかぐり運動公園・多目的運動広場等のスポーツ施設を市民等が予約するシステム。

◆茨城県共同システム整備運営協議会負担金 10,607,974円 (昨年度：684,257千円)

電子申請・届出システム

統合型GIS

林地台帳システム

GIS空中写真撮影負担金【負担金の増額要因】

※3年に1度の実施で令和2年度は実施年度



【事業の成果】

システムを活用した手続き等やGISの搭載レイヤーの増加に伴い、確実に利用度が高まっています。

指 標 区 分	単 位	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度
電子申請・届出システム利用件数	件/年	1,940	1,495
統合型GISレイヤー利用数	枚	544	513

担当	公共施設等マネジメント推進室 財産調整担当
----	--------------------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 財産管理費
事業名	06 公有財産調整事業（政策）				

総合計画体系	03-02-02-01			
事業期間	期間限定複数年度（平成26年度～令和26年度）	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額（参考）		
財 源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	3,473	2,336		
歳 入 計		3,473	2,336		
歳 出 内 訳	08 旅費	0	2		
	10 需用費	48	8		
	12 委託料	3,270	2,173		
	13 使用料及び賃借料	155	154		
歳 出 計		3,473	2,336		
(参 考)		当初予算額	3,798	当初予算額	1,063

【事業の概要】

本市が保有する公有財産及び公共施設の総合的かつ長期的な方向性を定める事業で、公共施設等総合管理計画に基づき、個別施設計画の策定に向けた調整等を行いました。

- (1) 委託料 3,270千円
 - ・千代田保健センター解体設計委託 2,522千円
 - ・霞ヶ浦高齢者センター解体設計委託 748千円
- (2) 個別施設計画の策定、推進に向けた調整
 - ・平成29年度から着手した複合型健康福祉拠点施設（かすみがうらウエルネスプラザ）の整備を推進し、令和2年6月に開館となりました。
- (3) 廃校施設の活用に向けた調整
 - ・下大津地区代表者（地区公民館役員・地区長）への説明会を開催し、旧下大津小を解体し、跡地に旧下大津公民館に代わる集会施設を整備する計画について理解を得ました。
 - ・旧牛渡小学校について、優先交渉権者と契約に向けて交渉をしましたが、不調となりました。利活用が決まっていない3施設（牛渡・佐賀・志士庫）について再公募を行いました。

【事業の成果】

継続的な課題に対応しながら、今後の個別施設計画の策定に向けて、先導的事业の実施や関係機関との調整などを推進することができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
広報誌やホームページによる市民への広報活動	回	3	6

担当	公共施設等マネジメント推進室 事業推進担当
----	--------------------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 財産管理費
事業名	10 複合型健康福祉拠点施設整備事業（政策）				

総合計画体系	03-02-02-01		
事業期間	継続（平成29年度～令和2年度）	全体事業費	716,387千円

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財 源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	65,738	617,121
歳 入 計		65,738	617,121
歳 出 内 訳	11 役務費		321
	12 委託料	9,240	13,639
	14 工事請負費	55,380	577,307
	17 備品購入費	1,118	25,854
歳 出 計		65,738	617,121
(参 考)		当初予算額 0	当初予算額 604,682

【事業の概要】

1	令和2年度の全体事業費	65,738千円	ウエルネスプラザ開館に向けて、令和元年度からの繰越明許費にて実施。
	(1) 委託料	9,240千円	・外構工事監理委託費
	(2) 工事請負費	55,380千円	・外構工事費 54,945千円 ・樹木伐採費 436千円
	(3) 備品購入費	1,118千円	
2	全体事業費	716,387千円	
	(1) 平成29年度分 委託料等	3,780千円	
	(2) 平成30年度分 委託料等	29,748千円	
	(3) 令和元年度分 工事請負費等	617,121千円	
	(4) 令和 2年度分 工事請負費等	65,738千円	

【事業の成果】

ウエルネスプラザの整備にあたり、必要とされる工事を実施し、あわせて、備品購入を行い、滞りなく6月に開館できました。			
指 標 区 分	単 位	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度
トレーニングルーム利用者数	人	10,726	0

担当	総務課 職員担当
----	-------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費
事業名	18 職員研修事業（政策）				

総合計画体系	07-05-02-01			
事業期間	継続（平成27年度～）	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額（参考）	
財源	国 県 支 出 金	0	0	
	地 方 債 等	0	0	
	そ の 他	0	0	
	一 般 財 源	149	581	
歳 入 計		149	581	
歳出	07 報償費	100	287	
	08 旅費	0	78	
	10 需用費	24	32	
	18 負担金、補助及び交付金	25	184	
内訳				
歳 出 計		149	581	
(参 考)		当初予算額	1,251	当初予算額 1,171

【事業の概要】

■階層別研修（市主催）
 研修事業：新規採用職員研修、人事評者研修
 修了者総数：51名

■派遣研修
 研修事業：ファシリテーション研修
 修了者総数：1名

■通信教育助成
 申請者数：3名



↑ 新規採用職員研修の様子



↑ 人事評者研修の様子

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、令和2年度かすみがうら市職員研修計画を当初計画のとおりには実施できなかったが、上記のとおり自発的・積極的な能力開発支援、より質の高い行政を担う人材の育成を目指した研修を実施した。また、通信教育助成により、申請職員の職務に必要な知識を習得することで、職員の能力開発と資質向上の一助となった。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
派遣研修の修了率	%	100	100
通信教育・自主研究グループ助成の件数	件/年	3	0

担当	危機管理課 危機管理担当
----	-----------------

款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 災害対策費
事業名	03 防災訓練事業（政策）				

総合計画体系	03-03-02-01				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	1,536	1,936		
歳 入 計		1,536	1,936		
歳出内訳	10 需用費	328	722		
	11 役務費	0	2		
	12 委託料	1,208	1,212		
歳 出 計		1,536	1,936		
(参 考)		当初予算額	2,115	当初予算額	2,015

【事業の概要】

▶総合防災訓練

(1) 日 時 令和2年11月15日（日）午前9時00分～午前11時30分

(2) 場 所 かすみがうら市立下稲吉中学校

(3) 訓練内容 下稲吉中学校区の区長等を対象として、コロナ禍における地震発生を想定した避難所運営訓練の実施。

▶シェイクアウト訓練

地震発生時、地震から身を守る安全行動（まずひくく、あたまをまもり、うごかない）

・令和2年9月1日（火）午前11時 市内全小中学校



◀市職員及び防災士による避難所での受付訓練



◀防災士による避難スペースの設置訓練

【事業の成果】

近年全国各地において発生している風水害等に対し、相互協力体制の緊密化を図るとともに、コロナ禍における避難所運営訓練を実施することにより、市民一人ひとりの防災に対する理解と防災意識の高揚を図ることができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
防災訓練の参加者	人	63	1,278
シェイクアウト訓練の参加者	人	3,172	3,316

担当	危機管理課 危機管理担当
----	-----------------

款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 災害対策費
事業名	06 災害対策事業（政策）				

総合計画体系	03-03-02-01				
事業期間	継続	全体事業費	-		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	7,007	3,750		
歳 入 計		7,007	3,750		
歳出	07 報償費	32	28		
	10 需用費	6,140	177		
	12 委託料	0	3,094		
	13 使用料及び賃借料	0	2		
	18 負担金、補助及び交付金	835	448		
内訳					
歳 出 計		7,007	3,750		
(参 考)		当初予算額	7,513	当初予算額	3,900

【事業の概要】

- ▶非常用持ち出し袋購入
避難した際に、救助活動が行われるまでの数日間、必要となる最小限の生活用品を備えておくために、非常用持ち出し袋を全世帯に配布しました。
- ▶防災行政無線テレホンサービスマグネット作成
防災行政無線の放送内容を確認するために、テレホンサービスマグネットを作成し、全世帯に配布しました。



▶非常用
持ち出し袋



▶防災行政無線
テレホンサービス
マグネット

【事業の成果】

非常用持ち出し袋を全世帯に配布したことにより、家庭での災害対策のきっかけの一つとなり、市民の防災意識向上を図りました。
また、防災行政無線放送の内容を聞き直すことができるテレホンサービスの番号を容易に確認できることにより、市民の安心安全の確保に努めています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
自主防災組織設置数	組織	13	12

担当	危機管理課 危機管理担当
----	-----------------

款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 災害対策費
事業名	08 防災無線整備事業 (政策)				

総合計画体系	03-03-02-03		
事業期間	期間限定複数年度 (平成27年度～令和 2年度)	全体事業費	779,088千円

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	180,905	259,136
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	87,107	91,592
歳 入 計		268,012	350,728
歳 出	12 委託料	1,615	616
	14 工事請負費	266,397	350,112
内 訳			
歳 出 計		268,012	350,728
(参 考)		当初予算額 253,369	当初予算額 355,296

【事業の概要】

- ▶防災行政無線デジタル同報系統合システム整備工事 (Ⅲ期)
(補助事業名：百里飛行場周辺無線放送施設設置助成事業)
(1) 工事場所 霞ヶ浦地区
(2) 工 期 令和元年9月19日から令和3年3月12日まで
(3) 工事内容 屋外拡声子局50局
- ▶防災行政無線デジタル同報系統合システム整備工事 (Ⅳ期)
(補助事業名：百里飛行場周辺無線放送施設設置助成事業)
(1) 工事場所 かすみがうら市内
(2) 工 期 令和2年7月29日から令和3年3月15日まで
(3) 工事内容 戸別受信機 68局、無線設備 1台



屋外拡声子局▶



◀戸別受信機

【事業の成果】

平成28年度から開始した、防災行政無線デジタル同報系統合システム整備工事 (全体計画：5か年) は令和2年度で事業完了いたしました。市内公共施設や、危険区域を持つ行政区長に対し、戸別受信機を設置することにより、情報伝達手段の一つとして活用することを可能といたしました。今後、多様化・高度化する通信ニーズへ対応し、災害時等の情報伝達の向上を図っていきます。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
霞ヶ浦地区防災行政無線の放送設備	個所	68	50

担当	市民協働課 市民活動推進担当
----	-------------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 広聴広報費
事業名	03 市民活動支援事業（政策）				

総合計画体系	07-01-02-01				
事業期間	継続（令和元年度～）			全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額（参考）		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	637		
	一 般 財 源	48,849	4,028		
歳 入 計		48,849	4,665		
歳出	07 報償費	24	94		
	10 需用費	13	35		
	12 委託料	0	899		
	18 負担金、補助及び交付金	48,812	3,637		
内訳					
歳 出 計		48,849	4,665		
(参 考)		当初予算額	54,813	当初予算額	48,903

【事業の概要】

市民参画意識の向上と参加機会の拡充を図り、市民が行政サービスの受け手だけでなく、まちづくりの担い手として、地域の課題に自ら積極的に取り組んでもらえるような市民と行政による協働のまちづくりを目指しています。

①まちづくりファンド／地域づくり基金を活用し、市民団体等が自主的に取り組むまちづくり活動を支援するまちづくりファンドの補助金交付、進行管理、竣工検査等を行いました。これらの事業は出来る限り広報誌、新聞等に取り上げてもらい、市民への周知に努めました。また、令和3年度事業の募集、相談・指導、申請受付、審査・認定も行いました。

②緑化推進事業／訪れた人が花を楽しむ「環境美化」と花壇づくりを通して仲間とのコミュニティの活性化を図る「市民活動」の二つの目的をもつ「花のみち事業」と「花いっぱい事業」を実施。また、花のみちの空き花壇対策「市の花あじさいの苗づくりボランティア事業」として、令和元年度に多くの市民ボランティアや市内小中学校児童生徒に育成、寄贈いただいた5,000本以上のあじさいの苗は、令和2年度、花のみち花壇に植栽となりました。



【事業の成果】

①8団体による11事業が実施。あわせて、令和3年度事業として10団体による13事業が認定となりました。市民活動が活性化されています。②あじさい花壇の数は135にもなり、近い将来あじさいの名所になることが期待できます。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
まちづくりファンド支援団体数（継続含む）	団体	8	5

担当	市民協働課 市民活動推進担当
----	-------------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 広聴広報費
事業名	05 男女共同参画推進事業（政策）				

総合計画体系	07-02-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	120	161		
歳 入 計		120	161		
歳出	07 報償費	53	19		
	10 需用費	67	142		
内訳					
歳 出 計		120	161		
(参 考)		当初予算額	300	当初予算額	239

【事業の概要】

平成30年度に策定した「第3次男女共同参画計画」に基づき、具体的かつ実効的な意識啓発や社会参画のための取り組みとその進行管理を推進しています。

- ①第3次計画の円滑な進行管理／年度末に各担当部署に対し、計画に記載された事業の進捗状況踏査を実施しました。
- ②出前講座の開講／「人と人とのより良い関係」をテーマに、市民ボランティアの協力を得て、千代田中で「デートDV講座」を開講しました。
- ③パープルリボン運動／市高校生会の協力の下、あじさい館来館者を対象に、女性への暴力の根絶の象徴である「パープルリボン」の趣旨を解説したチラシを配付し、願いを込めてあじさい館ホールのクリスマスツリーに「パープルリボン」をつけてもらいました。
- ④広報・啓発活動／普及啓発チラシ(STOPハラスメント)を作成し、公共施設の窓口等に設置。また、上記②③については広報誌にも掲載し、普及啓発に努めました。



【事業の成果】

②出前講座は千代田中1、2年98人を対象に「人と人がより良い関係を築くためには何が必要か？」を学んでもらいました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
男女共同参画の普及に関する事業数	事業/年	3	4

担当	市民協働課 市民活動推進担当
----	-------------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 広聴広報費
事業名	08 広聴事業（政策）				

総合計画体系	07-04-01-02				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	171	153		
歳 入 計		171	153		
歳出	10 需用費	170	153		
	11 役務費	1	0		
内訳					
歳 出 計		171	153		
(参 考)		当初予算額	233	当初予算額	198

【事業の概要】

市の基本目標「みんなでつくる連携と協働のまちづくり」を目指し、市と市民が情報を共有し、市民の意見を市政運営に反映させるため、市民からのまちづくりについての意見・提言を受ける場や機会を提供しています。

①まちづくり出前講座／市の各課が用意した出前講座メニューの中から、行政区、市民団体、学校、企業などの市内の団体が申込んだ講座を、市役所職員等が希望する会場まで出向き、説明や意見交換を行いました。（新規事業）

②市民提案／今まで公共施設に設置していた市民提案用紙を後納郵便付きの様式で全戸配付しました。広く周知することで、例年よりも多くの意見、提案が寄せられました。

③行政相談／総務省から委嘱された行政相談員が、住民からの国・県・市等への行政サービスに関連する苦情、行政の仕組みや手続きに関する問合せに対応しています。



【事業の成果】

①10月上旬に講座メニュー一覧表を全戸配付以降、8団体11回466人の市民の方にご利用をいただきました。②11月下旬に提案用紙を全戸配付以降、14人の市民から、21件の市民提案が寄せられました。※市政懇談会、市長と話そうミーティングは新型コロナウイルス感染防止のため中止。

指 標 区 分	単 位	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度
市政懇談会等の参加延べ人数	人	0	78
市民提案の提案件数	件	21	1

担当	市民協働課 交通安全・防犯担当
----	--------------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	08 交通安全対策費
事業名	03 交通安全対策事業（政策）				

総合計画体系	03-03-03-06			
事業期間	継続（平成27年度～）	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額（参考）		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	19,582	17,713		
歳 入 計		19,582	17,713		
歳出	12 委託料	13,971	13,971		
	14 工事請負費	3,307	2,644		
	18 負担金、補助及び交付金	2,304	1,098		
内訳					
歳 出 計		19,582	17,713		
(参 考)		当初予算額	21,010	当初予算額	18,190

【事業の概要】

市民一人ひとりの交通安全意識の向上を図り、安全で安心できる交通社会の確立に寄与するため、防犯灯のLED化の推進やカーブミラー、ガードレール等の交通安全施設の新設工事や行政区等への防犯灯の設置補助事業を実施しています。

- ①防犯灯LED化業務委託／平成27年度に行った市内の防犯灯LED化と10年間の維持管理を含めた委託事業（令和2年度は維持管理5年目）。
- ②交通安全施設工事／カーブミラーや路面標示などの施設工事。
- ③交通安全施設整備事業負担金／JRからの要請による線路沿い道路へのガードレール設置工事の負担金。
- ④交通安全照明施設設置工事／坂地内道路（旧ビジターセンター交差点先）の防犯灯用専用柱設置工事
- ⑤防犯灯設置補助金／行政区等の要望による新設防犯灯への補助。



【事業の成果】

令和3年2月12日に、交通事故死亡事故連続ゼロ350日（令和2年2月29日～）を達成し、茨城県から表彰を受けました。現在も継続中となっています。

指 標 区 分	単 位	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度
市内交通死亡事故発生件数	件／年	0	3

担当	市民協働課 交通安全・防犯担当
----	--------------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	09 地域安全対策費
事業名	03 地域安全対策事業（政策）				

総合計画体系	03-03-02-01				
事業期間	継続（平成29年度～）			全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	3,067	2,803
歳 入 計		3,067	2,803
歳出	07 報償費	82	67
	10 需用費	220	0
	13 使用料及び賃借料	97	96
	17 備品購入費	2,618	2,640
	18 負担金、補助及び交付金	50	0
内訳			
歳 出 計		3,067	2,803
(参 考)		当初予算額 3,857	当初予算額 3,323

【事業の概要】

警察や関係機関等と連携しながら、市民が安全安心に暮らしていくため、空家対策、犯罪の未然防止等のために防犯カメラの設置等に取り組んでいます。

①空家対策

- ・空家対策協議会を開催し、特定空家等判断方法マニュアルを策定
- ・大塚団地行政区からの申請により、まちづくり出前講座「なくそう！放置空き家」を開催
- ・空家相談会を開催
- ・空家情報登録奨励金を新設
- ・市民向け空家パンフレット「空家等対策のススメ」を作成



②防犯カメラ等機器設置

以下の3箇所に双方向（計6基）を設置

- ・中志筑323 - 2（粟田橋付近）
- ・宍倉6215 - 2（第2千代田南団地付近）
- ・西成井1941 - 1（水道事務所付近）



【事業の成果】

①空家対策向け各種施策の推進により、空家等・空き地バンク登録件数、問い合わせ件数も増加傾向にあります。②防犯カメラの設置は、犯罪の未然防止、市民の生活環境の保全に寄与しています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
空家等・空き地バンクの物件登録件数	件/年	2	0

担当	市民協働課 市民活動推進担当
----	-------------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 自治振興費
事業名	03 自治振興事業（政策）				

総合計画体系	07-01-01-03				
事業期間	継続	全体事業費	-		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	2,500	2,400
	一 般 財 源	2,890	6,202
歳 入 計		5,390	8,602
歳 出	10 需用費	0	69
	18 負担金、補助及び交付金	5,390	8,533
内 訳			
歳 出 計		5,390	8,602
(参 考)		当初予算額 7,129	当初予算額 6,506

【事業の概要】

行政区が自主的に取り組むコミュニティ活動を積極的に支援していくため、地域集会施設の整備、お祭り用品などの備品整備や、小イベント、サロン活動、講座などのソフト事業に対し補助金を交付しています。

- ①地域集会施設整備費補助金／地域住民の福祉の向上及び教養と親睦を図るための場として行政区等が取り組む地域集会施設の整備に補助金を交付しました。
- ②自治総合センターコミュニティ助成金／宝くじの社会貢献事業として、行政区等が行うコミュニティ活動に必要な備品等の整備に補助金を交付しました。
- ③行政区等コミュニティ活動補助金／行政区内の交流や親睦を目的に取り組む各種コミュニティ活動に対し補助金を交付する制度。令和元年度取り組み事例（5行政区）を記載したチラシを作成、全戸配付し、周知・募集に努めました。



【事業の成果】

①飯岡行政区、上稲吉行政区の集会施設整備に、②逆西二区の祭り用屋台の整備に補助金を交付しました。③補助金の交付申請はありましたが、新型コロナウイルスの影響で実施は0件となりました。

指 標 区 分	単 位	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度
行政区等コミュニティ活動補助金交付団体数	件/年	0	5

担当	市民協働課 市民活動推進担当
----	-------------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	14 諸費
事業名	13 移住定住・結婚支援事業（政策）				

総合計画体系	05-01-02-03			
事業期間	継続（令和元年度～）	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額（参考）
財源	国 県 支 出 金	2,395	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	1,822	3,215
歳 入 計		4,217	3,215
歳出内訳	01 報酬	1,057	0
	07 報償費	275	131
	08 旅費	61	15
	10 需用費	105	272
	11 役務費	112	42
	12 委託料	0	1,583
	18 負担金、補助及び交付金	2,607	250
	30 賃金	0	923
歳 出 計		4,217	3,215
(参 考)		当初予算額	当初予算額
		6,086	6,772

【事業の概要】

移住定住促進の観点からの結婚支援や外国人市民と日本人市民がお互いを理解し、連携して暮らしていく多文化共生実現に向けた各種施策、移住希望者への情報提供や支援策の整備などに取り組んでいます。

- ①婚活サポートセンター／センターを開設し、結婚相談と登録、お見合い、婚活パーティ、婚活講座、成立カップルの見守り、成婚者への支援など、総合的な結婚支援を推進しました。
- ②多文化共生／「日本語ボランティア養成講座」を開講し、外国人市民に日本語を教えるボランティアの発掘、育成に努めました。講座を受講したボランティアは「かすみがうら国際交流会」主催の「日本語教室」で外国人市民に日本語を指導しています。
- ③移住希望者への支援策の整備、実施と情報提供／国や県の補助金を活用し、移住者への生活支援金や本市で新婚生活を始める夫婦への新生活支援金制度を整備し、実績を上げました。また、移住希望者が訪れるふるさと回帰支援センターとの連携（移住希望者向け本市紹介冊子の設置、移住相談イベントへの参加）、希望者に市情報を月例で郵送する「かすふる通信事業」などに取り組みました。



【事業の成果】

①コロナの影響により登録者増には苦労しましたが、成婚件数は目標1組を達成しました。②11月から月4回、継続的に外国人市民のための日本語教室を開催しています。③地方創生移住支援金1世帯分、結婚新生活支援事業補助金6世帯分を交付するなどの実績を上げました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
婚活サポートセンター登録人数（合計）	人	102	79
成婚カップル数（合計）	組	3	2

担当	環境保全課 環境政策担当
----	-----------------

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費
事業名	11 浄化槽設置整備事業（政策）				

総合計画体系	01-02-02-01				
事業期間	期間限定複数年度（平成30年度～令和4年度）	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額（参考）		
財源	国 県 支 出 金	39,094	34,739		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	15,689	8,130		
歳 入 計		54,783	42,869		
歳 出	18 負担金、補助及び交付金	54,783	42,869		
内 訳					
歳 出 計		54,783	42,869		
(参 考)		当初予算額	54,310	当初予算額	44,710

【事業の概要】

公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業計画区域以外の浄化槽区域に対し、浄化槽の設置等に係る助成を行い、水質保全や生活環境の向上を図っています。

主な事業内容

■浄化槽等設置事業費補助金（54,783千円）

内訳 内訳

新規		転換		合計
5人槽	13	5人槽	15	28
7人槽	4	7人槽	24	28
10人槽	0	10人槽	4	4
計	17	計	43	60

【事業の成果】

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換が図られることなどで、より一層の水質浄化に寄与しています。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
汚水処理人口普及率	%	14.05	12.40

担当	環境保全課 衛生担当
----	---------------

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	06 環境保全対策費
事業名	03 環境美化事業（政策）				

総合計画体系	01-01-01-02				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	0	1,642
歳 入 計		0	1,642
歳出内訳	10 需用費	0	229
	11 役務費	0	60
	12 委託料	0	1,353
歳 出 計		0	1,642
(参 考)		当初予算額 1,593	当初予算額 1,674

【事業の概要】

<p>本市全域において、市民参加のボランティア活動による周辺道路の一斉清掃を行い、快適な生活環境づくりに努めています。</p> <p>主な事業内容 ■市内一斉清掃収集業務委託 年3回（5月・8月・3月）の一斉清掃時における収集業務の委託</p> <p>※令和2年度は新型コロナウイルスまん延防止対策のため全回とも事業を中止としました。</p>
--

【事業の成果】

市内道路周辺の清掃を通じて環境美化運動を推進し、快適な生活環境づくりに寄与しています。			
指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
清掃参加者数	人	0	19,853

担当	環境保全課 環境政策担当
----	-----------------

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	06 環境保全対策費
事業名	05 公害防止対策事業（政策）				

総合計画体系	01-01-01-04				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	3,345	4,793		
歳 入 計		3,345	4,793		
歳出	10 需用費	0	22		
	11 役務費	0	18		
	12 委託料	3,332	3,551		
	13 使用料及び賃借料	13	13		
	17 備品購入費	0	1,188		
内訳					
歳 出 計		3,345	4,793		
(参 考)		当初予算額	3,694	当初予算額	5,737

【事業の概要】

市内の河川等の水質や土壌、臭気、騒音等について調査し、環境基準の達成状況を把握するものです。

主な事業内容

- 河川水質等調査業務委託 (2,176千円)
水質汚濁防止法や土壌汚染対策法等に基づく、市内の河川、地下水、工場、ゴルフ場の水質並びに土壌調査
- 臭気測定調査委託 (388千円)
悪臭防止法に基づく臭気測定。
- 自動車騒音常時監視調査業務委託 (768千円)
騒音規制法に基づく、主要幹線道路などの常時監視
○令和2年度は、土浦笠間線、戸崎上稲吉線を調査



ゴルフ場の水質検査の様子

【事業の成果】

市内の環境を継続的に監視することで、快適な生活環境づくりに寄与しています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
ゴルフ場排水基準の達成率	%	100	100
不適正残土現場等水質調査	箇所	8	8

担当	環境保全課 衛生担当
----	---------------

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	06 環境保全対策費
事業名	09 一般廃棄物処理事業（政策）				

総合計画体系	01-03-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額（参考）		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	1,839,005	1,411,090		
歳 入 計		1,839,005	1,411,090		
歳出内訳	10 需用費	1,618	149		
	12 委託料	120,109	126,108		
	18 負担金、補助及び交付金	1,717,278	1,284,833		
歳 出 計		1,839,005	1,411,090		
(参 考)		当初予算額	1,882,350	当初予算額	1,421,149

【事業の概要】

家庭系一般廃棄物の収集運搬や関係一部事務組合への負担金等を支出しています。

主な事業内容

- 家庭系一般廃棄物収集業務委託（119,361千円）
一般家庭から集積所に排出されたごみの収集を業者委託により実施
ごみ処理施設への搬入、資源ごみはリサイクルにより売却収入
- 新治地方広域事務組合への負担金支出（259,003千円）
新治地方広域事務組合へごみを搬入していることから負担金を支出（令和2年度末で稼働終了）
- 霞台厚生施設組合への負担金支出（1,458,275千円）
令和3年度からは、霞台厚生施設組合において新たにごみ処理が進められる予定であり、その施設建設等が進められていることから負担金を支出



霞台厚生施設組合の新ごみ処理施設外観イメージ

【事業の成果】

家庭系一般廃棄物収集に関する事業は、公共性が高く行政に義務付けられているものであり、集積所からステーション方式で収集運搬を行うことで、市民の快適な生活環境の保全に寄与しています。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
ごみ収集量	トン	15,611.16	15,040.98

担当	環境保全課 衛生担当
----	---------------

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	06 環境保全対策費
事業名	11 リサイクル推進事業（政策）				

総合計画体系	01-03-01-03				
事業期間	継続	全体事業費	-		

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額（参考）		
財 源	国 県 支 出 金	81	37		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	1,457	1,184		
歳 入 計		1,538	1,221		
歳 出 内 訳	07 報償費	0	75		
	10 需用費	79	386		
	12 委託料	660	0		
	19 負担金、補助及び交付金	798	760		
歳 出 計		1,538	1,221		
(参 考)		当初予算額	2,338	当初予算額	1,595

【事業の概要】

ごみ減量化等を進めるため、事業に対する補助を行っています。

主な事業内容

■資源物回収事業補助金（431千円）

子ども会等の登録団体により集団回収された資源物量に応じて補助金を支出

○令和2年度は、子ども会等20団体へ支出

■生ごみ処理機等補助金（367千円）

生ごみ処理容器（コンポストやEMぼかし利用のもの）や電気式生ごみ処理機を設置した世帯に対して補助金を支出

○令和2年度は、対象53件へ支出



コンポスト容器・EMぼかし容器・電気式生ごみ処理機

【事業の成果】

市民のごみ分別やリサイクル意識の向上、ごみ減量化・地球温暖化の抑制に寄与しています。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
回収した資源物	トン	102.15	134.62

担当	環境保全課 環境政策担当
----	-----------------

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	06 環境保全対策費
事業名	13 環境保全推進事業（政策）				

総合計画体系	01-03-02-01		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	600	500		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	900	500		
歳 入 計		1,500	1,000		
歳 出 内 訳	18 負担金、補助及び交付金	1,500	1,000		
歳 出 計		1,500	1,000		
(参 考)		当初予算額	1,500	当初予算額	1,000

【事業の概要】

県で推進する事業を活用し、住宅等における再生可能エネルギーの導入促進を図るため、機器導入した住民に対し1基あたり10万円（内訳：県1/2・市1/2）の補助金を交付するものです。

主な事業内容

- 自立・分散型エネルギー設備導入促進補助支出（1,500千円）
 - 定置用リチウムイオン蓄電システム 15件
- 対象経費…設備本体（蓄電池部、電力変換装置、蓄電システム制御装置等）及び付属品（計測・表示装置、キュービクル等）の購入費、工事費（据付・配管工事等）



定置用リチウムイオン蓄電システム

【事業の成果】

循環型社会の形成に向けた再生可能エネルギーの活用、限られた資源の有効活用や災害時の電力を補うことに対して助成を行うことで、自然環境の保全と産業イノベーションの促進を図ることに寄与しています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
補助金交付件数	件	15	10

担当	国保年金課 医療年金担当
----	-----------------

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	05 医療福祉費
事業名	04 医療福祉事業（市単独事業）（政策）				

総合計画体系	04-01-02-04			
事業期間	継続	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	45,533	46,115		
歳 入 計		45,533	46,115		
歳出内訳	01 報酬	4,645	0		
	03 職員手当等	659	0		
	04 共済費	858	721		
	08 旅費	189	0		
	11 役務費	422	472		
	12 委託料	59	61		
	19 扶助費	38,700	40,161		
	30 賃金	0	4,700		
	歳 出 計		45,533	46,115	
(参 考)		当初予算額	67,910	当初予算額	58,802

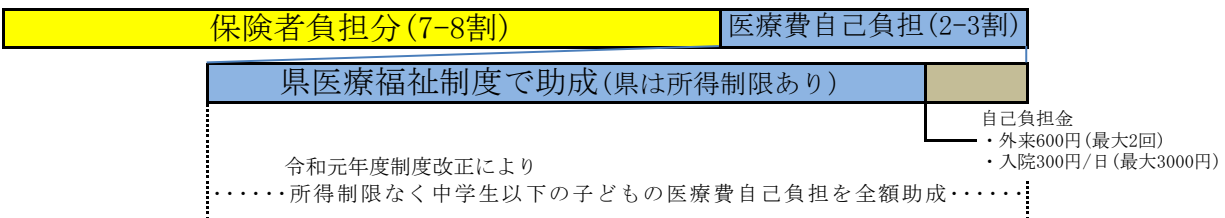
【事業の概要】

医療福祉制度の拡充

- ・ 県医療福祉制度の対象外となる妊産婦の産婦人科以外の外来・入院
- ・ 中学生の外来分に対する医療費の一部負担金の助成
- ・ 小児区分(中学生3年生まで)の外来及び入院に係る自己負担金の助成
- ・ 妊産婦及びひとり親世帯区分の外来に係る自己負担金の助成
- ・ 小児区分(中学生3年生まで)の県基準の所得制限の撤廃

特に、中学生までの外来に係る自己負担金及び小児区分の所得制限の撤廃にあつては令和元年10月から実施し、実質的に中学生以下の医療費を無料とし、子育て世代の医療費の負担軽減を図っています。

一般的な医療費
(小児)



【事業の成果】

市単独事業対象者

- ・ 就学前 1,690 人
- ・ 小学生 1,942 人
- ・ 中学生 926 人

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
外来自己負担金助成額	千円	24,824	25,940

担当	国保年金課 国民健康保険担当
----	-------------------

款	06 保健事業費	項	02 保健事業費	目	01 保健衛生普及費
事業名	02 保健衛生普及事業（政策）				

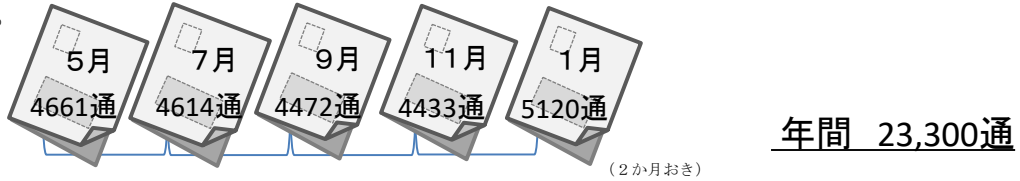
総合計画体系	04-01-02-02		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

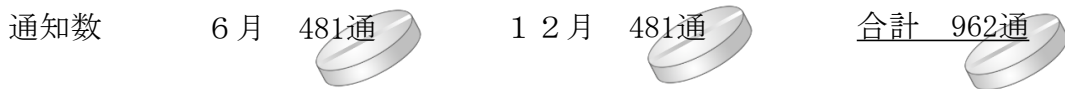
		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財 源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	2,664	2,096
歳 入 計		2,664	2,096
歳 出 内 訳	10 需用費	223	0
	11 役務費	1,536	1,702
	12 委託料	905	394
歳 出 計		2,664	2,096
(参 考)		当初予算額 3,474	当初予算額 2,345

【事業の概要】

- 医療費通知
被保険者に健康と医療費の実情に対する認識と理解を頂くため、年5回各世帯に通知しています。



- 後発医薬品（ジェネリック）差額通知
高齢化や医療技術の向上により、年々医療費（一人当たり）が上昇傾向にあり、被保険者に対し、後発医薬品の理解促進を図るため、年2回対象者に通知しています。



※ 国は、平成29年6月9日閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2017」で2020年9月までに、後発医薬品の使用割合80%を早期達成できるよう目標としています。

【事業の成果】

後発医薬品（ジェネリック）の利用率			
・H26.1 差額通知開始前		市50.20%(県内16位) 県平均47.24%	80%
・R03.1 令和2年度実績		市82.99%(県内10位) 県平均80.50%	
国の目標値(R02.09まで)			☞ R01.9に達成
指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
一人あたりの医療費（保険者負担となる給付費）	円	235,692	244,503
後発医薬品（ジェネリック医薬品）利用率	%	82.99	81.43

担当	社会福祉課 社会福祉担当
----	-----------------

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費
事業名	03 やまゆり館管理運営事業（政策）				

総合計画体系	04-04-01-02		
事業期間	継続（平成27年度～）	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額（参考）
財源	国 県 支 出 金	1,986	1,938
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	17,083	17,334
歳 入 計		19,069	19,272
歳出	07 報償費	0	12
	12 委託料	18,794	19,260
	17 備品購入費	275	
内訳			
歳 出 計		19,069	19,272
(参 考)		当初予算額 18,794	当初予算額 19,275

【事業の概要】

○やまゆり館管理運営事業

指定管理業務を(株)フクシ・エンタープライズへ委託し、施設の維持管理・高齢者の健康づくりや子育てに関する相談支援を行っています。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止により65日間休館となつてしまい、年間利用者は17,208名、前年比21,350名の減（利用率44.6%）となります。おもな利用状況ですが、子育てルーム8,689名（前年比52.1%）・健康づくりコーナー5,330名（前年比61.6%）となっています。

おもな自主開催イベントとしましては、予定をしていた「七夕祭り」が新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となってしまいましたが、「クリスマス会・クリスマスリース製作」を実施し126名の参加をいただいています。



【事業の成果】

指定管理者制度を活用した中で、管理者側の創意ある催し等を開催することにより、健康的な老後に向けた健康づくりや子育てに関する相談・支援業務や地域福祉向上の場として事業成果が図れました。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
健康づくりコーナー利用者数	人	5,330	8,654
子育てルーム利用者数	人	8,689	16,666

担当	社会福祉課 社会福祉担当
----	-----------------

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費
事業名	05 民生委員児童委員制度運営事業（政策）				

総合計画体系	04-04-01-03				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額（参考）		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	2,340	3,840		
歳 入 計		2,340	3,840		
歳 出	18 負担金、補助及び交付金	2,340	3,840		
内 訳					
歳 出 計		2,340	3,840		
(参 考)		当初予算額	3,840	当初予算額	3,840

【事業の概要】

○民生委員児童委員制度運営事業（政策）

市民の見守り役・身近な相談相手・行政機関へのつなぎ役として、地域の福祉支援活動に努めていただいています。その委員87名の活動を援助するため運営費の一部を補助する事業で、年間通しての定例会の開催、要援護者などへの相談支援や訪問連絡活動を実施しておりますが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止により定例会や県主催の研修会、啓発活動が中止等になり、また、訪問連絡活動も状況に応じて実施をし、3,408回（千代田地区2,417回・霞ヶ浦地区991回）と限られた中での活動となります。



【事業の成果】

本市地域福祉支援活動として、多様なニーズに応じて相談・助言・支援等に対応し、各委員が民生委員児童委員としての役割を果たしました。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
安否確認等の訪問・連絡活動	回	3,408	4,764

担当	社会福祉課 社会福祉担当
----	-----------------

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費
事業名	07 戦没者英霊顕彰事業（政策）				

総合計画体系	04-04-01-01			
事業期間	継続	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額（参考）		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	482	1,051		
歳 入 計		482	1,051		
歳出	10 需用費	63	63		
	18 負担金、補助及び交付金	323	862		
	19 扶助費	96	126		
内訳					
歳 出 計		482	1,051		
(参 考)		当初予算額	1,303	当初予算額	1,301

【事業の概要】

○戦没者英霊顕彰事業（政策）

戦没者の英霊顕彰及び戦没者遺族に対する各種援護の手続きの指導・援助を行い、遺族の福祉向上を目的とする事業で、おもな内容は県護国神社例大祭等（2回）への参列・各地区戦没者追悼式107名の参列や、県遺族連合会研修会などに係る事業費となりますが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止により例大祭や式典等規模縮小により実施となります。また、市主催の戦没者追悼式を4年に1回開催しております。



【事業の成果】

戦没者の英霊顕彰と戦没者遺族への福祉向上の目的を因るため、慰霊碑の清掃管理、英霊顕彰事業、遺族会研修等への参加し事業を達成しました。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
各地区戦没者追悼式参加者数	人	107	116

担当	社会福祉課 社会福祉担当
----	-----------------

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費
事業名	12 福祉関係団体等活動促進事業（政策）				

総合計画体系	04-04-01-03		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	75,191	68,633
歳 入 計		75,191	68,633
歳 出	18 負担金、補助及び交付金	75,191	68,633
内 訳			
歳 出 計		75,191	68,633
(参 考)		当初予算額 80,650	当初予算額 73,340

【事業の概要】

<p>○福祉関係団体等活動促進事業（政策） 社会福祉関係団体が健全、かつ適切な福祉事業を促進するため経費の一部を助成し、地域福祉の充実を図ることを目的とする事業です。 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止により各団体の活動や研修会、啓発活動が中止等になり限られた中での活動となりました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保護司連絡協議会 委員16名 罪を犯して保護観察を受けることになった人の生活を見守り様々な相談や助言、及び犯罪予防するための地域活動等に取り組んでいる民間ボランティア団体です。 2. 社明運動推進委員会 委員16名 犯罪や非行のない地域社会を築くため全国で取組まれている運動で、立直ろうとする人の改善更生に広く理解を得られるよう活動している団体です。 3. 更生保護女性会 会員45名 女性の立場から地域における犯罪防止と更生保護の活動や、子ども達の健全育成のための子育て支援活動等を行う無給ボランティア団体です。 4. 社会福祉協議会 社会福祉事業の組織的活動を促進し、社会福祉の増進に取り組んでいる団体です。
--

【事業の成果】

各福祉関係団体別の事業活動へ取り組み、各事業促進の充実が図れました。			
指 標 区 分	単 位	令和元年度	平成30年度
社会福祉関係団体の活動促進	件	4	4

担当	社会福祉課 障害福祉担当
----	-----------------

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 障害者福祉費
事業名	04 障害者給付事業 (政策)				

総合計画体系	04-03-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	-		

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	4,570	4,164		
歳 入 計		4,570	4,164		
歳	19 扶助費	4,570	4,164		
出内訳					
歳 出 計		4,570	4,164		
(参 考)		当初予算額	4,457	当初予算額	4,579

【事業の概要】

○障害者給付事業 (政策)

障害者及び障害者を介護する保護者とその家族の生活に係る経済的負担の軽減を図ることを目的とする事業で、県の指定難病特定医療費受給者証の交付を受けている方からの申請により、年額2万円を206名へ支給しています。

障害者手帳申請診断書料助成事業につきましては、手帳の申請に必要な医師診断書の交付に要した費用 (自己負担1/2) に対し、5,000円を限度に助成しています。延べ111名へ助成しています。

支給人数・支給額		元年度	2年度
難病患者福祉金	人	188	206
	支給額(円)	3,760,000	4,120,000
障害者手帳申請診断書料助成	人	96	111
	支給額(円)	404,450	449,630

【事業の成果】

難病患者への福祉金支給及び障害者手帳取得に際する診断書取得費用の助成を行うことにより、本人及び家族等への経済的負担軽減を図りました。

指 標 区 分	単 位	令和2年度	令和元年度
難病患者福祉金支給率	%	100	100
障害者手帳申請診断書助成率	%	100	100

担当	社会福祉課 障害福祉担当
----	-----------------

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 障害者福祉費
事業名	06 障害者自立支援事業（政策）				

総合計画体系	04-03-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	-		

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	5,576	216
歳 入 計		5,576	216
歳出内訳	07報償費	110	0
	12委託料	5,280	0
	19扶助費	186	216
歳 出 計		5,576	216
(参 考)		当初予算額 6,190	当初予算額 304

【事業の概要】

○障害者自立支援事業（政策）

障害者の地域での自立した生活を支援するための補装具費の助成に係る事業で、身体障害者又は障害児が、障害者自立支援事業において、9割の助成を受けて購入又は修理した費用を自己負担（1割）した方に、自己負担分の2分の1を市単独で助成しています。9名への助成となります。

また、委託料については市障害者計画第6期障害福祉計画第2期障害児福祉計画策定業務となります。

支給人数・支給額		元年度	令和2年度
補装具費用負担額助成事業	人	38	9
	支給額(円)	216,087	185,555

【事業の成果】

障害者(児)が地域で自立生活を営む上で必要な補装具費用を助成することにより、本人及び家族等への経済的負担軽減を図りました。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
補装具費用負担額助成率	%	100	100

担当	社会福祉課 障害福祉担当
----	-----------------

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 障害者福祉費
事業名	08 障害者地域生活支援事業（政策）				

総合計画体系	04-03-01-01		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額（参考）
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	721	753
歳 入 計		721	753
歳	19 扶助費	721	753
出内			
歳	出 計	721	753
(参 考)		当初予算額 809	当初予算額 806

【事業の概要】

○障害者地域生活支援事業（政策）

自力で日常生活を営むことが困難な重度の身体障害者又は、障害者の介護に必要な日常生活用具費の助成に係る事業で、障害者地域生活支援事業において、9割の助成を受けて購入した費用の一部を自己負担（1割）した方に、自己負担分の一部、年額15,000円を限度に市単独で助成しています。延べ235名への助成となります。

支給人数・支給額		元年度	2年度
日常生活用具給付費用負担額助成事業 (延べ)	人	257	235
	支給額(円)	753,330	720,796

【日常生活用具】

1. 介護訓練支援 特殊寝台、特殊マットなど。
2. 自立支援生活補助 入浴補助用具、移動移乗支援用具など。
3. 在宅療養支援 吸入器、電気式たん吸引器など。
4. 意思疎通支援 携帯用会話補助装置、障害者用ポータブルレコーダーなど。
5. 排泄管理支援 ストマ装具、紙おむつなど。
6. 住宅改修 手すり取付け、段差解消、すべり防止など。

【事業の成果】

障害者(児)が地域で自立生活を営む上で必要な補装具費用を助成することにより、本人及び家族等への経済的負担軽減を図りました。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
日常生活用具給付費用負担額被助成率	%	100	100

担当	社会福祉課 障害福祉担当
----	-----------------

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 障害者福祉費
事業名	10 障害者福祉活動促進事業（政策）				

総合計画体系	04-03-01-02		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額(参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	130	167
歳 入 計		130	167
歳出	18 負担金、補助及び交付金	130	167
内 訳			
歳 出 計		130	167
(参 考)		当初予算額 280	当初予算額 280

【事業の概要】

○障害者福祉活動促進事業（政策）
 地域で自立して生活するために障害者(児)や家族を中心として組織された「障害者福祉会」・「手をつなぐ育成会」への活動費の補助で、身体障害者スポーツ大会・機能維持回復研修や障害者施設の訪問など、障害福祉の向上に努めています。

1. 障害者福祉会 会員32名
 おもな事業 地域身体障害者スポーツ大会、県身体障害者スポーツ大会、県障害者福祉の集い、機能維持回復1泊研修、機能維持回復日帰り研修などの身体障害者の福祉向上に係る活動を例年実施しておりますが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止により活動や研修会が中止等になりました。

2. 手をつなぐ育成会 会員38世帯
 おもな事業 県ゆうあいスポーツ大会、障害者施設見学研修、おしゃべりサロン・親子レクリエーション・障害者支援センター研修などの知的障害児及びその親の障害者の福祉向上に係る活動を例年実施しておりますが、令和2年度においては新型コロナウイルス感染拡大防止により活動が中止等になり限られた中での活動となりました。

【事業の成果】

障害者(児)や家族等が各活動を通じて、同じ境遇や相互理解を図り事業目的が達成されました。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
障害者福祉団体の活動促進	件	1	2

担当	社会福祉課 保護担当
----	---------------

款	03 民生費	項	03 生活保護費	目	01 生活保護総務費
事業名	04 生活保護適正化推進事業（政策）				

総合計画体系	04-04-02-02			
事業期間	継続	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	12,286	5,497
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	3,745	2,800
歳 入 計		16,031	8,297
歳出内訳	01 報酬	3,491	2,700
	03 職員手当等	370	0
	04 共済費	445	426
	08 旅費	111	109
	12 委託料	11,307	5,062
	13 使用料及び賃借料	308	0
歳 出 計		16,031	8,297
(参 考)		当初予算額 16,750	当初予算額 7,489

【事業の概要】

○生活保護適正化推進事業

(1) 被保護者家計改善支援事業

生活保護世帯に対する家計改善を支援。

- ①家計に関する課題を抱える世帯
- ②大学等への進学を検討している高校生等のいる世帯

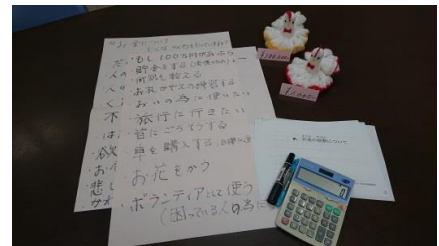
(2) 診療報酬明細書点検業務

生活保護者及び中国残留邦人に係る診療報酬明細書等（レセプト）の点検業務を実施。

- ①診療報酬明細書等内容点検（単月分）
- ②診療報酬明細書等縦覧点検（3ヵ月分）
- ③過誤調整依頼書及び再審査請求書作成業務

(3) 生活保護相談員、生活保護就労支援員の確保

生活保護に係る相談及び生活保護者の就労に向けた支援を実施。



(被保護者家計改善支援事業支援の様子 (イメージ))

【事業の成果】

生活保護費の適正運営と被保護者の自立に向けた支援を拡充することができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
被保護者家計改善を必要とする数	件	3	1

担当	社会福祉課 保護担当
----	---------------

款	03 民生費	項	03 生活保護費	目	01 生活保護総務費
事業名	05 生活保護困窮者自立支援事業（政策）				

総合計画体系	04-04-02-01				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	31,486	19,916		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	1,181	7,416		
歳 入 計		32,667	27,332		
歳出	12 委託料	25,817	27,100		
	18 負担金、補助及び交付金	6,850	232		
内訳					
歳 出 計		32,667	27,332		
(参 考)		当初予算額	28,338	当初予算額	28,945

【事業の概要】

○生活保護困窮者自立支援事業

- (1) 生活困窮者自立相談支援事業
包括的な相談支援
- (2) 生活困窮者家計改善支援事業
家計状況を可視化し、利用者の家計管理の意欲を引き出す改善支援
- (3) 生活困窮者学習・生活支援事業
生活困窮者の子どもに対する学習支援や居場所づくり、養育に対する保護者への助言
- (4) 生活困窮者就労準備支援事業
就労に向けた日常生活自立、社会生活自立、就労自立のための訓練
- (5) 住居確保給付金の支給
就職活動を支えるための家賃費用を有期で給付



(生活困窮者就労準備支援事業
上：農業体験、下：パソコン教室)

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染拡大の影響等により生活困窮者の相談が令和元年度に比べ増加しましたが、包括的な相談により問題を早期に発見でき、各事業と連携することで自立に向けた支援をすることができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
生活困窮者自立支援事業利用数	件	349	94

担当	介護長寿課 あじさい館管理担当
----	--------------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	13 あじさい館管理費
事業名	03 あじさい館管理事業（政策）				

総合計画体系	07-01-01-02				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	34,707	33,681		
歳 入 計		34,707	33,681		
歳出内訳	12 委託料	34,707	33,681		
歳 出 計		34,707	33,681		
(参 考)		当初予算額	35,150	当初予算額	33,235

【事業の概要】

あじさい館の施設管理にあたり、利用者の安全性を第一義に考えるが、利便性や満足度の向上も常に意識し、利用者数の増加を図ります。

年度別 利用状況

各年度3月31日現在 単位：人

年 度	合計人数	福 祉 館			あじさい館		
		トレーニング室	浴室・集会室	カラオケ (曲)	軽運動室	多目的室	コミュニティ広場
平成27年度	80,321	4,650	63,714	14,263	1,502	508	9,947
平成28年度	84,516	5,581	66,400	12,283	1,495	967	10,073
平成29年度	89,018	6,411	66,894	11,839	1,224	2,190	12,299
平成30年度	88,599	5,329	70,968	11,783	1,638	1,482	9,182
令和元年度	82,120	4,516	65,953	9,361	1,416	1,274	8,961
令和2年度	41,673	2,396	31,281	5,516	133	389	7,474

※ 合計人数については、カラオケは曲数の為カラオケの曲数が含まれていません。

【事業の成果】

利用者の安全性・利便性・満足度の向上につとめ開館しているが、あじさい館（福祉館を含む）については平成27年度から平成30年度までは、毎年利用人数が増加していたが、令和元年度末からコロナウイルスの影響により、施設の貸出を休止したため利用人数が令和2年度は減少しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
開館日数	日	232	288
浴室・集会室利用者人数	人	31,281	65,953

担当	介護長寿課 高齢福祉担当
----	-----------------

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 老人福祉費
事業名	04 高齢者対策事業（政策）				

総合計画体系	04-02-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	12,555	18,059		
歳 入 計		12,555	18,059		
歳出	04 共済費	0	435		
	07 報償費	130	0		
	12 委託料	12,425	14,771		
	30 賃金	0	2,853		
内訳					
歳 出 計		12,555	18,059		
(参 考)		当初予算額	13,558	当初予算額	18,914

【事業の概要】

地域における高齢者の暮らしを地域全体で支えるため、地域ケアシステム推進事業を社会福祉協議会へ委託し実施しました。また、いきいき長寿プランを改訂し、新たに権利擁護事業の推進を基本目標に加えるなど、更なる高齢者福祉の充実を図ることとしました。

※ 地域ケアシステムの現況

ケース区分	相談件数			在宅ケアチーム数		
	H30	R元	R2	H30	R元	R2
介護保険給付対象者	15	11	7	11	7	7
ひとり暮らし高齢者	10	15	20	20	19	22
他要援護高齢者	1	1	2	11	9	9
身体障害者	3	3	4	7	5	4
知的障害者	2	2	2	7	5	6
精神障害者	85	80	91	44	47	51
その他	9	7	11	25	25	21
計	125	119	137	125	117	120

【事業の成果】

地域ケアシステムを活用し、在宅の高齢者の生活を支援することができました。なお、ねんりんスポーツ大会事業・子どもヘルパー派遣事業については、感染症予防のため中止としました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
ねんりんスポーツ参加者数	人	0	86

担当	介護長寿課 高齢福祉担当
----	-----------------

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 老人福祉費
事業名	06 ひとり暮らし高齢者対策事業（政策）				

総合計画体系	04-02-01-04				
事業期間	継続	全体事業費	—		

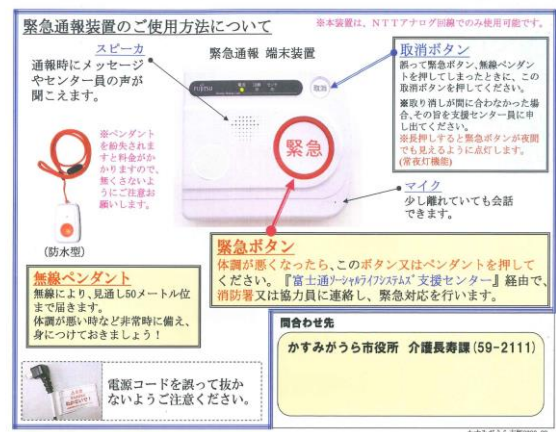
【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	2,759	2,564
歳 入 計		2,759	2,564
歳出	12 委託料	2,759	2,564
内訳			
歳 出 計		2,759	2,564
(参 考)		当初予算額 2,892	当初予算額 2,892

【事業の概要】

民生委員の協力により、ひとり暮らし高齢者を対象とした調査を実施し実態を把握することで、緊急通報装置等のサービス利用を推進しました。

- 緊急通報装置設置事業
ひとり暮らし高齢者に緊急通報装置を貸与し緊急時の対応を図りました。
- 火災警報器設置事業
ひとり暮らし高齢者宅に火災警報器を設置しました。



【事業の成果】

ひとり暮らし高齢者等に対し緊急通報装置を貸与することにより、急病等の緊急時の迅速かつ適切な対応につながりました。利用者の不安を軽減し福祉の増進を図ることができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
緊急通報システム設置者の緊急通報数	件	11	10

担当	介護長寿課 高齢福祉担当
----	-----------------

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 老人福祉費
事業名	08 要援護高齢者等サービス事業（政策）				

総合計画体系	04-02-01-04		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	4,130	4,323
歳 入 計		4,130	4,323
歳出内訳	10 需用費	0	155
	12 委託料	4,130	4,167
歳 出 計		4,130	4,323
(参 考)		当初予算額 5,834	当初予算額 4,912

【事業の概要】

<p>■軽度生活支援事業 一人暮らしの高齢者または高齢者のみの世帯で日常生活において支援を必要とする方に対して、除草作業等の軽易な生活支援をシルバー人材センターに委託し実施しました（1時間あたり297円～）。</p> <p>■寝具洗濯乾燥書毒サービス事業 寝たきり状態の高齢者や障害者の寝具を回収し洗濯乾燥消毒サービスを通常料金の1割負担で実施しました。</p> <p>■福祉タクシー利用料金助成事業 65歳以上で要介護認定を受けている方や障害者の方に対して、タクシー料金の一部を助成しました。</p>

【事業の成果】

要援護高齢者等の日常生活上の支援を行うことにより、在宅生活の維持及び負担軽減が図られました。			
指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
軽度生活支援事業申請件数	人/年	92	101
寝具洗濯乾燥サービス申請件数	人/年	9	9

担当	介護長寿課 介護保険担当
----	-----------------

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	07 介護保険費
事業名	03 居宅介護サービス等利用者助成事業（政策）				

総合計画体系	04-02-02-03				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	6,022	5,396		
歳 入 計		6,022	5,396		
歳 出 内 訳	11 役務費	333	331		
	19 扶助費	5,689	5,066		
歳 出 計		6,022	5,396		
(参 考)		当初予算額	4,884	当初予算額	4,627

【事業の概要】

<p>低所得者が居宅サービスを利用したときに負担する利用者負担額の一部（利用者負担額の1/4に相当する額）を助成することにより、居宅サービス利用の促進を図るとともに、当該利用者の生活を支援しました。</p> <p>(対象サービス) 訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリ、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリ、短期入所生活介護、短期入所療養介護</p>
--

【事業の成果】

居宅サービス利用の促進とともに、当該利用者の生活を支援することができました。年間利用件数の実績は、2,424件で対前年度比112.6%に増加しました。			
指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
支給決定率	%	100	100

担当	介護長寿課 介護保険担当
----	-----------------

款	02 保険給付費	項	05 市町村特別給付費	目	01 市町村特別給付費
事業名	02 市町村特別給付事業（政策）				

総合計画体系	04-02-02-03				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財 源	国 県 支 出 金	5,669	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	8,889	13,517		
歳 入 計		14,558	13,517		
歳	18 負担金、補助及び交付金	14,558	13,517		
出 内 訳					
歳 出 計		14,558	13,517		
(参 考)		当初予算額	14,000	当初予算額	13,500

【事業の概要】

要介護者の在宅生活を支援し、介護に係る費用の負担軽減を図るため、おむつの購入費及び訪問理容・美容サービス費用の一部を給付しました。

■おむつ購入費支給

要介護1～5の認定を受け、常時おむつを必要とする方を対象に、1ヵ月5,000円を上限とし、おむつの購入に要した費用の9割相当額を給付しました。

■訪問理容・美容サービス費支給

要介護3～5の認定を受けた方が訪問理容・美容サービスを利用した場合、2ヵ月に1回2,000円を上限とし、費用の9割相当額を給付しました。

【事業の成果】

在宅の要介護者について、おむつ購入費用及び訪問理容・美容サービス利用費の一部支給することにより、介護者の費用負担の軽減と対象者の福祉の増進が図られました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
支給決定率	%	100.00	99.10

担当	子ども家庭課 子ども未来室
----	------------------

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費
事業名	03 家庭児童相談事業（政策）				

総合計画体系	05-01-01-03		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	36	1,041
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	2,051	2,278
歳 入 計		2,087	3,319
内訳	01 報酬	1,805	0
	03 職員手当等	144	0
	04 共済費	22	0
	08 旅費	66	0
	10 需用費	0	7
	12 委託料	50	39
	19 扶助費	0	1,363
	22 償還金、利子及び割引料	0	102
	30 賃金	0	1,808
	歳 出 計		2,087
(参 考)		当初予算額 2,997	当初予算額 8,379

【事業の概要】

家庭や児童の相談に対し、家庭児童相談員や保健師、保育士、心理士などによる専門的な助言や指導を実施しました。

また、要保護児童等の早期発見や適切な保護を図るため、要保護児童対策地域協議会を活用し、関係機関との連携強化を図りました。

【相談及び会議の種類】	単位	令和2年度	令和元年度
養護相談	件	28	43
保健相談	件	0	0
障害相談	件	5	25
育成相談	件	12	6
女性相談	件	11	10
保育支援相談	件	145	131
要保護児童対策地域協議会代表者会議	回	1	1
要保護児童対策地域協議会実務者会議	回	3	3
個別ケース検討会議	回	12	8



【事業の概要】

保護者の子育てに対する意識を前向きにする支援や要保護児童対策地域協議会を活用し、切れ目のない支援により児童福祉の健全化を図りました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
終結件数 (家庭児童相談)	件	91	58
終結件数 (家庭児童相談の内、要保護児童・要支援児童)	件	22	6

担当	子ども家庭課 保育担当・児童担当
----	---------------------

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費
事業名	12 子ども・子育て支援新制度事業（政策）				

総合計画体系	05-01-02-01				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額(参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	2,110	4,614
歳 入 計		2,110	4,614
歳出内訳	01 報酬	1,580	0
	03 職員手当等	225	0
	04 共済費	282	241
	08 旅費	23	0
	12 委託料	0	2,849
	30 賃金	0	1,524
歳 出 計		2,110	4,614
(参 考)		当初予算額 2,278	当初予算額 4,661

【事業の概要】

第2期かすみがうら市子ども・子育て支援事業計画（令和2年3月策定）に位置付けた施策の計画的な推進とともに、子育て支援全般に関する情報提供の充実を図るため、会計年度任用職員（事務補助員）1名を確保し、課内に配置しました。

❖ 子育て支援に関する情報提供の充実

子育て支援サイト「かすみっ湖」に掲載している子育て支援に関する情報をより分かりやすく伝えるため、ウェブページのレイアウトや内容の一部を見直したほか、子育て支援に関する動画を新たに作成し、一定の期間、千代田庁舎1階に設置されているテレビ型広告版を活用し、情報提供の充実を図りました。

[一部見直しを図った主なウェブページ]

- ▷ ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業に関する案内
- ▷ 児童手当・特例給付に関する案内
- ▷ 児童扶養手当に関する案内
- ▷ ファミリーサポートセンター事業に関する案内

[子育て支援に関する動画]

- ▷ 児童手当・特例給付現況届に関する案内
- ▷ 児童扶養手当現況届に関する案内
- ▷ 保育所等の入所申込みに関する案内



【事業の成果】

令和2年度から令和6年度までの5か年を計画期間とする「第2期かすみがうら市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子どもたちが健やかに成長できる施策のほか、子育て支援に関する情報提供の充実に取り組みました。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
会計年度任用職員(事務補助員)の適正配置	人	1	1

担当	子ども家庭課 子ども未来室
----	------------------

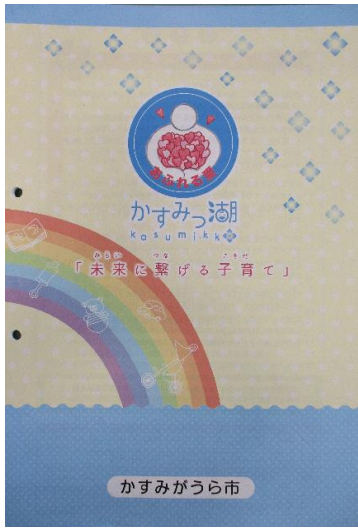
款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費
事業名	13 地域の子育て支援事業（政策）				

総合計画体系	05-01-02-01			
事業期間	継続（平成27年度～）	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	264	500
歳 入 計		264	500
歳出	07 報償費	75	315
	10 需用費	13	9
	12 委託料	176	176
内訳			
歳 出 計		264	500
(参 考)		当初予算額 764	当初予算額 756

【事業の概要】

<p>子育てに関する情報の発信</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 母子手帳交付時に子育てガイドブック「かすみっ湖」を配布しました。 (2) ホームページ及び子育て専用アプリ「かすみっ湖」において、子育て支援情報、子育てカレンダーなどの情報を発信しました。 (3) 市民子育て支援員の活動については、新型コロナウイルスまん延防止等により、イベントの開催が中止となりました。 	 <p>子育てガイドブック「かすみっ湖」</p>
--	---

【事業の成果】

子育てガイドブックの配布、ホームページ及び子育て専用アプリによる情報発信などにより、子育て支援や虐待防止へつなげました。			
指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
イベント参加者数	人	0	49
「かすみっ湖」HPアクセス数	件	5,500	4,432

担当	子ども家庭課 児童担当
----	----------------

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	02 児童措置費
事業名	06 母子父子福祉事業（政策）				

総合計画体系	05-01-01-05		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	105	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	35	75
歳 入 計		140	75
歳 出	18 負担金、補助及び交付金	0	75
	19 扶助費	140	0
内 訳			
歳 出 計		140	75
(参 考)		当初予算額 2,475	当初予算額 3,435

【事業の概要】

就職に有利で生活の安定に役立つ資格の取得を目指すひとり親家庭の就業を支援しました。

また、生活の安定並びに福祉の増進を図ることを目的として、市母子寡婦福祉会に対して交付する補助金については、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、事業の一部を中止したことから、令和2年度においては交付していません。

❖ 高等職業訓練促進給付金 14万円

▷ 非課税世帯：(月額)10万円、課税世帯：(月額)7万500円

※ 修学の最終1年間に限り、月額を支給額に4万円を加算し、市民税非課税世帯で月額14万円、市民税課税世帯で月額11万500円を支給します。

▷ 給付金の対象資格 (10資格)

看護師(准看護師)、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、美容師、社会福祉士、製菓衛生師、調理師

❖ 市母子寡婦福祉会

▷ 令和3年3月31日現在の会員数：21名



【事業の成果】

就職に有利で生活の安定に役立つ資格の取得を目指すひとり親家庭の就業を支援し、修業期間中における生活の負担軽減を図りました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
対象資格を取得又は取得が見込まれる人数	人	1	0
資格取得者のうち就業に結びついた人数	人	0	0

担当	子ども家庭課 保育担当
----	----------------

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	03 保育所費
事業名	12 保育所事業（政策）				

総合計画体系	05-01-01-01				
事業期間	単年度のみ	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	1,680	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	0	0
歳 入 計		1,680	0
歳出内訳	18 負担金、補助及び交付金	1,680	0
歳 出 計		1,680	0
(参 考)		当初予算額 0	当初予算額 0

【事業の概要】

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、保護者の就労を支えるため、令和2年4月14日から10月31日までの対象期間に、市立保育所に勤務し、保育業務に従事した者（市職員を除く）に対し、1人につき3万円のかすみがうら市新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金を給付しました。

◆ 感染症対応従事者慰労金給付実績

- ▷ 給付人数 56人
- ▷ 給付額 1,680千円
- ▷ 給付対象職員
会計年度任用職員（保育士、保育補助者、調理員、運転手）



【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、保護者の就労を支えるため、感染のリスクがあるにもかかわらず、保育業務に従事した者に慰労金を給付し、慰労とともに、新型コロナウイルスの感染拡大防止意識の維持・高揚を図りました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度

担当	子ども家庭課 保育担当
----	----------------

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	04 児童福祉施設費
事業名	04 私立保育所事業（政策）				

総合計画体系	05-01-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	-		

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額		令和元年度決算額(参考)	
財 源	国 県 支 出 金	43,296		99,864	
	地 方 債 等	0		0	
	そ の 他	0		0	
	一 般 財 源	35,632		53,493	
歳 入 計		78,928		153,357	
歳 出 内 訳	18 負担金、補助及び交付金	51,145		140,314	
	22 償還金、利子及び割引料	27,783		13,043	
歳 出 計		78,928		153,357	
(参 考)		当初予算額	78,168	当初予算額	185,039

【事業の概要】

令和2年度から令和6年度までの5か年を計画期間とする「第2期かすみがうら市子ども・子育て支援事業計画（令和2年3月策定）」に基づいて、時間外保育（延長保育）や一時預かり事業などの地域子ども・子育て支援に関する事業を実施する民間保育所、認定こども園その他保育施設に対し、事業を実施するために必要な費用に充てるための交付金や補助金を交付しました。

また、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、保護者の就労を支えるため、令和2年4月14日から10月31日までの対象期間に、市内の民間保育所や認定こども園などに勤務し、保育業務に従事した者に対し、1人につき3万円のかすみがうら市新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金を給付しました。

❖ 補助の内容

- ▷ 時間外保育(延長保育) 900千円
(交付先施設) のぞみ保育園、霞ヶ浦保育園、美並未来みなみこども園
- ▷ 一時預かり事業 2,206千円
(交付先施設) 神立幼稚園
- ▷ 地域子育て支援事業 5,972千円
(交付先施設) 美並未来みなみこども園
- ▷ 感染症対応従事者慰労金 6,120千円
(対象施設) 市内の民間保育所、認定こども園その他保育施設・事業所
(給付人数) 204人
(給付対象) 所長や園長、保育士、調理員、用務員、運転手など



【事業の成果】

時間外保育（延長保育）や一時預かり事業などの地域子ども・子育て支援事業を実施する民間保育園や認定こども園などを支援し、多様な保育ニーズに応じた提供体制の維持と確保のほか、保育サービスの充実を図りました。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
市内民間保育所等入所(利用)児童数(4月1日時点)	人	1,055	1,030
地域子育て支援拠点施設年間延べ利用者数	人/年	8,801	16,317

担当	大塚児童館・ふれあいセンター 児童担当
----	------------------------

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	06 放課後児童健全育成事業費
事業名	03 放課後児童健全育成事業（政策）				

総合計画体系	05-01-01-02				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	64,534	37,198		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	41,489	16,727		
歳 入 計		106,023	53,925		
歳出	11 役務費	144	0		
	12 委託料	11,181	0		
	18 負担金、補助及び交付金	94,698	53,925		
内訳					
歳 出 計		106,023	53,925		
(参 考)		当初予算額	88,738	当初予算額	58,304

【事業の概要】

▶ 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

児童福祉法第6条の3第2項の規定に基づき、子どもたちの健全育成を図る事業です。

市内放課後児童クラブ 公設：18カ所 民設：7カ所

(1) 放課後児童クラブ運営費補助金

市内の民設放課後児童健全育成事業者に対して、運営費の補助をするものです。

(2) 子ども・子育て支援整備交付金

市内の民設放課後児童健全育成事業者に対して、施設整備費の一部を交付するものです。令和2年度実績 民設：2カ所

(3) 新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金給付事業

児童と接する業務に従事された方に対して、1人につき3万円の慰労金を支給したものです。支給件数：公立69名 民間24名 合計93名

(4) (仮称) 千代田中学校区放課後児童クラブ施設整備基本及び実施設計業務委託

千代田義務教育学校の令和4年度開校にあわせ、同学区内に設置運営している放課後児童クラブを統合し統合校敷地内に新設整備するため、基本及び実施設計業務を委託したものです。



【事業の成果】

民間事業者が放課後児童健全育成事業を実施していることで、本市では国が問題視している待機児童を発生させることなく、放課後児童健全育成事業を利用者に提供することができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
民営放課後児童クラブ入会児童数	人/年	240	248

担当	子ども家庭課 保育担当・児童担当
----	---------------------

款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	07 少子化対策事業費
事業名	03 子育て支援事業（政策）				

総合計画体系	05-01-02-01			
事業期間	継続	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	8,609	9,379		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	8,690	9,431		
歳 入 計		17,299	18,810		
歳出	07 報償費	658	635		
	10 需用費	19	18		
	12 委託料	1,800	1,800		
	18 負担金、補助及び交付金	14,822	16,358		
内訳					
歳 出 計		17,299	18,810		
(参 考)		当初予算額	19,816	当初予算額	14,938

【事業の概要】

子ども・子育て支援施策の一つとして位置付けている子育て援助活動支援事業（ファミリーサポートセンター事業）をはじめ、子育て世代の経済的負担の軽減を図るため、2人以上の子どもを持つ世帯の3歳未満児に係る利用者負担額（保育料）を軽減する「すこやか保育応援事業（多子世帯保育料軽減事業）」のほか、チャイルドシートの無償貸出事業、出産祝品贈呈事業に取り組みました。

❖ すこやか保育応援事業（多子世帯保育料軽減事業）

補助基準区分	交付世帯	交付額
① 子どもを3人以上持つ世帯の3歳未満児に係る保育料(全額)	43世帯	10,682千円
② 子どもを2人以上持つ世帯の3歳未満児に係る保育料(半額)	36世帯	4,140千円

❖ 出産祝品贈呈事業

区 分	件数
令和2年度における出産祝品贈呈者	205件
(参考)令和元年度における出生届の件数	205件



(対象者に贈呈している出産祝品)

【事業の成果】

子育て中の親の子育てへの負担感の緩和や育児不安の解消などに寄与しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
多子世帯保育料軽減事業費助成金の交付総額	千円	14,822	16,358
チャイルドシート貸出台数	台	38	48

担当	子ども家庭課 保育担当
----	----------------

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育振興対策費
事業名	26 幼稚園教育振興事業（政策）				

総合計画体系	05-01-01-01		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	1,619	1,191
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	540	543
歳 入 計		2,159	1,734
歳出内訳	18 負担金、補助及び交付金	0	259
	19 扶助費	2,159	1,475
歳 出 計		2,159	1,734
(参 考)		当初予算額 3,220	当初予算額 1,848

【事業の概要】

令和元年10月から開始された幼児教育・保育料無償化に伴い、市から施設等利用給付の認定を受けた児童が、子ども子育て支援新制度に移行していない市外の幼稚園を利用した月の利用料を支給しました。

※ 保護者の経済的負担の軽減と公私間格差の是正を図ることを目的とする就園奨励費補助金は、幼児教育・保育料の無償化開始に伴い、令和元年9月末日をもって終了し、10月以降は、子ども・子育て支援新制度未移行の私立幼稚園(事業者)が保護者に代わって施設を利用した月の利用料を市に請求し、施設等利用給付(扶助費)として支給する方法に移行しています。



【事業の成果】

市外の幼稚園に通う児童の保護者の仕事と育児の両立を図り、もって幼児教育の振興に寄与しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
経済的な負担軽減と公私間格差の是正が図られた保護者数	人	0	9

担当	健康づくり増進課 母子保健担当
----	--------------------

款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費
事業名	22 新生児特別定額給付金事業（政策）				

総合計画体系			
事業期間	期間限定複数年度（令和 2年度～令和 3年度）	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	15,480	0
歳 入 計		15,480	0
歳 出	10 需用費	34	0
	11 役務費	46	0
	18 負担金、補助及び交付金	15,400	0
歳 出 計		15,480	0
(参 考)		当初予算額 0	当初予算額 0

【事業の概要】

(1) 事業の目的

- 令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生し、かつ、出生後最初の住民登録がかすみがうら市である乳児と同一世帯に属する保護者に、乳児1人につき10万円を給付し、経済的負担を軽減する。

(2) 助成額

- 1児につき10万円の給付で154児へ給付を実施した。

年度	母子健康手帳交付数	出生数
H23	350	350
H24	350	320
H25	310	310
H26	300	300
H27	330	280
H28	250	280
H29	270	230
H30	250	270
R1	230	210
R2	200	200

【事業の成果】

・コロナの影響による所得減等において、新生児に係る生活費用等の負担軽減を図ることが出来ました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
補助金交付件数	件	154	0

担当	健康づくり増進課 成人保健担当
----	--------------------

款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	06 老人医療費
事業名	08 後期高齢者保健事業（政策）				

総合計画体系	04-01-02-03		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	3,582	4,323
歳 入 計		3,582	4,323
歳出内訳	18 負担金、補助及び交付金	3,582	4,323
歳 出 計		3,582	4,323
(参 考)		当初予算額 4,661	当初予算額 4,261

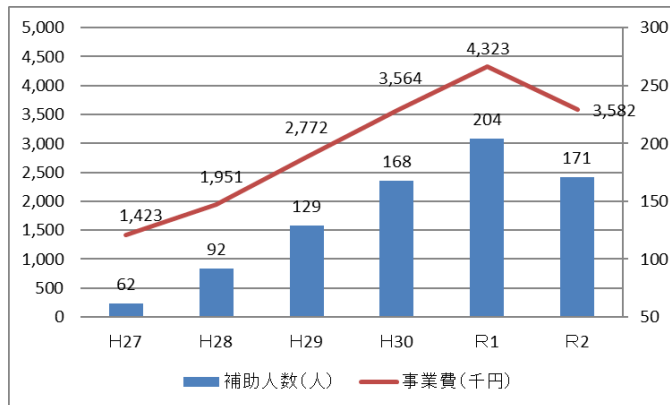
【事業の概要】

(1) 事業の目的

・後期高齢者医療制度被保険者を対象に、人間ドックの受診費用の一部助成を行う事で、ドック受診の推進による疾病の早期発見、早期予防を行い、健康寿命の延伸及び介護予防を目的として実施します。【対象者：後期高齢者（75歳以上）】

(2) 助成額

- ・日帰り人間ドック
20,000円
- ・脳・心臓ドック
23,000円
- ・脳併診・心臓併診ドック
32,000円



後期高齢者ドック受診者の推移

【事業の成果】

・後期高齢者を対象とした各種人間ドックの受診料の一部助成を行うことで、被保険者の疾病の早期発見、早期予防を図りました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
人間ドック利用者数 (受診者数)	人	171	204

担当	健康づくり増進課 健康増進担当
----	--------------------

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費
事業名	03 献血推進事業（政策）				

総合計画体系	04-01-01-08		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	70	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	270	200
歳 入 計		340	200
歳出	10 需用費	200	200
	18 負担金、補助及び交付金	140	0
内訳			
歳 出 計		340	200
(参 考)		当初予算額 340	当初予算額 200


【事業の概要】

(1) 事業の目的

- ・血液の安定供給に向け、協力記念品等を配布し、献血協力者を確保していく事で、医療機関の需要に合った血液の供給を行っていきます。

(2) 事業内容

- ・事業所、街頭等で茨城県赤十字血液センターの採血バスによる献血の実施。
- ・成人式典等に献血事業の周知のチラシを配布。
- ・献血協力者への処遇品の配布。



献血会場の状況

【事業の成果】

・市内事業所や街頭等において、茨城県赤十字血液センターの採血バスによる献血を実施し、血液の供給に寄与しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
献血申込者数	人	453	544
献血実施者数	人	411	473

担当	健康づくり増進課 母子保健担当
----	--------------------

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	02 母子保健事業費
事業名	04 不妊治療費助成事業（政策）				

総合計画体系	04-01-01-06				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	4,000	3,042
歳 入 計		4,000	3,042
歳出	18 負担金、補助及び交付金	4,000	3,042
内訳			
歳 出 計		4,000	3,042
(参 考)		当初予算額	当初予算額
		4,000	4,000

【事業の概要】

(1) 事業の目的

不妊に悩む夫婦への体外受精や顕微授精の不妊治療は、一回の受診料が高額になりやすく、また、複数回の治療が必要な場合もあり、妊娠に至るまでの経済的負担が大きいところです。本市では不妊治療費の一部補助を行い、治療費の負担軽減することで、少しでも安心して治療に専念できる環境が整えられるよう、不妊治療費助成事業を実施しています。

(2) 助成内容

・(回数) 初回申請の治療開始が39歳までは通算6回まで、40～42歳は通算3回まで、43歳以上は対象外

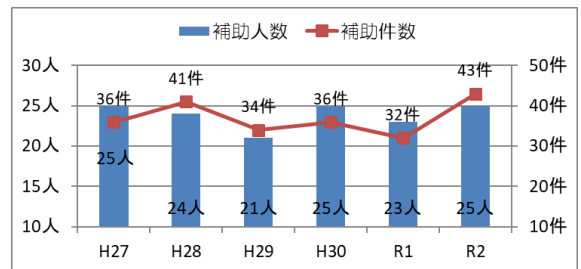
・(金額) 特定不妊治療1回につき茨城県不妊治療助成額を差引いた額から10万円 (限度額)

(3) 助成実績

- ・女性不妊治療…23人41件
- ・不育症治療……2人2件
- ・男性不妊治療…0人0件

(4) 助成額

・3,999,769円



【事業の成果】

・不妊治療費助成事業を実施して、不妊治療費の一部を補助することで、赤ちゃんを望む夫婦の不妊治療費の負担軽減を図りました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
補助金交付件数	件	43	32

担当	健康づくり増進課 健康増進担当
----	--------------------

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 保健事業費
事業名	05 健康づくり推進事業（政策）				

総合計画体系	04-01-01-01		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	710	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	4,042	7,992
歳 入 計		4,769	7,992
歳出内訳	01 報酬	1,586	0
	03 職員手当等	226	0
	04 共済費	283	247
	07 報償費	40	205
	08 旅費	42	5
	10 需用費	1,516	2,822
	11 役務費	40	120
	12 委託料	1,009	2,252
	13 使用料及び賃借料	0	257
	その他	27	2,084
歳 出 計		4,769	7,992
(参 考)		当初予算額	当初予算額
		8,915	10,517

【事業の概要】

(1) 事業の目的

生活習慣病の予防を通して、健康寿命を延伸していくため、健康づくり事業を実施し健康意識の高揚を図ります。

(2) 事業内容

- ・子どもの健診から大人の健診、がん検診や健康教室等の日程や、健康に関する情報を市民へ周知するための健康カレンダーを作成しました。
- ・市民の不安と疑問の解消にむけて、こころの相談や心身の健康に関する相談を実施
- ・市民への健康のあり方を体験型で実施している「健康まつり」や「健康体操指導士養成」を実施する予定であったが、多数の方が一堂に集まることから、感染拡大防止を考慮し、中止としました。



作成した健康カレンダー

【事業の成果】

- ・健康カレンダーを配布することにより、健診日程や事業案内を市民へ周知することが出来ました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
健康まつり参加者数	人	0	600
健康体操指導士育成	人	0	0

担当	健康づくり増進課 成人保健担当
----	--------------------

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 予防費
事業名	04 任意予防接種事業（政策）				

総合計画体系	04-01-01-05		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	9,504	10,889
歳 入 計		9,504	10,889
歳出	11 役務費	260	274
	12 委託料	9,121	10,451
	19 扶助費	123	164
内訳			
歳 出 計		9,504	10,889
(参 考)		当初予算額	11,439
		当初予算額	12,890

【事業の概要】

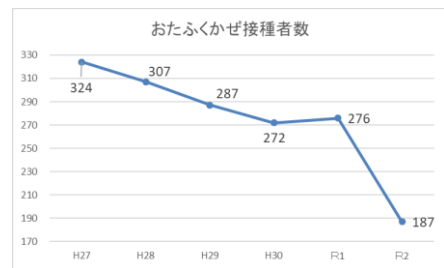
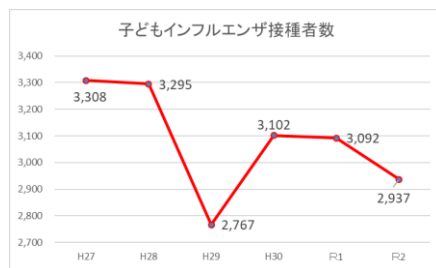
(1) 事業の目的

住民全体の免疫水準を維持するために、市が定める任意の予防接種について費用を助成することで、予防接種の実施による一定の接種率を確保し、感染症の蔓延を予防します。

(2) 事業内容

予防接種を実施した場合に助成額を給付します。

- ・おたふくかぜ
…1回（接種費全額助成）
- ・インフルエンザ（子ども）
…年1回
（1回2,000円上限）



予防接種者数の推移

【事業の成果】

・各種予防接種を実施することにより、市民における感染症の発生や、まん延及び重症化の予防に寄与し、健康を維持することが出来ました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
接種者数	人	3,348	3,763
インフルエンザ予防接種者数	人	2,937	3,092

担当	健康づくり増進課 健康増進担当
----	--------------------

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	05 保健センター費
事業名	03 ウエルネスプラザ管理運営事業（政策）				

総合計画体系	03-02-02-01		
事業期間	継続（令和2年度～）	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額（参考）
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	50,283	0
歳 入 計		50,283	0
歳出	12 委託料	49,181	0
	13 使用料及び賃借料	1,102	0
内訳			
歳 出 計		50,283	0
(参 考)		当初予算額	61,067
		当初予算額	0

【事業の概要】

(1) 事業の目的

- ・若年層から高齢者の方まで、自らの生きる力を実感し、健康寿命を延ばすことを目的として健康に生活できるよう、健康の維持・増進・疾病予防に対する情報発信や、施設を利用した周辺地域のコミュニティづくりによる地域活性化を図ってまいります。

月	トレーニングルーム人数	貸室人数
6月	734	640
7月	1441	892
8月	1351	918
9月	1328	1026
10月	1360	1400
11月	1216	1368
12月	1018	1461
1月	570	345
2月	636	1636
3月	1073	1595

【事業の成果】

・延べ1万人以上の方にトレーニングルームが利用され、市民の健康増進を図ることが出来ました。また、貸館により地域の方のコミュニティの形成に寄与することが出来ました。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
トレーニングルーム利用者数	人	10,727	0

担当	健康づくり増進課 成人保健担当
----	--------------------

款	06 保健事業費	項	02 保健事業費	目	02 疾病予防費
事業名	02 疾病予防事業（政策）				

総合計画体系	04-01-02-02		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	12,279	14,533
歳 入 計		12,279	14,533
歳出内訳	18 負担金、補助及び交付金	12,279	14,533
歳 出 計		12,279	14,533
(参 考)		当初予算額 15,000	当初予算額 15,000

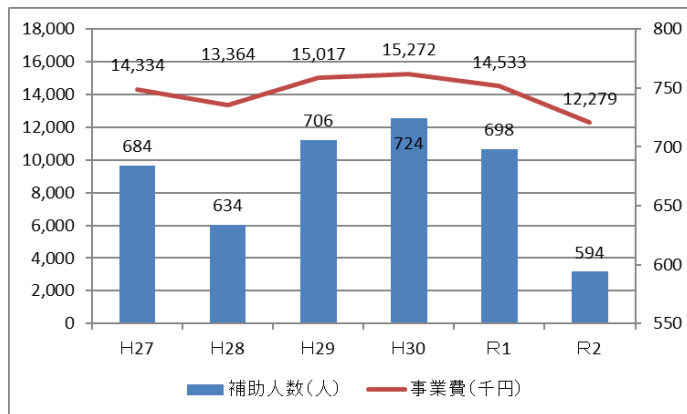
【事業の概要】

(1) 事業の目的

・30歳以上の被保険者を対象に、人間ドックの受診費用の一部助成を行う事で、ドック受診の推進による疾病の早期発見、早期予防を行い、健康寿命の延伸及び疾病予防を目的として実施します。【対象者：国民健康保険加入者（30歳以上）】

(2) 助成額

- ・日帰り人間ドック 20,000円
- ・脳・心臓ドック 23,000円
- ・脳併診・心臓併診ドック 32,000円



国民健康保険人間ドック受診者の推移

【事業の成果】

・国民健康保険被保険者を対象とした各種人間ドックの受診料の一部助成を行うことで、被保険者の疾病の早期発見、早期予防を図りました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
人間ドック利用者数 (受診者数)	人	594	698

担当	農林水産課 産業振興担当
----	-----------------

款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業名	06 園芸振興事業（政策）				

総合計画体系	02-01-01-01		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財 源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	685	739		
歳 入 計		685	739		
歳 出 内 訳	07 報償費	2	2		
	08 旅費	0	2		
	18 負担金、補助及び交付金	683	736		
歳 出 計		685	739		
(参 考)		当初予算額	1,126	当初予算額	1,227

【事業の概要】

- (1) **新作物等作付支援事業補助金 補助事業者計：2件**
永年性新作物又は主要果樹類の新植又は改植に係る経費を補助しました。
R2実績 柿新植（太雅・麗玉）梨改植（幸水）梅新植（南高梅 織姫）
- (2) **園芸産地総合整備事業 補助事業者計：3件**
園芸作物の振興を目的として、営農集団による農薬低減事業を実施しました。
梨圃場：コンフェューザーNの導入 ぶどう圃場：フェロモントラップの導入
- (3) **食の安全・安心対策事業補助金 補助事業者計：11件**
市内11の生産部会が残留農薬の検査を実施し、安全安心な農作物の出荷販売を行いました。
※全検査において残留農薬は不検出
- (4) **農業用廃プラスチック回収事業**
適正な処理の促進を図りました。
実績：農ポリ20.20t 農ビ1.63t
- (5) **かすみがうら市新作物推進協議会 運営補助金**
ブルーベリー栽培基準の改訂など実施しました。



【事業の成果】

市内営農団体における農薬低減事業や残留農薬調査の実施、さらには、廃プラスチックの適正処理の促進など、食の安全・安心に資する事業の支援、また、果樹の作付支援等を推進することで本市の農業振興を図っています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
経営安定化を図った団体数	件	16	14

担当	農林水産課 産業振興担当
----	-----------------

款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業名	08 有害鳥獣対策事業（政策）				

総合計画体系	02-01-01-01		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	1,964	1,046
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	7,789	6,143
歳 入 計		9,753	7,189
歳出内訳	07 報償費	3,321	2,262
	10 需用費	80	30
	12 委託料	4,546	3,973
	13 使用料及び賃借料	88	88
	17 備品購入費	147	0
	18 負担金、補助及び交付金	1,571	836
歳 出 計		9,753	7,189
(参 考)		当初予算額	当初予算額
		8,679	8,176

【事業の概要】

(1) 有害鳥獣捕獲事業

	【千代田地区】	【霞ヶ浦地区】	捕獲頭羽数
◇イノシシ	(年4回 春・夏・秋・冬)	(年3回 春・夏・秋)	計168頭
◇カラス	(年1回 夏)	(年2回 春・秋)	計570羽
◇カガモ・バン・オバン		(年1回 春)	計116羽
◇狩猟期(11月～3月) イノシシ捕獲			計132頭
◇アライグマ捕獲【農作物被害】(通年)			計120頭

(2) 狩猟免許取得事業補助金

わな免許取得者 令和2年度：3名

(3) 鳥獣被害防止柵設置支援事業補助金

侵入防止柵の資材購入に要する経費への補助
⇒電気柵・ワイヤーメッシュ柵等の侵入防止柵
設置者：24名 設置面積：9.1ha

(4) 箱わなの購入

イノシシ用：11基 小型獣用：3基



地元区長と猟友会による箱わな設置状況の確認

【事業の成果】

イノシシ等による農作物被害が拡大している中、各地域の情勢に応じた有害鳥獣捕獲事業の実施や農業者等の自衛対策である侵入防止柵設置支援事業を実施。「捕獲」と「自衛」の両面から対策を推進することで、被害の軽減に努めています。

	単位	令和 2年度	令和元年度
農作物に対する被害の苦情	件	51	41

担当	農林水産課 農政担当・産業振興担当
----	----------------------

款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業名	10 農業振興事業 (政策)				

総合計画体系	02-01-01-03		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	1,221	82
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	2	2
	一 般 財 源	1,364	3,170
歳 入 計		2,587	3,254
歳出内訳	04 共済費	0	175
	08 旅費	0	60
	10 需用費	1,140	104
	12 委託料	255	0
	18 負担金、補助及び交付金	1,193	1,555
	30 賃金	0	1,361
	歳 出 計	2,587	3,254
(参 考)		当初予算額	当初予算額
		4,119	4,967

【事業の概要】

- かすみがうら市農業再生協議会事業
 - 米消費拡大推進事業
消費拡大を図るため、市推奨米「ふくまる」や「ふくまる厳選米のお酒」のPRのほか、学校給食や市内飲食店へ提供しました。
 - 遊休農地対策事業
休耕地の再生作業42a (レンコン田として再生)
 - 第三者継承促進事業
市内にて、将来果樹の経営を目指す研修生及びその研修生を受け入れてくれる農家を募集
※研修生受入農家登録件数 5件
- 市産食材活用による地産地消推進事業
「地産地消の推進」「郷土愛の醸成」を目的として、小中学校の給食へ市内農水産物を提供しました。
※R2.9より毎月1回提供



学校給食
【コイの唐揚げ】



【事業の成果】

各団体に運営費や事業費を補助するほか、農業経営改善計画の認定により、認定農業者の農業経営発展を図りました。さらに、学校給食に地産食材を提供することで、市内農水産物の地産地消を推進しています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
農業経営改善計画 (認定農業者) の新規認定	件	6	5
第三者承継に向けた研修実施件数 (新規)	件	0	0

担当	農林水産課 農政担当
----	---------------

款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業名	13 農地中間管理事業（政策）				

総合計画体系	02-01-01-01	
事業期間	継続（平成26年度～）	全体事業費

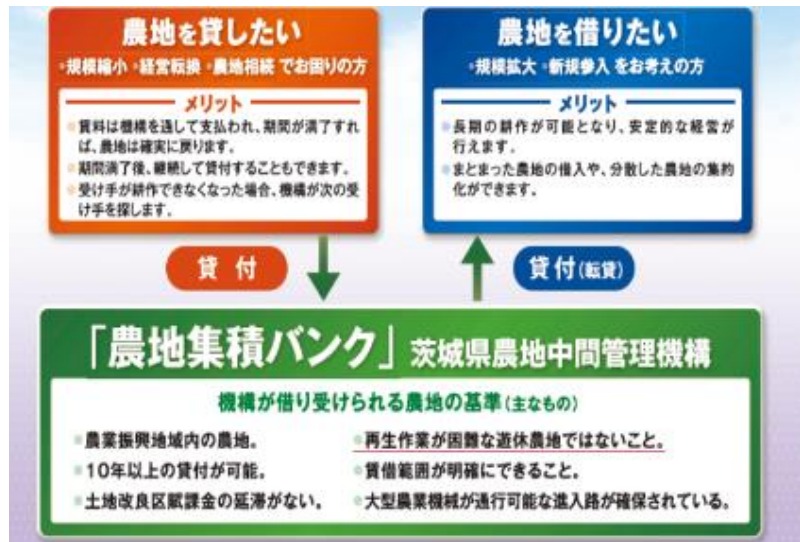
【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	185	141
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	2,080	3,050
	一 般 財 源	14	48
歳 入 計		2,278	3,239
歳出内訳	01 報酬	1,351	0
	03 職員手当等	194	0
	04 共済費	223	41
	10 需用費	10	0
	11 役務費	116	859
	18 負担金、補助及び交付金	185	141
	21 補償、補填及び賠償金	0	7
	22 償還金、利子及び割引料	200	738
	30 賃金	0	1,454
	歳 出 計		2,278
(参 考)		当初予算額	当初予算額
		3,112	2,693

【事業の概要】

農地中間管理事業の推進に関する法律に基づき、茨城県農地中間管理機構（茨城県農林振興公社）からの委託を受け、農地の貸し手と借り手からの相談業務及びマッチングを行います。

担い手への農地の集積を推進し、生産性の向上に資するものです。



【事業の成果】

経営規模の縮小や離農した農家等の土地を有効活用するため、農地中間管理機構とともに貸し手と借り手のつなぎ役を担い、遊休農地の拡大防止、農地集積面積の増加に寄与しています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
農地集積面積	ha	22.35	23.20

担当	農林水産課 産業振興担当
----	-----------------

款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 畜産振興費
事業名	03 畜産振興事業（政策）				

総合計画体系	02-01-01-05		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財 源	国 県 支 出 金	444	1		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	2,549	856		
歳 入 計		2,993	857		
歳 出	18 負担金、補助及び交付金	2,993	857		
内 訳					
歳 出 計		2,993	857		
(参 考)		当初予算額	1,067	当初予算額	3,402

【事業の概要】

(1) 家畜防疫予防事業：市畜産協会

オーエスキー病予防接種 11,308頭 CSF (豚熱) 予防接種12,665頭
CSF感染防止のための野生動物侵入防護柵整備 6農家8農場
ヨーネ病及び牛白血病検査 310頭

(2) 畜産協会運営事業：市畜産協会

畜産農家による自衛防疫の推進
※発電機等購入

(3) 酪農振興事業：市畜産協会酪農部

乳牛伝染病予防対策
アカバネ病54頭 三種混合45頭

(4) 養豚振興事業：市畜産協会養豚部

豚改良増殖を図るため、
優良種豚を導入：5頭

(5) 家畜共励会出品

各種大会（共励会・共進会・研究会）へ
肉用肥育牛を出品（5回）



野生動物侵入防護柵
【市内養豚場】



【事業の成果】

優良品種の導入など、引き続き品質の向上に努めるほか、CSF (豚熱) 対策をはじめとした家畜防疫予防対策に力を入れることで、畜産経営の安定化を図っています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
悪臭・糞尿による苦情件数	件	8	9

担当	農林水産課 農政担当
----	---------------

款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	06 水田農業対策費
事業名	03 米政策推進事業（政策）				

総合計画体系	02-01-01-01		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)	
財源	国 県 支 出 金	0	0	
	地 方 債 等	0	0	
	そ の 他	0	0	
	一 般 財 源	20,674	22,310	
歳 入 計		20,674	22,310	
歳 出	18 負担金、補助及び交付金	20,674	22,310	
内 訳				
歳 出 計		20,674	22,310	
(参 考)		当初予算額	23,915	当初予算額 23,511

【事業の概要】

市のブランド米「ふくまる厳選米」の高付加価値化を目指すほか、飼料用米、麦、大豆など戦略作物の本作化を進めることとして、水田をフル活用する取り組みの支援、輸出用米等の新市場開拓用米への支援を行い、経営所得の安定を図ります。

- 飼料用米
 - (多収性品種) 90.98ha
- 担い手加算
 - (多収性品種) 89.02ha
 - (飼料作物) 17.46ha
 - (麦・大豆) 0.06ha
 - (新市場開拓用米) 3.71ha
- 推奨米作付助成
 - (ふくまる) 21.68ha
- 特別栽培加算
 - (ふくまる厳選米) 1.43ha



ブランド米
ふくまるのロゴ

【事業の成果】

農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、もって食料自給率の向上と農業の多面的機能を維持するために、飼料用米等の新規需要米や市が推奨する作物を生産する農業者に対し交付金を支払うことで、需要に合った米生産を推進しています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
生産目標の達成	%	93.93	95.51
「ふくまる」の作付面積	ha	21.68	24.36

担当	農林水産課 産業振興担当
----	-----------------

款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	08 農地費
事業名	03 土地改良整備支援事業（政策）				

総合計画体系	02-01-01-02			
事業期間	継続	全体事業費	-	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財 源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	5,766	4,744		
歳 入 計		5,766	4,744		
歳 出	18 負担金、補助及び交付金	5,766	4,744		
内 訳					
歳 出 計		5,766	4,744		
(参 考)		当初予算額	1,000	当初予算額	500

【事業の概要】

(1)小規模土地改良事業補助

土地改良水利組合等が管理する農業水利施設の維持、長寿命化を目的とした整備

- ポンプ点検 2か所
- ポンプ交換 3か所
- ポンプ場防水工 1か所



小規模土地改良事業
【美土地改良水利組合】
ポンプ交換

(2)県単土地改良事業補助

土地改良区が管理する農業生産基盤（土地改良施設）の整備

- かんがい用水整備 7か所
- かんがい排水整備 4か所



県単土地改良事業
【戸崎土地改良区】
用水整備

【事業の成果】

老朽化が顕著となっている農業水利施設などの機能整備を推進することにより、農業生産基盤の強化を図っています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
整備箇所数（小規模土地改良事業の要望箇所数に対し100%実施）	箇所	6	2

担当	農林水産課 産業振興担当
----	-----------------

款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	08 農地費
事業名	05 土地改良助成事業（政策）				

総合計画体系	02-01-01-02		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財 源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	5,360	5,417		
歳 入 計		5,360	5,417		
歳 出	18 負担金、補助及び交付金	5,360	5,417		
内 訳					
歳 出 計		5,360	5,417		
(参 考)		当初予算額	5,502	当初予算額	5,502

【事業の概要】

土地改良区等事業費補助

対象団体 土地改良区及び水利組合等 21団体
補助率 10aあたりの組合員賦課金の1/10
(上限450円)

概要

土地改良区等を構成する農家等の負担軽減を図るため、土地改良区等の運営費（営農に係る施設運転経費）に対し補助を行っています。



用水機場【菱木地区】

【事業の成果】

水利施設の運転費等に支援を行い経費の負担軽減を図ることで、地域の農地維持へつなげています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
補助対応件数	件	21	21

担当	農林水産課 産業振興担当
----	-----------------

款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	08 農地費
事業名	07 国営造成施設管理体制整備事業（政策）				

総合計画体系	02-01-01-02		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財 源	国 県 支 出 金	9,100	9,100		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	3,960	3,960		
歳 入 計		13,060	13,060		
歳 出	12 委託料	500	500		
	18 負担金、補助及び交付金	12,560	12,560		
内 訳					
歳 出 計		13,060	13,060		
(参 考)		当初予算額	14,560	当初予算額	13,060

【事業の概要】

機場施設維持管理事業

- 【対象団体】霞ヶ浦土地改良区
- 【計画年度】平成30年度～令和4年度（5か年）
- 【事業費】12,500,000円
- 【補助率】国50%、県20%、市30%

【概要】

県と市が連携し、国営造成施設(出島揚水牛渡機場)を管理している霞ヶ浦土地改良区に対し、管理体制の整備事業を支援。また、施設の持つ多面的機能についての普及啓発を行う推進活動を実施しました。



用水経路



出島揚水機

【事業の成果】

農業水利施設の維持修繕、管理体制の強化、事業周知活動を行い、国営造成施設の適正な管理を図っています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
計画策定の進捗率（実施状況において評価）	%	73	83

担当	農林水産課 産業振興担当
----	-----------------

款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	01 林業振興費
事業名	03 林業振興事業（政策）				

総合計画体系	02-01-01-06		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財 源	国 県 支 出 金	1,572	1,452		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	2,349	2,161		
歳 入 計		3,921	3,613		
歳 出	14 工事請負費	3,817	3,509		
	18 負担金、補助及び交付金	104	104		
内 訳					
歳 出 計		3,921	3,613		
(参 考)		当初予算額	4,104	当初予算額	3,604

【事業の概要】

(1) 林道補修工事

【雪入沢線排水改良工事】

林道の適正な維持管理を図るため、
県単林道事業を活用し改良工事を実施しました。

- ・ 法面補強
- ・ 側溝設置
- ・ 舗装工事



林道雪入沢線 補修箇所

(2) 緑の少年団補助金【4団体】

市内4小学校が実施する緑化活動に
対し支援を行いました。

【事業の成果】

林道の補修工事により既設林道の機能の向上を図ったほか、緑の少年団が実施する緑化活動について支援を行い、子どもたちの森林愛護に対する意識の向上に努めています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
森林愛護運動に係る補助対応	件	4	4

担当	農林水産課 産業振興担当
----	-----------------

款	06 農林水産業費	項	03 水産業費	目	01 水産業振興費
事業名	03 水産振興事業（政策）				

総合計画体系	02-01-01-07			
事業期間	継続	全体事業費	-	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	429	1,731		
歳 入 計		429	1,731		
歳 出	12 委託料	0	495		
	18 負担金、補助及び交付金	429	1,236		
内 訳					
歳 出 計		429	1,731		
(参 考)		当初予算額	1,376	当初予算額	2,375

【事業の概要】

(1) わかさぎ孵化放流事業補助金

霞ヶ浦の重要な水産資源であるわかさぎの維持増殖及び水産業の振興と組合員の生活を守る為、わかさぎの人工ふ化放流事業を実施しました。

また、わかさぎ人工孵化方法については、漁協の水槽内自然採施設において、水産研究会協力のもと、シュロ枠とキンラン（人工産卵藻）により行いました。

(2) 水産加工特産品キャンペーン事業補助金

かすみがうら支部の組合員一同が茨城県水産製品品評会へ出展し、各種淡水魚加工品の無料配布並びに佃煮・煮干等の展示・試食会を行ったほか、市内成人者へ記念品として水産加工品の配布を行いました。



ワカサギ人工孵化放流事業

【事業の成果】

霞ヶ浦の代表的な水産資源であるわかさぎの増産を目的とした採卵及び人工ふ化を実施するとともに、品評会への出店など水産加工品の販路開拓に資する取り組みを行うことで、地場産業の活性化に寄与しています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
漁業者の人数	件	95	100

担当	地域未来投資推進課 企業誘致商工担当
----	-----------------------

款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業名	03 中小企業対策事業（政策）				

総合計画体系	02-02-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	-		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	44,419	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	14,735	20,619		
歳 入 計		59,154	20,619		
歳出	18 負担金、補助及び交付金	46,454	9,019		
	20 貸付金	12,000	11,000		
	23 投資及び出資金	700	600		
内訳					
歳 出 計		59,154	20,619		
(参 考)		当初予算額	22,700	当初予算額	21,000

【事業の概要】

<p>■<u>資金あつ旋保証料補給金</u> 自治金融による融資を受けた事業者に対し、信用保証料を全額補助する制度。 (信用保証料補給件数) 110件 (保証料補給額) 5,155,839円 (返戻額) 3,621,483円</p> <p>■<u>茨城県パワーアップ融資信用保証料補給金</u> 新型コロナウイルス感染症の影響により、セーフティネット保証の認定を受けて茨城県パワーアップ融資制度を利用された事業者に対して、信用保証料を補助する制度。 (交付件数) 72件 (交付額) 26,208,470円 (セーフティネット保証認定件数) 4号認定46件/5号認定13件/危機関連13件</p> <p>■<u>「新しい生活様式」に対応したビジネスモデル構築支援事業補助金</u> 国で示した「新しい生活様式」に対応するため、感染予防対策や働き方の新しいスタイル、Webによる新しいビジネススタイルなどを構築した費用に対し補助する制度。 (交付件数) 63件 (交付額) 9,611,000円</p> <p>■<u>事業継続給付金</u> 国が給付する持続化給付金の給付対象とならない事業者に対し、「売上が前年同月比30%以上の売上減少」を支給要件として一律20万円を給付。 (交付件数) 43件 (交付額) 8,600,000円</p>

【事業の成果】

市内事業者に対する事業資金の融資とこれに対する信用保証料を補給することにより、健全な経営確保に繋がっています。また、新型コロナウイルス感染症に伴い、経営に影響を受けている事業者に対して、各種補助事業を実施したことで、事業継続の下支えに寄与しています。				
指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度	
自治金融制度利用件数	件	5	55	
セーフティネット融資利用件数	件	72	5	

担当	地域未来投資推進課 企業誘致商工担当
----	-----------------------

款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業名	05 商工振興事業（政策）				

総合計画体系	02-02-01-01		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	295,345	2,250
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	288,950	20,776
歳 入 計		584,295	23,026
歳出	10 需用費	609	0
	11 役務費	2,733	0
	12 委託料	46,815	50
	13 使用料及び賃借料	94	0
	18 負担金、補助及び交付金	534,045	22,976
内訳			
歳 出 計		584,295	23,026
(参 考)		当初予算額 24,050	当初予算額 23,050

【事業の概要】

■商工振興対策事業費補助金

市内の商工振興と安定を図るため、市商工会が行う事業に対し、補助金を交付。
(交付額) 18,000,000円

■住宅リフォーム補助金

市内施工業者を利用して個人住宅リフォーム工事を行った経費の一部を助成。
(交付件数) 千代田地区36件・霞ヶ浦地区36件 (交付額) 4,989,000円

■デリバリー・テイクアウト参入支援事業及び応援キャンペーン事業

新需要へ対応するため、デリバリー・テイクアウトを実施した店舗に10万円を支給。
また、市内飲食事業者で使用できる消費喚起割引チケットを各世帯に配布。
(実施店舗) 37店舗 (割引チケット使用総額) 4,565,000円

■かすみエールプレミアム商品券事業

市内の消費喚起及び経済の下支えを目的にかすみエールプレミアム商品券を発行。
(商品券販売冊数) 第1弾:24,584冊/第2弾:25,735冊 (商品券換金総額) 502,117,000円

■かすみエール学生ふるさと応援便事業

本市出身の市外在学の学生に対し、市特産品を支給。
(支給件数) 172件



【事業の成果】

市商工会が実施する経営改善普及事業では、講習会・研修会・研究会など事業者の様々なニーズに合わせたサービスが提供されています。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者への支援や市民への家計支援を行うことで、市内消費喚起及び経済の下支えに寄与しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
商工会の会員数	人	756	743
住宅リフォーム助成に伴う経済効果	千円	86,467,000	91,420,000

担当	地域未来投資推進課 企業誘致商工担当
----	-----------------------

款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業名	10 企業立地促進事業（政策）				

総合計画体系	05-04-01-03				
事業期間	継続	全体事業費	-		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財 源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	190,184	223,543		
歳 入 計		190,184	223,543		
歳 出 内 訳	08 旅費	53	124		
	10 需用費	10	88		
	18 負担金、補助及び交付金	190,121	223,331		
歳 出 計		190,184	223,543		
(参 考)		当初予算額	211,341	当初予算額	196,700

【事業の概要】

企業立地の促進や新たな産業用地開発検討の継続、さらには域外への販路開拓を目指す事業者に対する支援等（助成制度・金融対策・誘致活動・情報提供）を行うことで、地域へ波及効果をもたらすであろう地域経済牽引事業者の成長を促し、市内産業の活性化と雇用の促進、税収増といった地域経済の発展につなげます。

▶企業立地促進助成金の交付

- ・栗田アルミ工業(株)：R2助成額24,177千円【H30年度立地】
- ・ダイプラ(株)：R2助成額68,500千円【R1年度立地】
- ・クレハエクストロン(株)：R2助成額70,000千円【R1年度立地】
- ・(株)ポテトかいつか：R2助成額26,850千円【R1年度立地】



▶立地に伴う固定資産税の免除

(株)小松崎商事・山田製菓(株)・栗田アルミ工業(株)・
ダイプラ(株)・クレハエクストロン(株)・(株)ポテトかいつか

(クレハエクストロン株式会社)

▶域外販促支援助成金の交付

- ・海外販路開拓：R2助成額400千円（開拓先：タイ）
- ・国内販路開拓：R2助成額131千円（開拓先：北海道）

【事業の成果】

企業誘致及び設備投資等を推進するための企業訪問は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施が困難でありましたが、新規立地や既立地企業拡大の相談は随時対応しました。また、域外販路支援では、2事業者が域外販促支援助成金を活用し、現地でのマーケティング及びバイヤーとの交渉により販路拡大に繋がっています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
立地等企業数	件	0	3
新規雇用(採用)者数	人	0	34

担当	地域未来投資推進課 企業誘致商工担当
----	-----------------------

款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業名	12 地域ポイント推進事業（政策）				

総合計画体系	02-02-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額（参考）		
財源	国 県 支 出 金	2,386	3,493		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	4,378	4,333		
歳 入 計		6,764	7,826		
歳出	08 旅費	0	9		
	10 需用費	129	257		
	12 委託料	5,742	6,760		
	18 負担金、補助及び交付金	893	801		
内訳					
歳 出 計		6,764	7,826		
(参 考)		当初予算額	9,939	当初予算額	12,150

【事業の概要】

市内各種イベント等の参加者に対し、スマートフォンアプリを使用して地域ポイントを付与し、付与したポイントを市内飲食店等において割引ポイントとして利用できる制度。

◆ポイント付与対象事業

出産祝品贈呈事業・乳がん子宮がん検診事業・観光事業（レンタサイクル利用者／ライトガイド参加者／サイクルキャッシングなど）・生涯学習事業（マヒイ講座受講者／子ども大学参加者など）・ジョギングパトロール事業・婚活サポートセンター事業・職員互助会福利厚生事業

区分	令和2年度	令和元年度
配布ポイント	2,007,200P (2,548件)	3,885,000P (5,058件)
取得ポイント	1,326,100P (1,668件)	1,649,400P (1,984件)
利用ポイント	1,083,194P	994,121P
年間登録者数	703人	1,035人



◆地域ポイントシステムの維持管理

- ▶システムの安定稼働・管理(株式会社Sound-FinTech)
- ▶iosバージョンアップによるシステム改修

【事業の成果】

地域ポイント制度活用による地域経済の活性化や、市民参加型の新しい仕組みとして事業を実施してきましたが、地域ポイント付与に対する利用率が低いことから、経済循環と消費喚起としての効果が限定的であるため、令和2年度でポイント付与が終了となります。

指 標 区 分	単 位	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度
地域ポイント利用可能店舗数	店舗	11	10

担当	地域未来投資推進課 企業誘致商工担当
----	-----------------------

款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業名	13 創業支援事業（政策）				

総合計画体系	05-03-01-05			
事業期間	継続	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)	
財源	国 県 支 出 金	0	0	
	地 方 債 等	0	0	
	そ の 他	0	0	
	一 般 財 源	1,500	0	
歳 入 計		1,500	0	
歳出	18 負担金、補助及び交付金	1,500	0	
内訳				
歳 出 計		1,500	0	
(参 考)		当初予算額	1,500	当初予算額 2,001

【事業の概要】

■スタートアップ創業支援等事業補助金

産業の振興、新規雇用の創出及び定住促進を図るため、市内において新たに創業する者や市内において業務転換又は新事業・新分野に進出する者に対し、創業に必要な経費を補助する制度。

(補助金額) 補助対象経費の3分の2以内の額で上限50万円

(支援区分)

- ・新規創業 … 事業を営んでいない個人が、本市内において新たに事業を開始する場合または事業を営んでいない個人が新たに法人を設立し市内において事業を開始する場合
- ・新事業展開 … 既に事業を営んでいる個人または法人が、本市内において新事業または新分野に進出する場合

▶補助金交付実績

- ・新規創業 … (交付件数) 2件 (交付額) 1,000,000円
- ・新事業展開 … (交付件数) 1件 (交付額) 500,000円

【事業の成果】

本制度は、個人事業者にあつては、本市の住民基本台帳に登録すること、法人にあつては、本市を本店所在とした法人登記を要件としていることから、創業支援を行うことで、地域の活性を維持するとともに産業の振興、新規雇用の創出及び定住促進に寄与しています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
新規創業実績件数	件	6	14

担当	地域未来投資推進課 企業誘致商工担当
----	-----------------------

款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費
事業名	14 ふるさと応援事業（政策）				

総合計画体系	02-02-01-03				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額（参考）		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	16,518	8,231		
歳 入 計		16,518	8,231		
歳出内訳	07 報償費	12,037	6,025		
	10 需用費	27	96		
	12 委託料	4,454	2,110		
歳 出 計		16,518	8,231		
(参 考)		当初予算額	10,282	当初予算額	10,391

【事業の概要】

本市に対して応援や貢献を望んでいる方から広く寄附を募り、これを財源として市が重点的に取り組む事業に活用します。また、返礼品を通じて、市の農水産物等などの魅力をPRします。

区分	令和2年度	令和元年度
寄附受入件数	2,710件	1,212件
寄附金総額	30,895,000円	15,812,000円
返礼品取扱数	69品	46品



■ふるさと納税の受付事務・証明書発行事務

- ▶ふるさと納税一括業務委託
- ▶ふるさと納税証明書発行等業務委託
(委託先) 株式会社さとふる

【事業の成果】

ふるさと納税サイト「さとふる」を活用することで、納税者の地方行政への関心と参加意識を高められるほか、湖山の宝をはじめとする市の特産品を返礼品とすることで、地元特産品のPR及び販路の拡大に繋がっています。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
ふるさと応援寄附の受入件数	件	2,710	1,212

担当	観光課 観光DMO推進担当
----	------------------

款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業名	14 地域活性化DMO推進事業（政策）				

総合計画体系	07-03-01-02		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額(参考)
財源	国 県 支 出 金	2,200	1,893
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	982	2,592
歳 入 計		3,182	4,485
歳出	08 旅費	45	0
	10 需用費	13	0
	12 委託料	2,200	3,805
	13 使用料及び賃借料	0	680
	18 負担金、補助及び交付金	924	0
内訳			
歳 出 計		3,182	4,485
(参 考)		当初予算額 3,320	当初予算額 4,967

【事業の概要】

交流センターを拠点に事業を展開する「株式会社かすみがうら未来づくりカンパニー」を中心に、歩崎地域や近隣の観光資源を効果的に活用し、年間を通じた観光誘客によって賑わいと経済活性化がもたらされる地域づくりを行うものです。

◆歩崎地域観光振興アクションプラン「プロモーション業務委託

【ブランドイメージ構築】～早起きしても行きたい、歩崎～

【朝市の開催「HAYAOKI歩崎」】

開催日：12月20日（日）、2月21日（日）、
3月21日（日）

【日の出クルージングの実施】

開催日：12月20日（日）、2月21日（日）

【古民家江口屋 朝をテーマとした宿泊プラン】

- ・朝ごはん付き宿泊プラン
- ・レンタサイクル無料貸し出し

◆モンベルとの連携（モンベルクラブ会員への地域PR）

【モンベルフレンドフェアオンライン】

開催日：7月20日（月） ※インスタライブ参加



【事業の成果】

観光DMOの観点から、地域の様々な事業者が連携し地域資源を活用した事業を展開することで、かすみがうら未来づくりカンパニーの地域商社機能をも高め消費拡大による稼ぐ地域づくりに努めました。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
観光消費額の増加	千円	200	120
売上額の増加	千円	75,102	55,697

担当	観光課 自転車・企画推進担当
----	-------------------

款	07 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業名	15 シティプロモーション事業 (政策)				

総合計画体系	07-04-01-01		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	6,883	7,612
歳 入 計		6,883	7,612
歳出	08 旅費	2	134
	10 需用費	1,381	1,044
	11 役務費	472	0
	12 委託料	5,023	6,324
	13 使用料及び賃借料	6	110
内訳			
歳 出 計		6,883	7,612
(参 考)		当初予算額 7,732	当初予算額 8,708

【事業の概要】

シティプロモーションの推進を図り交流人口の増加による地域の活性化を目指します。

- ◆公式キャラクター (着ぐるみ) 出演実績：9回
- ◆湖山の宝フェイスブックページ 投稿回数：51回
- ◆シティプロモーションキャンペーン：4回
- ◆シティガイドブック「湖と里山とわたし。」秋・冬号新規作成：8,000部
- ◆シティセールスポスター：4種 (春夏秋冬) 各100部
- ◆湖山の宝ハンドブック制作：10,000部
- ◆公式キャラクタープロモーションツール作成 (エコバッグ)



【事業の成果】

イベント参加が困難な状況において、公式キャラクターによるプロモーションや、SNSを活用したキャンペーンを展開し情報交流人口の増加を図りました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
情報交流人口の拡大	人	23,000	13,000

担当	観光課 観光担当 自転車・企画推進担当
----	------------------------

款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費
事業名	03 観光PR推進事業（政策）				

総合計画体系	02-03-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	45	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	2,192	5,686		
歳 入 計		2,237	5,686		
歳出	08 旅費	0	14		
	10 需用費	299	705		
	11 役務費	5	104		
	12 委託料	1,933	4,863		
内訳					
歳 出 考 計		2,237	5,686		
(参 考)		当初予算額	3,025	当初予算額	7,012

【事業の概要】

ソーシャルネットワークを含めたデジタルツールを活用して、県外も含めて広域的に市の観光を周知させるとともに、市ブランド「湖山の宝」の形成による地域知名度を高めることに努めました。

○観光帆引き船PR推進業務委託

霞ヶ浦のシンボルである「帆引き船」の歴史や技術、観光帆引き船としての操業準備からシーズン終わりの片付けまで、観光としての帆引き船についてプロモーション映像を制作し、観光交流にかかる情報発信の充実を図りました。

○ホームページ管理運營業務委託

- ・「湖山の宝」ホームページ管理運營業務
- ・「湖山の宝劇場」プロモーション映像制作業務

○観光アプリ用リーフレット印刷業務委託

- ・作成部数 4,000部
- ・配布先等 市内観光施設、おもてなし料理店
帆引き船操業時に掲示。



【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症終息後の観光施設への観光交流人口の拡大に向けて、デジタルツールの活用によりホームページの閲覧数を増加させることができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
市観光協会のホームページ閲覧数	件	324,042	278,883

担当	観光課 観光担当
----	-------------

款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費
事業名	07 観光交流推進事業（政策）				

総合計画体系	02-03-01-02				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	7,264	23,857		
歳 入 計		7,264	23,857		
歳出	18 負担金、補助及び交付金	7,264	23,857		
内訳					
歳 出 考 計		7,264	23,857		
(参 考)		当初予算額	35,816	当初予算額	23,886

【事業の概要】

帆引き船の操業や各種イベントを開催することにより、観光情報の提供や知名度の向上を図るとともに、交流人口の増加やふるさと意識を高め、観光振興を図ることに努めました。

○観光協会補助金

- ・ 歩崎棧橋オープン式
- ・ 観光帆引き船操業
- ・ 歩崎公園ライトアップ

○千代田果樹観光協会補助金

- ・ パンフレットの作成
15,000部



歩崎棧橋オープン式 観光帆引き船操業

歩崎公園ライトアップ

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けて、かすみがうら祭・あゆみ祭り・帆引きフェスタは中止としたため交流人口は0となりました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
交流人口	人	0	62,000

担当	観光課 観光担当
----	-------------

款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費
事業名	09 雪入ふれあいの里公園等管理運営事業 (政策)				

総合計画体系	02-03-01-03		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	16,200	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	43,575	26,572		
歳 入 計		59,775	26,572		
歳出内訳	10 需用費	0	2,219		
	12 委託料	22,718	22,273		
	14 工事請負費	36,782	2,080		
	17 備品購入費	275	0		
歳 出 計		59,775	26,572		
(参 考)		当初予算額	21,046	当初予算額	21,203

【事業の概要】

雪入ネイチャーセンター及び三ツ石森林公園の維持管理を指定管理者に委託することで、事業の実施また当該施設の有効活用を図りました。

○指定管理者委託：茨城県県南造園土木協同組合

○ネイチャーセンター改修工事

自然環境整備交付金を活用して、ネイチャーセンターの屋根・外壁塗装・東屋設置等を行いました。

○しぜんふれあい教室：99名参加（夜の生き物ウォッチング、夏休み工作講座、タカの渡り観察会、秋の昆虫ウォッチング、秋のミニハイキング、秋の薬草観察会）



【事業の成果】

自然を保全するとともに、自然への理解を深め、もって自然保護の普及及び高揚を図りました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の中で3密を回避する対応をとったため講座受講者数は減少となりました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
公園に関する苦情件数	件	0	0
講座受講者数	人	99	273

担当	観光課 観光担当
----	-------------

款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費
事業名	11 交流センター管理運営事業（政策）				

総合計画体系	07-03-01-02			
事業期間	継続	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	2,514	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	27,652	9,140		
歳 入 計		30,166	9,140		
歳出内訳	10 需用費	69	0		
	11 役務費	27	0		
	12 委託料	29,671	8,624		
	17 備品購入費	275	517		
	21 補償、補填及び賠償金	87	0		
	26 公課費	38	0		
	歳 出 計		30,166	9,140	
(参 考)		当初予算額	28,573	当初予算額	8,865

【事業の概要】

観光交流拠点として、利用者の交流促進と、農水産物等地場産品の消費拡大を図り地域の活性化を図ります。

- ◆交流センター等指定管理委託
(交流センター、古民家江口屋、歩崎棧橋)
指定管理者：かすみがうら未来づくりカンパニー
 - ・サイクリングプログラム利用者：1,311人
 - ・かすみキッチン利用者：9,757人
 - ・かすみマルシェ利用者：16,881人
 - ・古民家江口屋宿泊者：482人



- ◆施設等修繕
 - ・古民家江口屋門前整備
(敷石、竹垣、植込)



【事業の成果】

新たな歩崎棧橋や古民家江口屋の利用によって、親水空間の創造や宿泊体験による地域資源の活用を図ることができました。また、レンタサイクルの利用促進によって観光振興が推進され、利用者の交流促進と農水産物等地場産品の消費拡大が図れました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
サイクリングによる交流人口の増加	人	1,311	1,061
地域物産の販売額の増加	千円	38,663	42,731

担当	観光課 自転車・企画推進担当
----	-------------------

款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費
事業名	13 観光サイクリング事業 (政策)				

総合計画体系	02-03-01-02		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	4,736	3,511
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	10,812	9,395
歳 入 計		15,548	12,906
歳出内訳	07 報償費	201	85
	08 旅費	2	326
	10 需用費	38	32
	12 委託料	10,072	11,479
	18 負担金、補助及び交付金	5,235	985
歳 出 計		15,548	12,906
(参 考)		当初予算額 21,639	当初予算額 15,635

【事業の概要】

つくば霞ヶ浦りんりんロードや里山を活用したサイクリングの利用促進をはじめ、宿泊型サイクリングイベントや多様なアクティビティコンテンツの運営のほか、かすみがうらエンデューロの定期的な開催により、市の観光や地場産品などの資源をPRします。

◆サイクルボール

開催期間…9/19 (土) ~3/28 (日)

参加者…962人

◆かすみがうらライドヴィレッジ

開催期間…10/3 (土) ~18日 (日)

キャンプ申込組数…89組

プロモーション…動画再生：36,677回

ライブ配信視聴回数：36,149回

◆ライドアラウンドinかすみがうら

開催期日…3/14 (日) ※順延開催

参加者…81人

登録スポット数：100か所



【事業の成果】

コロナ禍に即した取り組みとして、サイクリングキャンペーンや宿泊型サイクリングイベントのほか、地域スポーツコミッション事業において多様なアクティビティの創出に注力し、サイクリストを含むアウトドア志向層への訴求に努めました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
参加者人数 (エンデューロ)	人	0	0
来場者人数	人	81	250

担当	観光課 観光担当
----	-------------

款	07 商工費	項	01 商工費	目	04 歩崎公園管理費
事業名	04 歩崎公園管理運営事業（政策）				

総合計画体系	02-03-01-03				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	10,569	23,001		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	12,892	96,055		
歳 入 計		23,461	119,056		
歳出	08 旅費	0	130		
	12 委託料	3,346	6,066		
	14 工事請負費	20,115	112,860		
内訳					
歳 出 計		23,461	119,056		
(参 考)		当初予算額	23,893	当初予算額	127,972

【事業の概要】

市内の家族連れをはじめ近隣市民へ憩いの場を提供するとともに、観光誘客につなげ地域振興を図るため、歩崎公園の園地整備を行いました。

○歩崎公園造成工事

再編交付金を活用して歩崎公園イベント広場整備工事等・歩崎公園ベンチ整備工事を行いました。



○草刈等作業委託

歩崎公園園地内支障木の伐採を行いました。



【事業の成果】

交流人口の増加と地域の活性化を図るため、歩崎公園の施設整備を行いました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
工事進捗率	%	100	100

担当	観光課 観光担当
----	-------------

款	07 商工費	項	01 商工費	目	04 歩崎公園管理費
事業名	06 水族館管理運営事業（政策）				

総合計画体系	02-03-01-03				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	13,402		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	8,892	58,886		
歳 入 計		8,892	72,288		
歳出	10 需用費	0	213		
	12 委託料	8,198	12,177		
	14 工事請負費	0	59,169		
	17 備品購入費	275	0		
	21 補償、補填及び賠償金	419	729		
内訳					
歳 出 計		8,892	72,288		
(参 考)		当初予算額	8,245	当初予算額	69,995

【事業の概要】

霞ヶ浦の魚類や世界の珍しい生き物を飼育展示することにより、自然保護と動物福祉に対する理解を深めるとともに、学術及び教育・文化の発展に寄与しました。

○指定管理者委託：株式会社デン・ケリー

○自主事業

- ・企画展：『水族館の進化』『うまかっぺ』
- ・バレンタインイベント（23名参加）、ホワイトデーイベント（25名参加）
- ・10円投入チャレンジ：コイの餌プレゼント（43,557円売上）

○『水族館イベント ～ かすみナイト ～』

入館時間を午後7時まで延長して夜の水族館を楽しんでもらう期間限定イベントを開催しました。

開催日：12月19日（土）、20日（日）、24日（木）、25日（金）



【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症拡大にあっても、感染症対策を取りながら可能な事業展開をすることで水族館来館者数を維持しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
水族館来館者数	人	34,027	34,659

担当	観光課 観光担当
----	-------------

款	07 商工費	項	01 商工費	目	04 歩崎公園管理費
事業名	08 あゆみ庵管理運営事業（政策）				

総合計画体系	02-03-01-03		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	300	300
歳 入 計		300	300
歳出	12 委託料	300	300
内訳			
歳 出 計		300	300
(参 考)		当初予算額 300	当初予算額 300

【事業の概要】

あゆみ庵を有効に利活用するため、管理運営の一部を委託しました。

○あゆみ庵管理運営事業委託：あゆみ庵運営委員会



【事業の成果】

市民の福祉増進、教養の向上及び余暇の充実に資するため、茶道等の文化活動の利用に供しました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の中で3密を回避する対応をとったため来庵者は半減しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
あゆみ庵に関する苦情件数	件	0	0
あゆみ庵来庵者	人	210	386

担当	都市整備課 都市計画担当・開発担当
----	----------------------

款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費
事業名	04 都市計画調整事業（政策）				

総合計画体系	03-01-01-07				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	4,074	4,155		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	12,789	9,360		
歳 入 計		16,863	13,515		
歳出	12 委託料	16,863	13,354		
	18 負担金、補助及び交付金	0	161		
内訳					
歳 出 計		16,863	13,515		
(参 考)		当初予算額	17,070	当初予算額	14,180

【事業の概要】

本事業は、特色あるまちづくりを推進するため、都市計画の審議・調査、必要に応じて見直しを実施するもので、策定から10年を経過した都市計画マスタープランの見直し及びその高度化版として立地適正化計画を新たに策定するものです。

[令和2年度 主な事業内容]

- ・都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定業務（令和2年12月公表）

【策定・公表までの経過】

平成30年度	現状・課題の整理、都市づくりの理念等の検討、市民アンケート 等
令和元年度	居住誘導・都市機能誘導区域の設定、地域別構想の検討、意見交流会 等
令和2年度	計画素案作成、茨城県調整会議、関東地整協議、意見公募、都市計画審議会答申、職員向け説明会 等



都市計画マスタープラン
立地適正化計画

【事業の成果】

平成30年度～令和元年度に実施した都市構造分析や課題の整理、市民ニーズの分析などを踏まえ、都市計画マスタープランの改定及び立地適正化計画を策定し、令和2年12月に公表しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
近隣事務処理市との情報交換	回	10	12
都市マス改定及び立適策定業務の事業進捗	%	100	75

担当	都市整備課 市街地整備担当
----	------------------

款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費
事業名	09 神立駅周辺整備事業（政策）				

総合計画体系	03-01-01-01			
事業期間	期間限定複数年度（平成24年度～令和4年度）	全体事業費	1,161,800	

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額（参考）	
財源	国 県 支 出 金	0	0	
	地 方 債 等	152,900	121,000	
	そ の 他	0	0	
	一 般 財 源	46,418	86,980	
歳 入 計		199,318	207,980	
歳 出	18 負担金、補助及び交付金	199,318	207,980	
内 訳				
歳 出 計		199,318	207,980	
(参 考)		当初予算額	199,318	当初予算額 207,980

【事業の概要】

本事業は、駅前広場整備と県道の拡幅等による歩行者の安全確保や商業環境の向上とともに、駅舎の橋上化など都市機能の充実を図るものです。

- ・全体面積 2.2ha（当市 0.9ha、土浦市 1.3ha）
- ・事業認可期間 平成24年度～令和4年度（令和2年7月 認可期間変更）

[負担金内訳] (単位：千円)

区分	負担金	概要
土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合負担金	199,318	建物補償費、公共施設整備工事等 180,450
		派遣職員人件費 15,400
		事務費 3,468



4 街区店舗移転完了



6 街区使用収益開始状況

【事業の成果】

令和2年度は、仮換地の一部が造成工事完成に伴い、地権者及び借地権者の使用収益開始が図られた。また、令和3年度予定の神立駅前通り線の供用開始により、歩行者の安全確保や円滑な交通動線の確保と快適な環境形成が図られます。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
計画の進捗率（全体）	%	83.84	76.44

担当	道路課 管理担当
----	-------------

款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	01 道路橋梁維持費
事業名	03 道路維持管理事業（政策）				

総合計画体系	03-02-01-05			
事業期間	期間限定複数年度（平成27年度～令和5年度）	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額（参考）		
財源	国 県 支 出 金	30,791	60,128		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	26,882	55,755		
歳 入 計		57,673	115,883		
歳出内訳	04 共済費	0	10		
	12 委託料	20,203	83,507		
	14 工事請負費	37,470	32,366		
歳 出 計		57,673	115,883		
(参 考)		当初予算額	194,400	当初予算額	99,162

【事業の概要】

(1) 目的

本事業は、かすみがうら市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、市が管理する道路橋梁の適切な維持管理を行います。

(2) 工事・委託件数

- ・道路改修工事（橋梁補修工事） 2箇所
- ・橋梁点検（要害橋外35橋） 36箇所

(3) 工事・委託費

- ・道路改修工事 37,470,400円
- ・橋梁点検 19,245,600円



【事業の成果】

橋梁修繕計画内でも重要度の高い誇高速道路橋補修工事を実施し、市道利用者が今後も中長期にわたり通行の安全・安心が確保されるようにいたしました。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
補修計画実施件数	橋	2	3

担当	道路課 工務担当・用地担当
----	------------------

款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	02 道路橋梁新設改良費
事業名	05 市道整備事業（政策）				

総合計画体系	03-02-01-04		
事業期間	単年度のみ	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	34,649
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	177,968	232,616
歳 入 計		177,968	267,265
歳出内訳	01 報酬	2,043	884
	03 職員手当等	290	0
	04 共済費	394	0
	07 報償費	0	40
	08 旅費	76	217
	10 需用費	315	209
	12 委託料	19,345	40,570
	14 工事請負費	137,336	212,474
	15 原材料費	64	275
	その他	18,105	12,598
歳 出 計		177,968	267,265
(参 考)		当初予算額 247,597	当初予算額 278,508

【事業の概要】

(1) 目的

市道利用者の安全・安心な通行を確保するため、行政区要望及び計画路線を基に道路改良工事、舗装補修工事、排水整備工事を実施しました。

(2) 工事件数

- ・道路改良工事 2箇所
- ・舗装補修工事 6箇所
- ・排水整備工事 3箇所

(3) 整備延長

- ・道路改良工事 184.78m
- ・舗装補修工事 2,360.00m
- ・排水整備工事 517.6m

(4) 工事費

- ・道路改良工事 19,175,200円
- ・舗装補修工事 81,302,100円
- ・排水整備工事 36,859,100円



市道8-0445号線道路排水整備工事完了写真

【事業の成果】

生活道路の改修による利便性の向上及び舗装補修による通行性の向上や周辺住宅への騒音・振動軽減が図られました。また、ゲリラ豪雨等による冠水軽減対策として排水整備工事を実施し、住民の安心・安全な生活が確保されました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
整備率	%	100.00	106.74

担当	上下水道課 水道工務担当
----	-----------------

款	01 資本的支出	項	01 建設改良費	目	03 浄水場施設費
事業名	資本的施設整備事業（政策）				

総合計画体系	01-01-01-①				
事業期間	継続（平成29年度～令和8年度）		全体事業費	1,981,422	

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額(参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	52,100	231,500		
	そ の 他	10,886	0		
	一 般 財 源	16,746	46,020		
歳 入 計		79,732	277,520		
歳 出	委託料	19,650	7,560		
	工事請負費	60,082	213,463		
内 訳					
歳 出 計		79,732	277,520		
(参 考)		当初予算額	255,586	当初予算額	402,751

【事業の概要】

(1) 目的
送水・配水施設を水需要に合わせて整備するとともに、既存施設を水道施設更新計画に基づき修繕・更新工事を行うものです。

(2) 施設更新内容

1) 下稲吉第2浄水場

- ・ 自家発電機室築造 ・ 自家発電機更新
- ・ 電気室棟築造 ・ 高圧受配電並びに動力計装盤等の電気設備更新

2) 霞ヶ浦浄水場

- ・ 自家発電機更新 ・ 高圧受配電並びに動力計装盤等の電気設備更新

3) 管路施設

- ・ 地震に強い耐震管を採用した老朽管布設替え

(3) 更新実績抜粋

1) 下稲吉第2浄水場

- ・ 自家発電機室築造 ・ 自家発電機更新
- ・ 電気室築造 ・ 受変電設備一部更新



【事業の成果】

安全（安心して飲める）かつ強靱（災害に強い）で継続的な水道水の安定供給ができます。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
下稲吉第2浄水場更新工事進捗率	%	80	60
※H29から5カ年事業			

担当	上下水道課 下水道工務担当
----	------------------

款	1 資本的支出	項	1 建設改良費	目	1 公共下水道整備事業費
事業名	資本的施設整備事業				

総合計画体系	01-02-02-01				
事業期間	継続 (2017年度～2026年度)		全体事業費	-	

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	1,650	2,250		
	地 方 債 等		6,700		
	そ の 他				
	一 般 財 源	1,650	1,068		
歳 入 計		3,300	10,018		
歳出内訳	14 委託料	3,300	756		
	20 工事請負費		9,262		
歳 出 計		3,300	10,018		
(参 考)		当初予算額	3,333	当初予算額	18,584


【事業の概要】

(1) 目的
1) 下水道ストックマネジメント計画を策定し、計画的な施設の維持管理を行います。

(2) 内容
委託名：令和2年度かすみがうら市下水道ストックマネジメント計画策定業務
委託概要：下水道施設全体の老朽化進展状況を考慮し優先順位付けを行い、施設の点検・調査、修繕・改築を実施するための基本計画策定
具体的には、下水道事業の課題、長期的な改築需要の概算費用を把握しました。

公共下水道

施設	数量
処理場	1箇所
ポンプ場	3箇所
主要な管渠	30,577.29m



【事業の成果】

1) スtockマネジメント計画を策定し、国へ提出しました。
今後、支援制度として、点検・調査及び改築に要する費用について交付金を活用することができます。

2) 中長期的な視点で下水道施設の今後の老朽化の進展状況をとらえて、改築・修繕を進めていくことで事業費の削減を図り、適切に管理を行っていくことができます。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
管渠布設	m	0.00	71.3
長寿命化計画に係る改築工事	m	0.00	51.50

担当	学校教育課 教育指導室・学校教育担当
----	-----------------------

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育振興対策費
事業名	04 教育指導事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-03				
事業期間	継続	全体事業費	—		

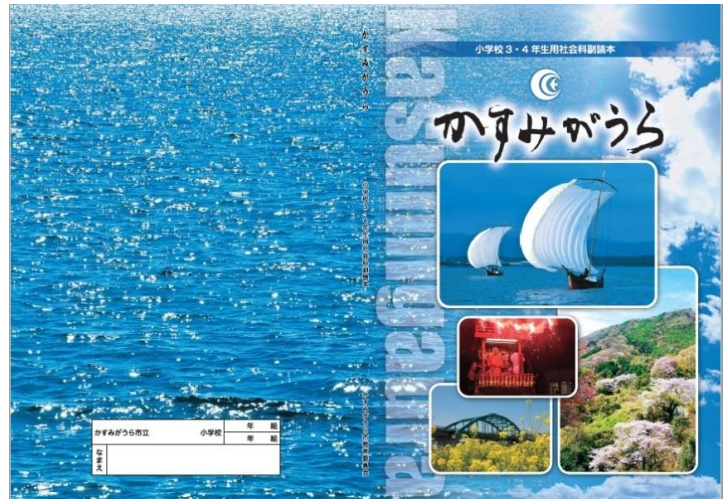
【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	28,213	1,748		
歳 入 計		28,213	1,748		
歳出	10 需用費	3,542	594		
	17 備品購入費	24,672	1,154		
内訳					
歳 出 計		28,213	1,748		
(参 考)		当初予算額	26,934	当初予算額	1,805

【事業の概要】

国（文部科学省）の学習指導要領が定期的に改正されることから、児童の学力向上を図るため、令和2年度は新しく採択された教科書にあわせて小学校の教師用指導書等の整備を図りました。

また、特別支援学級教師用教科書や小学校の社会科補助教材として副読本の整備を図りました。



小学校3・4年生用社会科副読本

【事業の成果】

教師用指導書の整備により、教職員の資質向上、指導力の強化につながり、生徒の教育内容の向上を図ることができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
改訂済み教科書内容の各授業への反映	校	11	3

担当	学校教育課 教育指導室
----	----------------

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育振興対策費
事業名	09 指導主事設置事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-03				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	0	156		
歳 入 計		0	156		
歳	07 報償費	0	156		
出内訳					
歳 出 計		0	156		
(参 考)		当初予算額	108	当初予算額	108

【事業の概要】

<p>教職員の防災意識の向上および資質向上を図るため、外部講師を招き、学校における防災教育や防災管理、組織活動等の充実、学校全体の防災力強化のための研修会や授業力向上を目指した研修会を計画していましたが、コロナ禍に伴い中止としました。</p>

【事業の成果】

コロナ禍に伴い中止としました。			
指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
教職員の資質向上や指導力強化が推進された学校数	校	0	11

担当	学校教育課 教育指導室
----	----------------

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育振興対策費
事業名	11 教育相談事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-04				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	738	978		
歳 入 計		738	978		
歳出内訳	01 報酬	38	30		
	07 報償費	692	940		
	08 旅費	9	8		
歳 出 計		738	978		
(参 考)		当初予算額	967	当初予算額	937

【事業の概要】

「市いじめ防止等に関する条例」及び各校で策定している「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止を図るため、児童生徒、保護者、教職員を対象としたCAPいばらき（いじめ防止プログラム）による体験型研修及びスクールロイヤー（弁護士）によるいじめ防止授業を実施しました。

※CAP(キャップ)とは、Child Assault Prevention (子どもへの暴力防止)の頭文字をとったものです。
CAPは、自分を大切にできる気持ちを育て、子どもが暴力から自分を守るために何ができるかを、子どもだけでなく、保護者も先生もいっしょに考えるプログラムです。



CAPいばらきによるワークショップの様子

【事業の成果】

いじめ防止対策を講じることにより、児童生徒の健やかな成長につながり、また安心・安全な学校生活を維持することができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
いじめ解消率	%	99.65	99.79

担当	学校教育課 教育指導室・学校教育担当
----	-----------------------

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育振興対策費
事業名	14 英語指導助手設置事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-03				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財 源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	18,556	18,387		
歳 入 計		18,556	18,387		
歳 出 内 訳	12 委託料	18,556	18,387		
歳 出 計		18,556	18,387		
(参 考)		当初予算額	18,556	当初予算額	23,544

【事業の概要】

国（文部科学省）の学習指導要領の改正により、令和元年度から小学校第3・4学年では外国語活動の時間が年間35時間となりました。また、第5・6学年では外国語活動が教科化され、年間70時間となったことから、小学校における外国語の教科化及び中学校英語科授業における児童生徒への体験に不足が生じないように、ALT（外国語指導助手）を配置することで、英語科授業、外国語活動における実践英語の習熟、国際理解教育における教育の充実を図りました。



【事業の成果】

言語・文化に理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を育成することで、教育内容の向上を図ることができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
外国語によるコミュニケーション能力向上（小・中学校）	校	11	11

担当	学校教育課 学校教育担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育振興対策費
事業名	23 中学校部活動支援事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-03				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	5,772	13,273		
歳 入 計		5,772	13,273		
歳出	13 使用料及び賃借料	5,264	8,905		
	18 負担金、補助及び交付金	508	4,368		
内訳					
歳 出 計		5,772	13,273		
(参 考)		当初予算額	15,000	当初予算額	15,000

【事業の概要】

中学生の競技意欲の向上と心技体の強化及び協調性の育成を目的に、各部活動に係る経費を助成し、また「かすみがうら市部活動の方針」に基づき、教職員の負担軽減と部活動の円滑な運営を推進することで生徒の健全育成を図りました。

部活動大会補助状況

■令和2年度

学校名	大会名称	大会規模	場所
霞ヶ浦中	① 関東中学生選抜ハンドボール大会	関東	栃木県
下稲吉中	② 関東中学生選抜ハンドボール大会	関東	栃木県
霞ヶ浦中	③ 読売旗争奪中学生男子ハンドボール大会	関東	茨城県
下稲吉中	④ 読売旗争奪中学生男子ハンドボール大会	関東	茨城県
下稲吉中	⑤ 読売旗争奪中学生女子ハンドボール大会	関東	茨城県

【事業の成果】

心身ともに健康で、生涯にわたりスポーツ等に親しむ習慣を培うとともに、生徒の健全な育成を図ることができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
部活動の全国大会・関東大会出場【令和2年度以前】	回	5	7
市立中学校生徒の部活動に対する加入率【令和2年度以降】	%	94.71	—

担当	学校教育課 教育指導室
----	----------------

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育振興対策費
事業名	31 子どもミライ学習事業（政策）				

総合計画体系	05-02-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

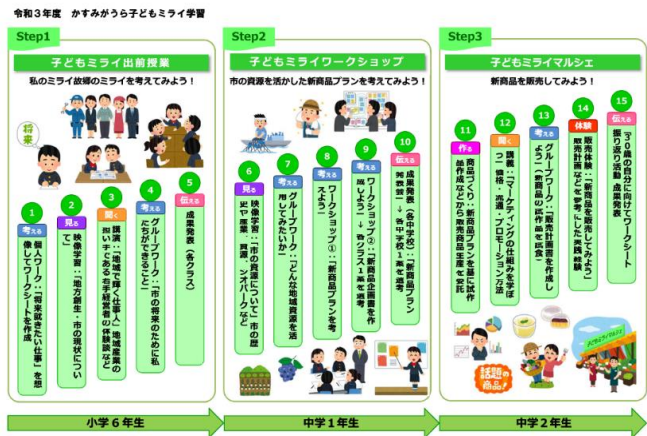
		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	1,821	1,895
歳 入 計		1,821	1,895
歳出	07 報償費	230	439
	08 旅費	0	23
	10 需用費	304	534
	12 委託料	1,287	899
内訳			
歳 出 計		1,821	1,895
(参 考)		当初予算額	当初予算額
		3,211	2,395

【事業の概要】

子どもミライ学習は、「かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けられた重点プロジェクト「子どもミライプロジェクト」に基づき、郷土を愛し誇りに思う心を育み、未来のまちづくりを考えることができる人材育成を目指して実施します。

さらに、この学習を経て郷土への理解を深めた子供たちが、進学や就職にあたるタイミングでの帰郷・定住の後押しになることを目指しています。

令和2年度は、コロナ禍のため規模を縮小しながら、小学6年生対象の地域産業の担い手から仕事や生活について話を聞く「出前授業」、中学1年生対象の市の資源を活かした新商品を考案する「ワークショップ」、中学2年生及び3年生対象の新商品を商品化してもらおう「マルシェ」を実施しました。



【事業の成果】

市内各中学校で考案した新商品は、コロナ禍のため「かすみキッチン」で商品化、販売を依頼しました。生徒たちは販売に向けてパッケージやポスターを考案するなどし、達成感や満足感を持つことができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
地産品を活用した新商品の開発	品	6	3

担当	学校教育課 学校教育担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	03 教育振興対策費
事業名	32 臨時休業支援給付金事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-02			
事業期間	単年度のみ	全体事業費	-	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	31,283	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	0	0		
歳 入 計		31,283	0		
歳出	10 需用費	144	0		
	11 役務費	670	0		
	18 負担金、補助及び交付金	30,470	0		
内訳					
歳 出 計		31,283	0		
(参 考)		当初予算額	0	当初予算額	0

【事業の概要】

<p>新型コロナウイルス感染症対策として実施された小中学校の一斉臨時休業に伴い、児童生徒の家庭生活を支援する給付金（児童生徒一人につき1万円）を支給することで、臨時休業期間中における家庭の経済負担軽減を図りました。</p>

【事業の成果】

家庭生活を支援し、臨時休業期間の家庭の経済負担軽減を図ることができました。			
指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
給付金支給対象者の申請率	%	98.96	0.00

担当	学校教育課 学校教育担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 小学校管理費
事業名	05 小学校管理運営事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-02			
事業期間	継続	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

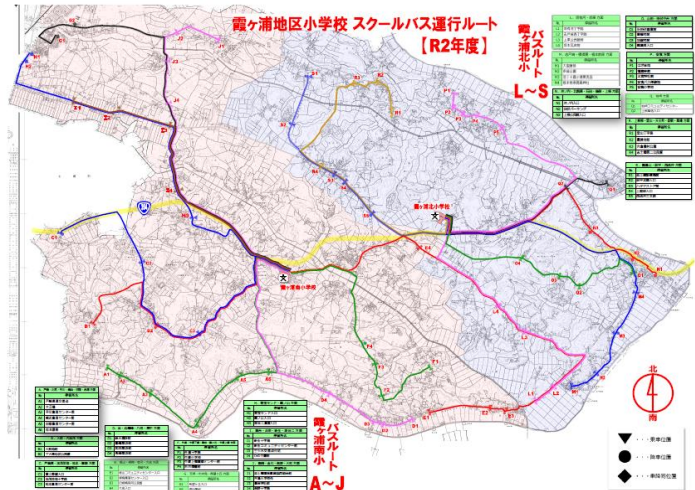
		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	30,156	33,136		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	113,581	107,459		
歳 入 計		143,737	140,595		
歳出内訳	01 報酬	4,010	0		
	03 職員手当等	496	0		
	04 共済費	474	364		
	08 旅費	125	0		
	12 委託料	137,630	137,759		
	17 備品購入費	1,001	0		
	30 賃金	0	2,471		
歳 出 計		143,737	140,595		
(参 考)		当初予算額	145,580	当初予算額	141,658

【事業の概要】

霞ヶ浦地区の学校統合による遠距離通学の児童を対象としたスクールバスについて、安全確保の徹底に努め、継続運行いたしました。

- ※霞ヶ浦南小学校 10コース
- ※霞ヶ浦北小学校 8コース

小学校施設の維持管理に係る軽作業業務を実施するため、学校校務員を4名配置（小学校8校を分担）し、児童がより良い教育環境で学校生活が過ごせるよう努めました。



【事業の成果】

小学校の施設維持管理や軽作業等、学校校務員の配置によって教育環境の整備充実、教職員の業務負担軽減に大いに効果が認められました。また、スクールバスの運行にあたっては、児童の安全と効率性の確保に努め、良好な通学環境を整備しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
学校校務員による学校環境改善【令和2年度以前】	校	8	8
スクールバスの安全運行（無事故・無違反）【令和2年度以降】	件	0	—

担当	学校教育課 教育施設担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 小学校管理費
事業名	07 小学校施設維持管理事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-02		
事業期間	単年度のみ	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	4,532	5,690
歳 入 計		4,532	5,690
歳 出	12 委託料	0	5,690
	14 工事請負費	4,532	0
内 訳			
歳 出 計		4,532	5,690
(参 考)		当初予算額 0	当初予算額 8,717

【事業の概要】

令和元年度、霞ヶ浦南小学校において特別支援学級が2クラス増加となり既存教材室及び準備室を利用しておりました。これに伴い教育環境改善のための空調設備工事を計画、令和2年度に国の補助金を活用し整備工事を実施しました。



【事業の成果】

教育環境の公平性及び児童が安全に生活できる整備をすることができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
工事進捗率	%	100	100

担当	学校教育課 学校教育担当・教育施設担当
----	------------------------

款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 小学校管理費
事業名	10 小学校給食管理運営事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-02			
事業期間	継続	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	58,271	57,136		
歳 入 計		58,271	57,136		
歳出	12 委託料	57,802	56,743		
	17 備品購入費	469	393		
内訳					
歳 出 計		58,271	57,136		
(参 考)		当初予算額	58,302	当初予算額	57,777

【事業の概要】

小学校給食調理業務を民間に委託し、小学校 6校において、自校給食方式による学校給食の運営を実施しました。

※志筑小・上佐谷小の2校分は、千代田中学校においてを併せて調理。（ケータリング方式）

また、給食室における老朽化した調理設備等の更新を行いました。



更新した調理設備
業務用冷蔵庫



更新した調理設備
冷凍ストッカー

【事業の成果】

学校給食の実施により、児童の適正な健康管理に努め、健全な育成及び教育環境「食育」の充実を図りました。また、小学校 6校の給食施設及び設備の老朽化が進んでいるため、安定した給食の供給が行えるよう設備等の更新を行いました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
老朽化した調理用施設の更新【令和2年度以前】	台	2	2
安全な学校給食の提供（無事故等）【令和2年度以降】	件	0	—

担当	学校教育課 学校教育担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 小学校教育振興費
事業名	03 小学校図書室運営事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-02				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	4,410	3,736		
歳 入 計		4,410	3,736		
歳出内訳	01 報酬	1,212	0		
	03 職員手当等	174	0		
	04 共済費	244	9		
	08 旅費	53	0		
	10 需用費	419	456		
	17 備品購入費	2,308	2,282		
	30 賃金	0	989		
	歳 出 計		4,410	3,736	
(参 考)		当初予算額	4,998	当初予算額	3,826

【事業の概要】

小学校図書室の蔵書の充実を図るため、図書を整備し、図書の振興及び児童の読書意欲の向上に資する目的で、小中学校全体で4名の図書館司書を配置し、全11校を分担対応しました。

大規模小学校については、蔵書管理システムを活用し、利便性のある環境を整備し、図書館司書を中心に市立図書館の蔵書の活用を推進しました。



図書館司書配置状況

令和2年度

No.	拠点校	担当校	事業
1	霞ヶ浦南小学校	霞ヶ浦南小学校、霞ヶ浦北小学校	小学校図書室運営事業(政策)
2	霞ヶ浦中学校	霞ヶ浦中学校、下稻吉小学校	
3	千代田中学校	千代田中学校、志筑小学校、新治小学校、上佐谷小学校	中学校図書室運営事業(政策)
4	下稻吉中学校	下稻吉中学校、七会小学校、下稻吉東小学校	

【事業の成果】

図書の振興及び児童の読書意欲の向上及び学校図書館の環境の充実を図ることができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
学校図書館の蔵書の充足率 (小学校) 【令和2年度以前】	%	133.40	132.70
児童の年間図書室利用率 【令和2年度以降】	%	95.45	—

担当	学校教育課 教育施設担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 小学校教育振興費
事業名	05 小学校教材備品整備事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-03				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	760	760		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	2,792	3,058		
歳 入 計		3,552	3,818		
歳 出	17 備品購入費	3,552	3,818		
内 訳					
歳 出 計		3,552	3,818		
(参 考)		当初予算額	3,920	当初予算額	3,920

【事業の概要】

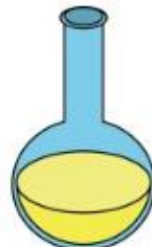
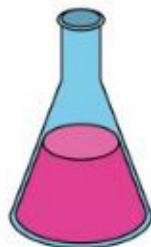
児童の学力向上及び授業の効率化と教材・教具の充実を図るため、定期的に教育振興備品の整備を行いました。

【1. 教育振興備品】

全学校より毎年要望を聞き入れ様々な学校用備品を整備しました。

【2. 理科教育振興備品】

国庫補助（1/2）事業の対象となりました。



【事業の成果】

定期的に学校要望に沿った備品を整備することにより、充実した教育環境づくりを行いました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
理科振興備品充足率【令和2年度以前】	%	45	44
整備した備品を活用した小学校【令和2年度以降】	校	8	—

担当	学校教育課 学校教育担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 小学校教育振興費
事業名	07 小学校コンピューター設置事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-02				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	91,307	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	104,458	21,060		
歳 入 計		195,765	21,060		
歳出	10 需用費	30,423	97		
	12 委託料	37,163	0		
	13 使用料及び賃借料	24,792	20,963		
	14 工事請負費	9,942	0		
	17 備品購入費	93,444	0		
	歳 出 計		195,765	21,060	
(参 考)		当初予算額	24,894	当初予算額	21,999

【事業の概要】

各小学校のコンピューター室に設置している児童用及び教師用のタブレットパソコンについて、適正な維持管理を行い、タブレットパソコンの活用方法に関する研修を実施するとともに国（文部科学省）の学習指導要領に基づくプログラミング教育を実施しました。
また、GIGAスクール構想に基づく各校内のLAN工事と1人1台端末の整備を行い、多様な子供たちの資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現しました。

学習指導要領におけるプログラミング教育の充実
(小学校は令和2年度、中学校は令和3年度から全面实施)

学習指導要領改訂

新学習指導要領

小学校 必修化

- 総則において、各教科等の特質に応じて、「プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動」を計画的に実施することを明記
- 算数、理科、総合的な学習の時間において、プログラミングを行う学習場면을例示

中学校 技術・家庭科(技術分野)

- プログラミングに関する内容を充実(「計測・制御のプログラミング」に加え、「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング」について学ぶ)

高等学校 情報科

- 全ての生徒が必ず履修する科目(共通必修科目)「情報Ⅰ」を新設し、全ての生徒が、プログラミングのほか、ネットワーク(情報セキュリティを含む)やデータベースの基礎等について学ぶ
- 「情報Ⅱ」(選択科目)では、プログラミング等について更に発展的に学ぶ

【事業の成果】

教職員への研修会等により、ICT機器に関する技術や指導力の向上を図り、プログラミング教育を実施しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
パソコン授業実施校	校	8	8

担当	学校教育課 学校教育担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 小学校教育振興費
事業名	08 小学校就学支援事業（令和2年度主要事業）				

総合計画体系	06-01-01-03				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額（参考）		
財源	国 県 支 出 金	1,211	1,214		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	14,512	18,270		
歳 入 計		15,723	19,484		
歳出内訳	07 報償費	4,501	5,855		
	12 委託料	0	550		
	19 扶助費	11,222	13,078		
歳 出 計		15,723	19,484		
(参 考)		当初予算額	22,543	当初予算額	19,698

【事業の概要】

家庭の経済的事由により就学が困難な児童に対し、就学援助費の支給及び、知的・情緒・言語等の障害により特別支援学級に在籍する児童に対し、保護者の負担軽減を図る目的で就学奨励費の支給を実施しました。

また、小学校の就学児健康診断において、就学援助制度の資料配布による制度の周知を図るとともに、就学援助対象世帯への新入学児童学用品費の就学前支給を行いました。

令和3年度に市内小学校へ入学する児童に対し、入学祝品としてランドセルを贈呈することで、保護者負担の更なる軽減を図りました。



令和3年度入学児童へ贈呈したランドセル

【事業の成果】

令和3年度の入学児童に対し、入学説明会時にランドセルの贈呈を行い、就学援助については、ホームページや制度案内の資料を個別配布により周知し、保護者負担の軽減を図ることができました。（準要保護児童生徒援助費158件、特別支援教育就学奨励費75件）

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
準要保護扶助件数＋特別支援扶助件数	件	233	235
ランドセル配布率	%	98.86	95.40

担当	学校教育課 教育指導室・学校教育担当
----	-----------------------

款	10 教育費	項	02 小学校費	目	02 小学校教育振興費
事業名	10 小学校教育振興事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-03				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	1,375	1,446		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	13,623	10,148		
歳 入 計		14,998	11,594		
歳出内訳	01 報酬	10,697	6,987		
	03 職員手当等	1,054	0		
	04 共済費	1,496	44		
	07 報償費	1,109	1,121		
	08 旅費	308	211		
	10 需用費	314	361		
	11 役務費	22	21		
	30 賃金	0	2,849		
歳 出 計		14,998	11,594		
(参 考)		当初予算額	24,086	当初予算額	12,319

【事業の概要】

理科の実験準備のため観察実験アシスタントを配置し、理科準備室の整備の推進を図りました。

夏季休業中の5日間、全小学校の4年生と5年生を対象に、算数の学力向上を目的とした「学びの広場」について、サポーターをクラスごとに配置して実施しました。

複式学級を有する小学校において、継続して複式学級にTT非常勤講師を1名ずつ（2小学校3学級）を配置し、円滑な学級運営を図りました。

警察OBの学校生活相談員を配置し、下稲吉小学校、下稲吉東小学校、七会小学校における児童の見守り等を実施しました。

卒業生（小学6年生）の卒業記念品として、英和辞典の贈呈を行いました。

学びの広場サポートプラン事業

【小学校版】算数への苦手意識は小学4、5年生ごろから

県の調査では、小学4、5年生ごろから、算数が好きでなくなる児童が増加する傾向にあります。

原因として、4、5年生までに学習する四則計算(たし算・ひき算・かけ算・わり算)についての理解の定着が不十分であることが考えられます。

【小学校版】年間を通して10時間程度の補充指導を実施

そこで、すべての公立小学校において、4・5年生を対象に、年間を通して10時間の「学びの広場」を実施します。「学びの広場」では、補充学習などを集中的に行うことで、各学年で学習する四則計算などの確実な定着を図ります。

「学びの広場」には、退職教員や非常勤講師、教員志望の大学生などを「学びの広場サポーター」として各学級に1人ずつ派遣し、教員とともにきめ細かな学習支援を行います。

【事業の成果】

児童の確かな学力を育成するため、基礎的・基本的な学習の定着や個人の習熟度に合わせた主体的な学びを引き出す教育を実施しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
全ての複式学級へのTT非常勤講師配置	学級数	3	3
全ての市立小学校への理科観察実験アシスタント配置【令和2年度以降】	校	8	—

担当	学校教育課 教育施設担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	02 小学校費	目	03 小学校整備費
事業名	05 小学校施設耐震促進事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-01		
事業期間	単年度のみ	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	4,000	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	34,016	583
歳 入 計		38,016	583
歳出	12 委託料	0	583
	14 工事請負費	38,016	0
内訳			
歳 出 計		38,016	583
(参 考)		当初予算額 0	当初予算額 1,188

【事業の概要】

下稲吉東小学校の屋内運動場について、非構造部材（天井材や照明器具等）の耐震対策工事を実施しました。



【事業の成果】

小学校施設における非構造部材耐震対策につきましては、この度の工事に伴いすべて完了しました。今後も状況に応じた対策を講じてまいります。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
事業年度内の完成	%	100	100

担当	学校教育課 教育施設担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	02 小学校費	目	03 小学校整備費
事業名	15 千代田中学校区統合小学校環境整備事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-01		
事業期間	単年度のみ	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	218,577	0
	地 方 債 等	495,400	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	146,009	46,537
歳 入 計		859,986	46,537
歳出	11 役務費	496	1,285
	12 委託料	9,500	45,252
	14 工事請負費	849,990	0
内訳			
歳 出 計		859,986	46,537
(参 考)		当初予算額 988,510	当初予算額 50,143

【事業の概要】

千代田中学校区の統合整備につきましては、令和2年7月に議会の議決を得て工事着手しております。令和2年度につきましては、前期工事としまして、校舎棟の増築工事と給食室の改築工事を実施しており、事業費の40%分の支出をしたところです。

今後は2学期9月に増築校舎（新校舎）を使用開始し、その後、既存校舎の大規模改造並びに外構工事の整備を行い、令和4年度の開校を目指します。



【事業の成果】

平成29年度策定しました「かすみがうら市小中一貫教育基本方針」及び「千代田中学校区統合小学校整備基本計画」に沿った教育空間と学校・地域が連携するコミュニティースクールの整備を進めることができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
千代田中学校区統合小学校 基本・実施設計業務	%	—	70
工事進捗率（監理業務含む）	%	40	—

担当	学校教育課 学校教育担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 中学校管理費
事業名	03 中学校管理運営事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-02
事業期間	継続
全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

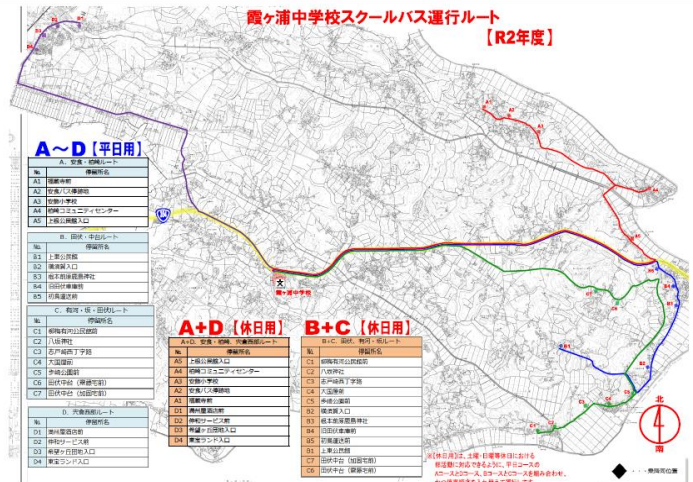
		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	35,125	34,462
歳 入 計		35,125	34,462
歳出内訳	01 報酬	2,901	0
	03 職員手当等	385	0
	04 共済費	135	12
	08 旅費	154	0
	12 委託料	30,800	30,424
	17 備品購入費	220	0
	18 負担金、補助及び交付金	530	530
	30 賃金	0	3,496
歳 出 計		35,125	34,462
(参 考)		当初予算額	当初予算額
		37,333	35,711

【事業の概要】

霞ヶ浦地区の学校統合による遠距離通学の生徒を対象としたスクールバスについて、安全確保の徹底に努め、継続運行いたしました。

※霞ヶ浦中学校 4コース

中学校施設の維持管理に係る軽作業業務を実施するため、学校校務員を3名配置し、生徒がより良い教育環境で学校生活が過ごせるよう努めました。



【事業の成果】

中学校の施設維持管理や軽作業等、学校校務員の配置によって教育環境の整備充実、教職員の業務負担軽減に大いに効果が認められました。また、スクールバスの運行にあたっては、生徒の安全と効率性の確保に努め、良好な通学環境を整備しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
学校校務員による学校環境改善【令和2年度以降】	校	3	3
スクールバスの安全運行（無事故・無違反）【令和2年度以降】	件	0	—

担当	学校教育課 学校教育担当・教育施設担当
----	------------------------

款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 中学校管理費
事業名	08 中学校給食管理運営事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-02				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	46,175	45,377		
歳 入 計		46,175	45,377		
歳出	12 委託料	45,678	44,902		
	17 備品購入費	497	475		
内訳					
歳 出 計		46,175	45,377		
(参 考)		当初予算額	46,178	当初予算額	45,763

【事業の概要】

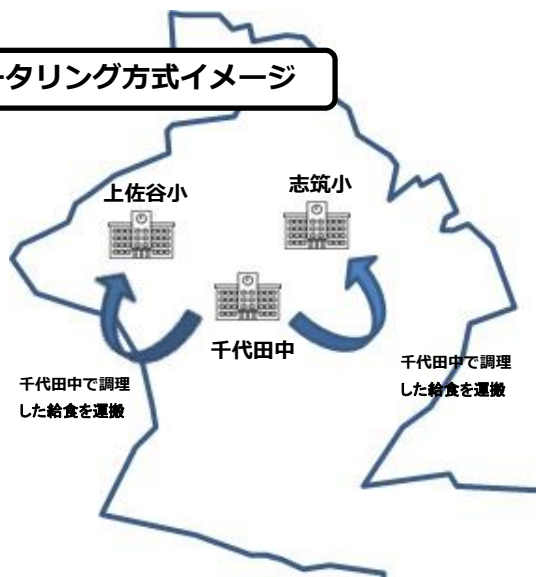
中学校給食調理業務を民間に委託し、中学校 3校において、自校給食方式による学校給食の運営を実施しました。
※千代田中学校では、志筑小・上佐谷小の2校分を併せて調理。
(ケータリング方式)

また、給食室における老朽化した調理設備等の更新を行いました。



更新した調理設備業務用冷蔵庫

ケータリング方式イメージ



【事業の成果】

学校給食の実施により、生徒の適正な健康管理に努め、健全な育成及び教育環境「食育」の充実を図りました。また、中学校 3校の給食施設及び設備の老朽化が進んでいるため、安定した給食の供給が行えるよう設備等の更新を行いました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
老朽化した調理用施設の更新【令和2年度以前】	台	1	1
安全な学校給食の提供（無事故等）【令和2年度以降】	件	0	—

担当	学校教育課 学校教育担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 中学校教育振興費
事業名	04 中学校図書室運営事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-02				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	6,343	4,355		
歳 入 計		6,343	4,355		
歳出内訳	01 報酬	3,639	0		
	03 職員手当等	509	0		
	04 共済費	707	27		
	08 旅費	88	0		
	10 需用費	122	157		
	17 備品購入費	1,278	1,280		
	30 貸金	0	2,891		
歳 出 計		6,343	4,355		
(参 考)		当初予算額	8,015	当初予算額	4,510

【事業の概要】

中学校図書室の蔵書の充実を図るため、図書を整備し、図書の振興及び生徒の読書意欲の向上に資する目的で市内中学校 3校をそれぞれ拠点校として、図書館司書 1名ずつ配置しました。

市内中学校 3校ともに、蔵書管理システムを活用し、利便性のある環境を整備し、図書館司書を中心に図書の活用を推進しました。



図書館司書配置状況

令和3年度

No.	拠点校	担当校	事業
1	霞ヶ浦南小学校	霞ヶ浦南小学校、霞ヶ浦北小学校	小学校図書室運営事業(政策)
2	霞ヶ浦中学校	霞ヶ浦中学校、下稻吉小学校	
3	千代田中学校	千代田中学校、志筑小学校、新治小学校、上佐谷小学校	中学校図書室運営事業(政策)
4	下稻吉中学校	下稻吉中学校、七会小学校、下稻吉東小学校	

【事業の成果】

図書の振興及び生徒の読書意欲の向上及び学校図書館の環境の充実を図ることができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
学校図書館蔵書の充足率 (中学校) 【令和2年度以前】	%	76.00	76.60
生徒の年間図書室利用率 【令和2年度以降】	%	98.94	—

担当	学校教育課 教育施設担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 中学校教育振興費
事業名	06 中学校教材備品整備事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-03		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	625	625
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	3,269	2,902
歳 入 計		3,894	3,527
歳 出	17 備品購入費	3,894	3,527
内 訳			
歳 出 計		3,894	3,527
(参 考)		当初予算額 3,967	当初予算額 3,650

【事業の概要】

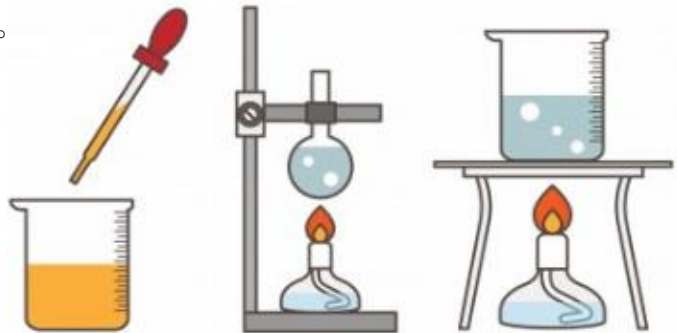
生徒の学力向上及び授業の効率化と教材・教具の充実を図るため、定期的に教育振興備品の整備を行いました。

【1. 教育振興備品】

全学校より毎年要望を聞き入れ様々な学校用備品を整備しました。

【2. 理科教育振興備品】

国庫補助（1/2）事業の対象となりました。



【事業の成果】

定期的に学校要望に沿った備品を整備することにより、充実した教育環境づくりを行いました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
理科振興備品充足率【令和2年度以前】	%	49	47
整備した備品を活用した中学校【令和2年度以降】	校	3	—

担当	学校教育課 学校教育担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 中学校教育振興費
事業名	08 中学校コンピューター設置事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-02				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	48,841	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	56,731	11,983		
歳 入 計		105,572	11,983		
歳出内訳	10 需用費	17,203	8		
	12 委託料	17,482	0		
	13 使用料及び賃借料	11,975	11,975		
	14 工事請負費	6,094	0		
	17 備品購入費	52,818	0		
	歳 出 計		105,572	11,983	
(参 考)		当初予算額	11,996	当初予算額	12,106

【事業の概要】

各中学校のパソコン教室に設置している生徒用及び教師用のタブレットパソコンについて、適正な維持管理を行い、タブレットパソコンの活用方法に関する研修を実施するとともに国（文部科学省）の学習指導要領に基づくプログラミング教育を実施しました。

また、GIGAスクール構想に基づく各校内のLAN工事と1人1台端末の整備を行い、多様な子供たちの資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現しました。

学習指導要領におけるプログラミング教育の充実
(小学校は令和2年度、中学校は令和3年度から全面实施)

学習指導要領改訂

新学習指導要領

小学校 必修化

- 総則において、各教科等の特質に応じて、「プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動」を計画的に実施することを明記
- 算数、理科、総合的な学習の時間において、プログラミングを行う学習場面を例示

中学校 技術・家庭科(技術分野)

- プログラミングに関する内容を充実(「計測・制御のプログラミング」に加え、「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング」について学ぶ)

高等学校 情報科

- 全ての生徒が必ず履修する科目(共通必修科目)「情報Ⅰ」を新設し、全ての生徒が、プログラミングのほか、ネットワーク(情報セキュリティを含む)やデータベースの基礎等について学ぶ
- 「情報Ⅱ」(選択科目)では、プログラミング等について更に発展的に学ぶ

【事業の成果】

教職員への研修会等により、ICT機器に関する技術や指導力の向上を図り、プログラミング教育を実施しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
パソコン授業実施校	校	3	3

担当	学校教育課 教育指導室・学校教育担当
----	-----------------------

款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 中学校教育振興費
事業名	11 中学校教育振興事業（政策）				

総合計画体系	06-01-01-03				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	1,314	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	14,388	10,369		
歳 入 計		15,702	10,369		
歳出内訳	01 報酬	11,151	9,168		
	03 職員手当等	1,305	0		
	04 共済費	994	90		
	07 報償費	399	493		
	08 旅費	390	355		
	10 需用費	148	264		
	18 負担金、補助及び交付金	1,314	0		
	歳 出 計	15,702	10,369		
(参 考)		当初予算額	19,528	当初予算額	10,726

【事業の概要】

警察OBの学校生活相談員を配置し、霞ヶ浦中学校及び下稲吉中学校における生徒の見守り等を実施しました。

令和4年4月～の小中一貫教育の連携を図るため、市内中学校3校へ非常勤講師を1名ずつ配置し、小学校への外国語（英語）の乗り入れ授業を実施しました。

コロナ禍に伴い、学力診断テストは中止とされましたが、生徒の学習定着度の確認のため、代替テストである学力定着度調査を実施し、生徒の習熟度を確認するとともに指導の充実を図りました。

卒業生（中学3年生）の卒業記念品として、印鑑セットの贈呈を行いました。



中学3年生卒業記念品（印鑑セット）

【事業の成果】

学習しやすい環境を整えるため、学校生活相談員による生徒の見守り活動や個別指導等を行い、生徒が安定した学校生活を送れるよう努めました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
小中学校連携ITの配置による外国語（英語）の乗り入れ授業の実施	校	11	11

担当	学校教育課 教育施設担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	03 中学校費	目	03 中学校整備費
事業名	05 中学校施設耐震促進事業（政策）				

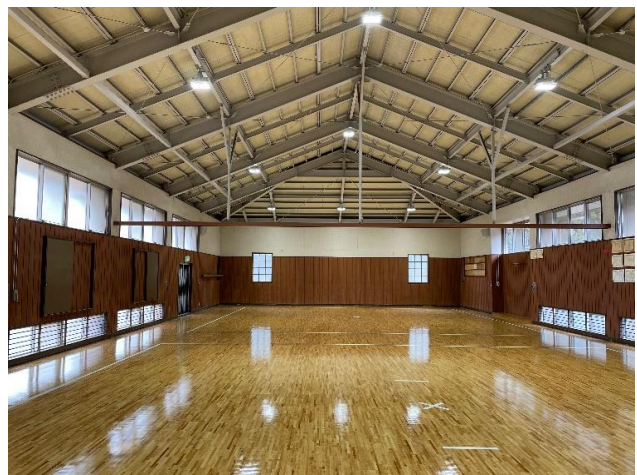
総合計画体系	06-01-01-01		
事業期間	単年度のみ	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	6,666	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	19,206	1,320
歳 入 計		25,872	1,320
歳出	12 委託料	0	1,320
	14 工事請負費	25,872	0
内訳			
歳 出 計		25,872	1,320
(参 考)		当初予算額 25,927	当初予算額 1,342

【事業の概要】

千代田中学校の武道場及び屋内運動場について、非構造部材（照明やバスケットゴール等）の耐震対策工事を実施しました。



【事業の成果】

この度の改修に併せて老朽化した武道場床改修についても実施をしたため、より一層の環境整備ができました。今後は、未実施状態の千代田中屋内運動場の天井対策についての整備検討を進めてまいります。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
事業年度内の完成	%	100	100

担当	学校教育課 教育施設担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	03 中学校費	目	03 中学校整備費
事業名	09 下稲吉中学校施設整備事業（政策）				

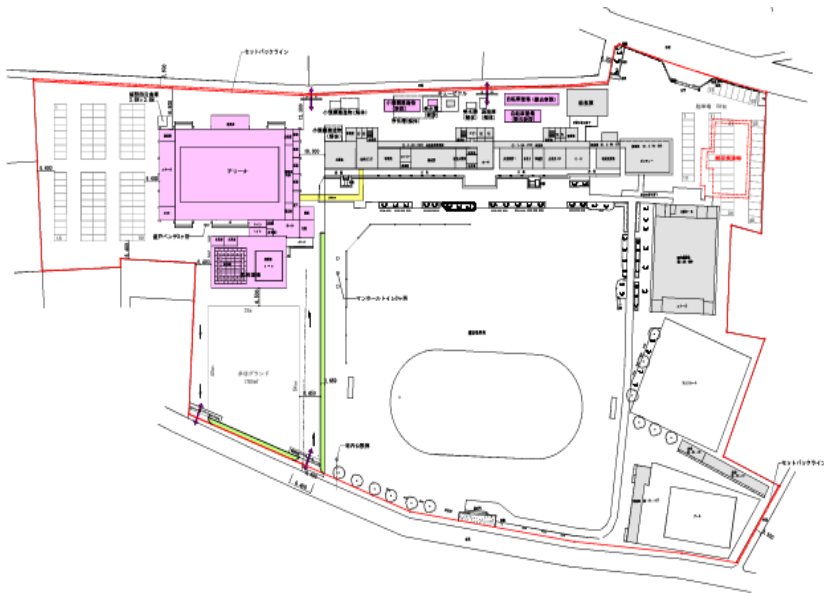
総合計画体系	06-01-01-02			
事業期間	期間限定複数年度（令和元年度～令和5年度）	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額（参考）		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	10,700	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	8,295	71,678		
歳 入 計		18,995	71,678		
歳出	12 委託料	7,060	2,244		
	14 工事請負費	11,935	0		
	16 公有財産購入費	0	68,948		
	21 補償、補填及び賠償金	0	486		
内訳					
歳 出 計		18,995	71,678		
(参 考)		当初予算額	48,796	当初予算額	72,958

【事業の概要】

屋内運動場整備については、必要な活動面積確保や防災機能を検討するための基本設計分(30%)が完了しました。
また、取得した土地の拡張工事(粗造成)を実施しました。



【事業の成果】

基本設計において、必要とする条件を盛り込んだ図面が完了しました。今後、令和3年度に詳細な実施設計を行い、令和4年度に工事着手ができるよう作業を進めてまいります。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
屋内運動場 基本・実施設計業務	%	30	—
工事進捗率（拡張工事）	%	100	—

担当	生涯学習課 社会教育担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業名	03 生涯学習推進事業（政策）				

総合計画体系	06-02-01-01			
事業期間	継続	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	334	669
歳 入 計		334	669
歳出内訳	07 報償費	53	179
	08 旅費	0	58
	10 需用費	100	136
	11 役務費	2	32
	13 使用料及び賃借料	8	12
	18 負担金、補助及び交付金	170	252
	計	334	669
(参 考)		当初予算額 916	当初予算額 978

【事業の概要】

▶生涯学習推進事業

- (1) 子ども大学の開講（年3回）
小学5～6年生に大学教授クラスの講師によるハイレベルな授業機会を提供しました。
- (2) 大人大学の開講（2講座2回）
地域や市政への参加意識を高める機会として20～40歳代をターゲットに開講しました。
- (3) 高齢者大学（中止）
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため全ての授業を中止しました。
- (4) 関係団体への補助金交付
青少年健全育成のため市PTA連絡協議会へ170,000円の補助金を交付しました。
- (5) 人権教育
各種の人権研修会・勉強会への参加を通して指導者の育成と人権啓発を図りました。



(子ども大学オンライン授業「昆虫のふしぎ」)



(大人大学「防災キャンプ」講座)

【事業の成果】

子ども大学はコロナの影響で、3回の授業でしたが、うち1回をZOOMを使用したオンライン授業に変更し、コロナ禍でも可能な事業展開をしました。

大人大学は、大人クラブと連携して、今流行のキャンプを通しながら、災害時に役立つ知識やスキルを身につける「防災キャンプ」講座を開講しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
子ども大学参加延べ人数	人	66	273
大人大学参加延べ人数	人	16	46

担当	生涯学習課 社会教育担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業名	05 青少年育成事業（政策）				

総合計画体系	05-02-01-02				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	8,675	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	1,034	2,383		
歳 入 計		9,709	2,383		
歳出	07 報償費	0	465		
	10 需用費	19	45		
	11 役務費	466	91		
	12 委託料	467	965		
	18 負担金、補助及び交付金	8,757	817		
	歳 出 計		9,709	2,383	
(参 考)		当初予算額	2,858	当初予算額	2,771

【事業の概要】

▶青少年育成事業

- (1) 青少年育成かすみがうら市民会議事業
KWCS事業（親子ふれあいレクリエーション）
ジュニア和太鼓教室（あゆみ太鼓の指導）
- (2) 青少年相談員の活動支援
巡回指導、店舗訪問
- (3) 家庭の教育力充実事業
小中学校及び幼児教育施設へ家庭教育学級
を委託するとともに活動を支援しました。
- (4) 関係団体への活動補助
青少年の健全育成のため市子ども会育成連合会へ150,000円、
ガールスカウトへ27,000円を活動補助。
- (5) 高校生会の活動支援
地域の担い手づくりのため、市の事業等への活動を支援しました。
- (6) 成人式実行委員会の活動支援、成人式中止の伴う新成人応援特別給付金の交付
成人式実行委員会が主体となり、恩師によるメッセージビデオを企画・撮影・編集、
市のHPへアップ。成人式中止に伴い、新成人応援特別給付金を交付しました。



(ジュニア和太鼓教室)



(店舗訪問活動)

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図る観点から成人式中止したことに伴い、仕事や学業等において不安を抱えている新成人に対しエールを送ることを目的に、新成人応援特別給付金を支給しました。給付者数429人（対象者456人 給付率94.08%）

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
成人式実行委員会独自の企画数	企画	1	2
高校生会の自主企画とボランティア協力の数	回	6	16

担当	生涯学習課 社会教育担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業名	07 女性団体行政事業（政策）				

総合計画体系	07-02-01-02				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	547	700
歳 入 計		547	700
歳 出	18 負担金、補助及び交付金	547	700
内 訳			
歳 出 計		547	700
(参 考)		当初予算額 700	当初予算額 700

【事業の概要】

▶女性団体行政事業

(1) 関係団体への補助金交付

女性の自立と社会参加を図り、明るい家庭、住みよい地域づくりのための活動を行う地域女性団体連絡会へ543,000円、女性団体代表者連絡協議会へ4,000円の補助金を交付しました。



(地域女性団体連絡会広報誌発行)

【事業の成果】

様々な市事業へのボランティア活動について協力を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市事業自体が中止となりました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
地域女性団体連絡会年間事業参加者数	人	41	759
女性団体代表者連絡協議会年間事業参加者数	人	10	640

担当	生涯学習課 社会教育担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業名	09 学校家庭地域の連携協力推進事業（政策）				

総合計画体系	05-02-01-02				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	391		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	337	450		
歳 入 計		337	841		
歳出内訳	07 報償費	0	29		
	12 委託料	337	812		
歳 出 計		337	841		
(参 考)		当初予算額	954	当初予算額	961

【事業の概要】

▶学校家庭地域の連携協力推進事業

- (1) 放課後子どもプラン・土曜学習運営委員会
学校・家庭・地域の連携協力による次世代を担う子どもたちを健やかに育む体制づくりを目指し、同委員会を設置し、計画の策定、事業実施後の検証、評価等を行いました。
- (2) 放課後の学習支援
 - 放課後等の学習支援（下稲吉中）
11回 80人参加
 - 放課後の体験教室（中止）
- (3) 土曜日の学習支援
 - いなよし学習広場（大塚児童館）
21回 178人参加
 - 寺子屋運武館（運武館）
13回 65人参加



(いなよし学習広場)



(寺子屋 運武館 (理科実験))

【事業の成果】

「地域の子どもは地域で育てる」という考え方にに基づき、学校と地域が連携し、同事業が継続的に実施できました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
放課後の学習支援の年間の参加延べ人数	人	80	1,131
土曜日の学習支援の年間の参加延べ人数	人	243	837

担当	生涯学習課 社会教育担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業名	10 生涯学習市民協働事業（政策）				

総合計画体系	06-02-01-02				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	0	1,101		
歳 入 計		0	1,101		
歳出内訳	12 委託料	0	1,101		
歳 出 計		0	1,101		
(参 考)		当初予算額	1,200	当初予算額	1,200

【事業の概要】

▶生涯学習市民協働事業

- (1) ふれあい生涯学習フェア実行委員会会議の開催
実行委員会会議 3回 20人参加
参加団体説明会 中止
- (2) ふれあい生涯学習フェアの開催
新型コロナウイルス感染拡大予防のため、ふれあい生涯学習フェアは中止となった。

切り絵同好会



【サイトURL】(左)大塚しん (右)藤上真利恵
 【代表者】金澤 高志子
 【団体連絡先】029-821-9880
 【活動時間・場所】毎月第3金曜日 午前9時30分～午前11時30分 豊後青少年ホーム2階
 【活動内容】切り絵の制作、切り絵の学習、毎年ふれあい生涯学習フェア、カヌーがうららぎに参加し作品の展示を行っている。あじさい園にて、所定の期間作品展示、美術館等に於ける作品展の展示(年1回)

生涯学習課HPにて団体紹介

【事業の成果】

新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度は中止。代替案として市生涯学習課ホームページ上に、文化団体の紹介ページ（※掲載意向があった団体のみ）を作成しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
ふれあい生涯学習フェア参加者数	人	0	2,300
ふれあい生涯学習フェア参加団体数	団体	0	107

担当	生涯学習課 社会教育担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業名	11 生涯学習情報提供事業（政策）				

総合計画体系	06-02-01-04				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	452	399
歳 入 計		452	399
歳出	10 需用費	422	370
	11 役務費	31	29
内訳			
歳 出 計		452	399
(参 考)		当初予算額 514	当初予算額 514

【事業の概要】

▶生涯学習情報提供事業

- (1) 生涯学習情報誌「マナビィかすみがうら」の発行情報誌を年4回発行。
- ・情報版（A4両面） 事業の紹介等
 - ・講座版（A3両面） 講座の募集等



(マナビィかすみがうら)

- (2) 生涯学習ホームページを活用した事業展開
正式な担当者を決めて、館、係を横断的に情報を掲載できるよう努めました。また、平成30年度からは新鮮な情報を提供するためにSNSの発信に努めています。



(人材バンク登録者名簿)

- (3) 生涯学習人材バンク事業
地域の一芸に秀でた人材を登録し、市民の求めに応じて講師を紹介しました。

【事業の成果】

ホームページの閲覧回数は、通知文などに生涯学習課のQRコードを付けたことや、SNSで、イベントなどをリアルタイムで情報発信したことにより、増加しました。
市子連の総会等で人材バンクの一覧表を配布し、単位子ども会の活動による人材バンクの講師活用を進めました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
生涯学習ホームページアクセス回数	回	35,375	30,692
生涯学習推進人材バンク利用件数	件	3	20

担当	霞ヶ浦中地区公民館 学習担当
----	-------------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	02 公民館費
事業名	16 霞ヶ浦中地区公民館コミュニティ活動事業（政策）				

総合計画体系	07-01-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	3,040	5,037		
歳 入 計		3,040	5,037		
歳出内訳	01 報酬	0	2,336		
	07 報償費	2,402	459		
	08 旅費	0	23		
	10 需用費	502	872		
	11 役務費	136	135		
	13 使用料及び賃借料	0	1,104		
	17 備品購入費	0	108		
歳 出 計		3,040	5,037		
(参 考)		当初予算額	6,811	当初予算額	6,634

【事業の概要】

霞ヶ浦中地区公民館（下大津支館・美並支館・牛渡支館・佐賀支館・安飾支館・志士庫支館の6支館）の各種公民館コミュニティ活動。幼児から高齢者まで幅広い年齢層の住民が交流・参加できる身近な事業を提供することで、地域住民と協力しながら学習や意識の啓発を行い、親睦と融和、更には地域振興を図りました。

〔支館共通事業〕1回 106人

・合同歩く会

※各支館による球技大会（ソフトボール、ソフトバレーボール）、ハイキング、移動講座など実施予定であったがコロナにより中止

〔支館独自事業〕4回 77人

・いってみっかサロン（安飾）

※各支館イベントは役員による企画・計画を行ったが、コロナによりほとんどのイベントが中止

〔3中地区合同事業〕1回 24人（内霞公 8人）

・研修会 講演拝聴 Zoom体験



(合同歩く会)

【事業の成果】

支館独自事業である安飾いってみっかサロンでは、地域の高齢者も気軽に集まり、健康体操や物づくりなど活発なコミュニティ活動を行うことができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
事業参加者人数	人	191	2,353
支館独自の事業（企画）	事業	6	6

担当	霞ヶ浦中地区公民館 学習担当
----	-------------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	02 公民館費
事業名	17 霞ヶ浦中地区公民館講座事業（政策）				

総合計画体系	07-01-01-03		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	2,091	1,025		
歳 入 計		2,091	1,025		
歳出内訳	07 報償費	145	438		
	10 需用費	24	36		
	11 役務費	20	10		
	13 使用料及び賃借料	14	541		
	14 工事請負費	239	0		
	17 備品購入費	1,650	0		
歳 出 計		2,091	1,025		
(参 考)		当初予算額	3,002	当初予算額	1,047

【事業の概要】

多種多様なニーズに応じた講座を開き、学ぶことを通しての生きがいづくりや仲間と触れ合う楽しさなど、自己表現や学習成果発表の場を提供するとともに、受講後、サークル活動へ移行できるよう支援を行いました。

〔視聴覚講座〕6回 65人

- ・土曜名画座（毎月：計12回）コロナにより6回中止

〔後期：7講座〕21回 延221人

- ・トロッケン&プリザーブドフラワー、生ごみリサイクル！EMぼかし容器を活用しよう、手作り甘味噌、きずな深まる！親子ヨガ、布ぞうり作り、生活が明るく楽しく元気になることば教室、写真やスタンプで楽しむLINE（スマホ）

※コロナにより中止となった前期で、できなかった講座をメインに実施



(きずな深まる！親子ヨガ講座)



(手作り甘味噌講座)

【事業の成果】

講座の作品をあじさい館ホールに展示することで、発表の場を提供することができました。コロナ禍におけるソーシャルディスタンスを保ちながら工夫をし、開講することができましたがサークル化には至りませんでした。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
講座の年間受講率	%	81.51	89.18
講座終了後、サークル化した講座数	講座	0	1

担当	千代田中地区公民館 学習担当
----	-------------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	02 公民館費
事業名	18 千代田中地区公民館講座事業（政策）				

総合計画体系	07-01-01-03		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	166	407
歳 入 計		166	407
歳 出	08 報償費	152	377
	11 需用費	14	30
内 訳			
歳 出 計		166	407
(参 考)		当初予算額	526
		当初予算額	525

【事業の概要】

千代田中地区公民館講座の企画及び開講を行いました。
また、講座受講後できる限りサークル活動へ移行するよう支援を行いました。



(ピラティス講座)

〔前期：6講座企画〕 33回企画

【6講座全てコロナにより募集中止】

スマホ安全活用、笑いヨガ、まゆクラフト、
ピラティス、腸活、免疫アップ！薬膳料理



(手作りしめ縄講座)

〔後期：6講座企画【うち※はコロナにより開催中止】〕

28回企画【うち※(6回)はコロナにより開催中止】

延182人

スマホ安全活用(※)、手作りしめ縄、手作り味噌、
ピラティス、腸活、足裏健康



(足裏健康講座)

【事業の成果】

例年根強い人気のある講座は継続実施しましたが、それ以外はなるべく新しい講座の導入に努め、今回はコロナを意識し、免疫力を高めるものや健康増進を目指すものなど、コロナに打ち勝つ体力増強のための講座も実施しました。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
講座の年間受講率	%	98.61	74.77
講座終了後、サークル化した講座数	件	0	0

担当	下稲吉中地区公民館 学習担当
----	-------------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	02 公民館費
事業名	19 下稲吉中地区公民館講座事業（政策）				

総合計画体系	07-01-01-03		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	172	340
歳 入 計		172	340
歳出	08 報償費	157	308
	11 需用費	15	33
内訳			
歳 出 計		172	341
(参 考)		当初予算額 526	当初予算額 525

【事業の概要】

下稲吉中地区公民館講座の企画及び開講を行いました。
また、講座受講後できる限りサークル活動へ移行するよう支援を行いました。

〔前期：6講座企画〕28回企画

【6講座全てコロナにより募集中止】

スマホ安全基礎、夏休み将棋入門、夏休み囲碁入門、
自力整体、パーソナルカラー、ストーンアート



(自力整体)

〔後期：6講座企画〕

25回企画・22回実施【※はコロナにより3回減】
延172人

スマホ安全基礎、親子クリスマスリース作り、
レディース護身空手エクササイズ、自力整体、
パーソナルカラー、ローラー鍼健康法 (※)



(レディース護身空手エクササイズ)



(親子クリスマスリース作り教室)

【事業の成果】

なるべく新しい講座の導入に努め、今回はコロナを意識し、免疫力を高めるものや健康増進を目指すものなど、コロナに打ち勝つ体力増強のための講座も実施しました。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
講座の年間受講率	%	117.65	91.26
講座終了後、サークル化した講座数	件	1	0

担当	千代田中地区公民館 学習担当
----	-------------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	02 公民館費
事業名	22 千代田中地区公民館コミュニティ活動事業（政策）				

総合計画体系	07-01-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	1,056	1,697		
歳 入 計		1,056	1,697		
歳出内訳	01 報酬	0	750		
	07 報償費	776	255		
	08 旅費	0	10		
	10 需用費	197	153		
	11 役務費	84	118		
	13 使用料及び賃借料	0	411		
歳 出 計		1,056	1,697		
(参 考)		当初予算額	2,191	当初予算額	1,893

【事業の概要】

地域住民の代表「コミュニティ推進委員」が企画提案した地区独自の特色あるコミュニティ事業を市民協働の関係で事業展開。これらの活動を通して、地域の活力を引出し、個性豊かで誇りの持てる、魅力ある地域づくりを推進していきました。



コミュニティ推進委員合同研修会

〔主な事業〕

- ・歴史とジオのサロン講座 後期10回
4回開催 延べ213人
- ・交流サロン「ちよだ広場」 36回開催 延べ783人
- ・歴史とジオのサロン講座 前期10回【中止】
- ・音楽鑑賞会、ちよだ落語会、料理教室【中止】
- ・歴史とジオのサロン講座 前期10回【中止】
- ・交流サロン「うたごえ広場」【中止】
- ・3中地区公民館コミュニティ推進委員合同研修 24人
(うち千中8人) 講演、Zoom体験、交流 (活動報告)



交流サロン「ちよだ広場」

【事業の成果】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため活動の自粛、事業の中止が相次ぐ中、コミュニティ推進委員自らが「できる事業」を模索し、各部の活動紹介や参加を募った「第1号コミュニティだより」を発行することができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
事業参加者人数	人	1,004	2,207

担当	下稲吉中地区公民館 学習担当
----	-------------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	02 公民館費
事業名	23 下稲吉中地区公民館コミュニティ活動事業（政策）				

総合計画体系	07-01-01-01		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	959	2,531
歳 入 計		959	2,531
歳出内訳	01 報酬	0	750
	07 報償費	750	60
	08 旅費	0	7
	10 需用費	126	358
	11 役務費	84	8
	12 委託料	0	28
	13 使用料及び賃借料	0	1,320
歳 出 計		959	2,531
(参 考)		当初予算額 3,027	当初予算額 2,622

【事業の概要】

地域住民の代表「コミュニティ推進委員」が企画提案した地区独自の特色あるコミュニティ事業を市民協働の関係で事業展開します。これらの活動を通して、地域の活力を引出し、個性豊かで誇りの持てる、魅力ある地域づくりを推進します。



「第2号コミュニティだより」発刊

〔主な事業〕

- ・交流サロン「おしゃべりカフェ」11回開催 延べ22人
- ・みんなの夏まつり、体験型文化祭【中止】
- ・3中地区公民館コミュニティ推進委員合同研修 24人 (うち下中8人) 講演、Zoom体験、交流 (活動報告)



オンライン会議研修

【事業の成果】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため活動の自粛、事業の中止が相次ぐ中、コミュニティ推進委員自らが「できる事業」を模索し、活動紹介や推進委員20名の顔写真とコメント入りのメンバー紹介を掲載した「第2号コミュニティだより」を発行することができました。また3中地区公民館合同研修会では、各地区間の交流を行うとともに「コロナ禍におけるコミュニティ活動」と題して講演やオンライン会議研修を開催することができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
事業参加者人数	人	30	4,354

担当	歴史博物館 文化振興担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	03 文化振興費
事業名	03 文化財保護事業（政策）				

総合計画体系	06-03-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	2,317	2,340		
歳 入 計		2,317	2,340		
歳出	07 報償費	680	620		
	08 旅費	0	1		
	10 需用費	362	620		
	12 委託料	1,061	344		
	18 負担金、補助及び交付金	214	753		
内訳					
歳 出 計		2,317	2,340		
(参 考)		当初予算額	3,004	当初予算額	2,467

【事業の概要】

椎名家住宅の維持管理等に関する補助事業、出島のシイ延命対策事業、指定文化財等の公開・管理事業、指定文化財指定事業、指定文化財説明板製作等を行いました。指定文化財一斉公開については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。



(出島のシイ延命対策事業)

【文化財説明看板の設置】

市指定文化財の中志筑千手観音堂に文化財説明看板を新規設置しました。



(千手観音堂と文化財説明看板)

【事業の成果】

貴重な当市の文化財の保護、伝承することで、市民には郷土への愛着と誇り、市外の方々には、当市の歴史的魅力を紹介することができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
文化財一斉公開の延べ入場者数	人	0	3,060

担当	生涯学習課 社会教育担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	03 文化振興費
事業名	07 文化芸術振興事業（政策）				

総合計画体系	06-03-01-03			
事業期間	継続	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	758	1,000		
歳 入 計		758	1,000		
歳 出	18 負担金、補助及び交付金	758	1,000		
内 訳					
歳 出 計		758	1,000		
(参 考)		当初予算額	1,005	当初予算額	1,005

【事業の概要】

▶文化芸術振興事業

(1) 関係団体への補助金交付

市民が芸術文化にふれる機会を提供するとともに、団体会員が生きがい、やりがいをもって活動に取り組めるよう文化協会に758,000円の補助金を交付しました。あわせて、会員増加のため、マナビいかすみがうらに文化団体の自主講座を掲載し支援しました。(令和元年度18講座掲載、令和2年度18講座掲載)



(マナビいかすみがうら)



(文化協会だより)

【事業の成果】

文化団体の活動を支援しましたが、文化協会の状況は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動を制限したり活動が出来ない団体も多くありました。(平成30年度43団体、令和元年度43団体、令和2年度40団体)

指 標 区 分	単 位	令 和 2 年 度	令 和 元 年 度
文化協会加盟者数 前年比較増減	人	-185	-5

担当	歴史博物館 文化振興担当
----	-----------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	03 文化振興費
事業名	09 帆引き船保存活用対策事業（政策）				

総合計画体系	06-03-01-04		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源 計	1,407	1,257
歳 入 計		1,407	1,257
歳出	08 旅費	27	22
	18 負担金、補助及び交付金	1,380	1,234
内訳			
歳 出 計		1,407	1,257
(参 考)		当初予算額	1,970
		当初予算額	1,613

【事業の概要】

帆引き船の操船、帆引き網漁の操業に関する保護及び伝承、さらに県・国指定文化財の指定を目指した帆引き船と帆引き網漁法の調査研究の実施や霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会の活動を支援しました。



(帆引き船組み上げ作業)

- 【「霞ヶ浦の帆引き網漁の技術」総合調査委員会】
- ・土浦市・行方市との三市合同会議等を9回実施しました。
 - ・帆引き船の組み上げ調査、聞き取り調査、実測作業等3回実施しました。



(帆引き船実測調査)

【事業の成果】

土浦市、かすみがうら市、行方市3市合同で「霞ヶ浦の帆引き網漁の技術」総合調査委員会（令和元年度から令和5年度）が立ち上がり、今後の帆引き船にかかわる技術や文化の保全、伝承に弾みがつきました。令和2年度は土浦市が事務局となり調査が行われました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
帆引き船民俗調査	回	3	2
帆引き船関係機関との連携（3市合同会議等）	回	9	10

担当	図書館 図書館
----	------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	04 図書館費
事業名	03 図書館運営事業（政策）				

総合計画体系	06-02-01-03			
事業期間	継続（平成27年度～）	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	29,321	12,141
歳 入 計		29,321	12,141
歳出内訳	01 報酬	10,114	0
	03 職員手当等	1,452	0
	04 共済費	1,950	695
	07 報償費	72	199
	08 旅費	381	0
	10 需用費	58	3,999
	11 役務費	14	15
	12 委託料	619	659
	14 工事請負費	12,539	0
	その他	2,122	6,573
歳 出 計		29,321	12,141
(参 考)		当初予算額 30,881	当初予算額 12,367

【事業の概要】

図書館の適正な管理運営に努め、誰もが利用しやすく、親しめる図書館環境づくりを行いました。

○図書館環境改善工事（照明工事）

水銀灯からLEDの照明へ切替工事を行いました。

○図書除菌機設置

コロナ禍においても安心して本が借りることができるように本館と分館に1台ずつ図書除菌機を設置しました。

○ウエルネスプラザのブックポスト設置

図書館利用者の利便性を図るため集客力のあるウエルネスプラザにブックポストを設置しました。



(図書除菌機)



(ウエルネスプラザブックポスト)

【事業の成果】

水銀灯からLEDの照明へ切替工事をしたことによって約71%も消費電力が削減され、さらに発熱も抑えられるため、冷房効率が上がりました。また図書除菌機については利用者に「安心して本が借りられる」とご好評をいただいています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
図書等貸出し冊数（本館・分館・婦人の家）	冊	72,297	70,365

担当	図書館 図書館
----	------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	04 図書館費
事業名	05 蔵書整備事業（政策）				

総合計画体系	06-02-01-03			
事業期間	継続（平成27年度～）	全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額（参考）		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	6,195	6,149		
歳 入 計		6,195	6,149		
歳出	17 備品購入費	6,195	6,149		
内訳					
歳 出 計		6,195	6,149		
(参 考)		当初予算額	6,230	当初予算額	6,230

【事業の概要】

計画的に図書などを購入するとともに読書ボランティアの協力を得て、定期的な蔵書点検作業の実施と適正な蔵書数を目指して不要図書の除籍を行いました。

① 図書・視聴覚資料の購入

図書購入費（6,195千円）3,964冊

（本館 3,412冊 分館 552冊）

視聴覚資料（468千円）52点（DVD32点・CD20点）

② 図書館相互貸借及びリクエスト 5,350件（リクエストは一人、1ヶ月5冊まで（購入1冊・相互貸借4冊））

・相互貸借（借受け 259件、貸出し 164件）

・リクエスト事業 4,927件

③ 不用図書の除籍

除籍数7,235冊



（特設コーナー）

【事業の成果】

読書ボランティアの協力を得て定期的な蔵書点検作業の実施と適正な蔵書数を目指し、除籍に取り組んだことで、空き書架ができ新しい蔵書を購入し、配架することができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
図書蔵書数（本館、分館）	冊	132,866	136,536
図書等貸出冊数（本館、分館 婦人の家）	冊	72,297	70,365

担当	図書館 図書館
----	------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	04 図書館費
事業名	07 ブックスタート事業（政策）				

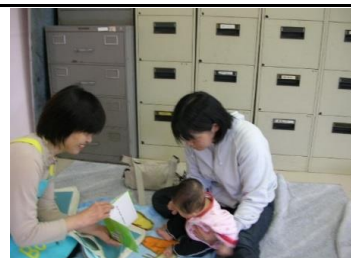
総合計画体系	05-01-01-01				
事業期間	継続（平成27年度～）		全体事業費	—	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	373	370
歳 入 計		373	370
歳 出	10 需用費	373	370
内 訳			
歳 出 計		373	370
(参 考)		当初予算額 380	当初予算額 374

【事業の概要】

親子のきずなを深め本の好きな心、豊かな子どもを育成する一助となるよう、家庭での絵本の読み聞かせをとするきっかけづくりとして実施しており、絵本やアドバイス集をパック詰めにして令和2年度はコロナ禍のため「4か月児健診」の際に保健師が手渡しています。



(ブックスタート)

	対象者(組)	参加者(組)	参加率
令和2年度	203	179	88.17%
令和元年度	204	187	91.62%

【事業の成果】

ブックスタート（4か月児健診）の実施回数は8回で参加親子は179組でした。図書利用カード申請書を同封し、新規加入促進を図りました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
4か月健診参加親子でブックスタートパックを受け取った割合	%	88.17	91.62

担当	歴史博物館 資料担当
----	---------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	05 歴史博物館費
事業名	03 歴史博物館管理運営事業（政策）				

総合計画体系	06-03-01-02		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額(参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	5,226	11,865
歳 入 計		5,226	11,865
歳出内訳	07 報償費	1,266	1,271
	08 旅費	27	122
	10 需用費	2,332	2,717
	11 役務費	168	367
	12 委託料	1,037	1,055
	13 使用料及び賃借料	396	198
	14 工事請負費	0	5,335
	17 備品購入費	0	800
歳 出 計		5,226	11,865
(参 考)		当初予算額	当初予算額
		5,736	12,688

【事業の概要】

当市や日本第二位の面積を誇る霞ヶ浦が育んだ歴史や文化を市民、そして多くの市外の方々に発信する事業を行っています。主に展示事業の特別展・企画展の開催、教育普及事業としての講座や体験教室の開催を行いました。

【特別展・企画展】「本堂家侍医 金子寿仙」入館者900名、「鯉する霞ヶ浦」入館者1,786名、「御陵衛士 伊東甲子太郎の顕彰活動」入館者1,908名

【主な講座・体験教室】「親子古代米づくり教室」延べ人数119名参加、「茨城の戦国武将と城跡」延べ人数52名参加、「地区史跡学習会」延べ人数55名参加、「茨城の大名と諸藩」延べ人数36名参加、「筑波山の山路を辿る」延べ人数21名参加。



(「本堂家侍医 金子寿仙」)



(親子古代米づくり教室)

【事業の成果】

特別展・企画展は、複数のマスコミ各社にも取り上げられ、広くPRできたことにより多くの入館者を得ることができました。講座・体験教室では、市民を中心に当市の魅力情報を伝えることができ、郷土の愛着や誇りをもつなどふるさと教育に寄与することができました。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
特別展・企画展の回数	回	3	3
歴史博物館の入館者数	人	8,385	11,555

担当	歴史博物館 ジオパーク推進担当
----	--------------------

款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	05 歴史博物館費
事業名	05 ジオパーク推進事業（政策）				

総合計画体系	06-03-01-04				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	1,213	872		
歳 入 計		1,213	872		
歳出	07 報償費	10	40		
	08 旅費	15	171		
	10 需用費	738	143		
	18 負担金、補助及び交付金	450	519		
内訳					
歳 出 計		1,213	872		
(参 考)		当初予算額	1,825	当初予算額	1,270

【事業の概要】

ジオパークは「貴重な大地の遺産」を保護・活用する「公園」とも言われ、「ジオ」を理解し地域の価値を再発見することは、地域活性化にも通じます。筑波山地域ジオパーク推進協議会は4年間の事業や課題を整理するなどして再認定審査に対応し認定を継続できました。更に活動を進めるためアクションプラン等を作成します。市でもジオパークについて「理解する・守る・触れ合う・つなぐ・続く」そのための取組を進めていきます。

(1) ジオに関する専門講座、ジオを絡めた歴史・文化講座の開催

知識を習得し体験して、地域への理解を楽しく深めてもらう 筑波山の山路2回21名、古代米教室6回119名

(2) ミニ・ジオツアー、各種展示の実施

各種イベント等の際に、市内外にジオパークを発信した

(3) PR活動等を実施

案内チラシや啓発品の配布などで参加者の輪を広げた

(4) 筑波山地域ジオパークの普及・啓発

協議会事業の実施・役割分担、再認定審査対応
関東ブロック研修実施・参加など

(5) 学校教育への出前授業の全校導入準備

郷土教育の一環として次年度実施のため準備をした



協議会市民活動部会の様子

【事業の成果】

みんなに愛される地域づくりをすることにより、地域活性化、地域のブランド力向上、イメージアップが図られました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
講座参加者数	人	140	298

担当	スポーツ振興課 スポーツ振興担当
----	---------------------

款	10 教育費	項	05 保健体育費	目	01 保健体育総務費
事業名	03 かすみがうらマラソン大会開催事業（政策）				

総合計画体系	06-02-01-05		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	3,750	3,000
歳 入 計		3,750	3,000
歳出	18 負担金、補助及び交付金	3,750	3,000
内訳			
歳 出 計		3,750	3,000
(参 考)		当初予算額	当初予算額
		3,750	3,000

【事業の概要】

補助金を交付し土浦市との共催事業として大会を運営する。本大会は、日本陸上競技連盟公認競技会であるとともに、国際視覚障害者スポーツ協会公認大会にもなっており、正式名称は「かすみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソンかすみがうら大会」です。(令和2年4月19日(日)中止)



加茂入口付近(H31. 4写真)



常陽銀行付近(H31. 4写真)

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となる。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
参加者数 (過去2年分の平均参加率75%を目標)	人	0	16,643

担当	スポーツ振興課 スポーツ振興担当
----	---------------------

款	10 教育費	項	05 保健体育費	目	01 保健体育総務費
事業名	05 市民ふれあいスポーツ推進事業（政策）				

総合計画体系	06-02-01-05		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	407	12,920
歳 入 計		407	12,920
歳出内訳	04 共済費	0	120
	07 報償費	10	610
	08 旅費	0	50
	10 需用費	10	3,974
	11 役務費	5	191
	12 委託料	250	500
	17 備品購入費	132	0
	18 負担金、補助及び交付金	0	6,750
	30 賃金	0	725
	歳 出 計		407
(参 考)		当初予算額	2,780
		当初予算額	11,050

【事業の概要】

各種スポーツ教室、スポーツ大会、スポーツイベントの開催や、総合型地域スポーツクラブ等との連携によるスポーツ・レクリエーション活動の機会を提供します。市民へ小中学校の体育館・グラウンドを開放します。



ペタンク
R1.5.25



グランドゴルフ
R1.8.31



市民マラソン
R2.2.1

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため市民ふれあいスポーツフェア及び市民マラソン等は中止となるが、親子ランニング教室は実施してスポーツ活動の場所を提供しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
市民ふれあいスポーツフェア参加者数	人	0	1,200
市民マラソン大会参加者数	人	0	760

担当	スポーツ振興課 スポーツ振興担当
----	---------------------

款	10 教育費	項	05 保健体育費	目	01 保健体育総務費
事業名	07 スポーツ団体育成事業（政策）				

総合計画体系	06-02-01-07		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	2,298	3,570
歳 入 計		2,298	3,570
歳出	12 委託料	242	500
	18 負担金、補助及び交付金	2,056	3,070
内訳			
歳 出 計		2,298	3,570
(参 考)		当初予算額	当初予算額
		4,500	4,500

【事業の概要】

体育協会加盟団体は市長杯大会及び各種大会の開催、各事業への協力及びスポーツ少年団の健全育成の支援、新たな競技種目の発展と市民スポーツ活動の機会を高めました。

【スポーツ少年団市長杯】

- ・4団体で実施 (R2.11~R3.3)

【体育協会補助】

- ・加盟20団体
- ・会員数 1,736人



スポ少市長杯

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮したことにより参加団体及び参加人数が減少したが、スポーツ団体の活動支援を図ることで、子供から高齢者までスポーツに親しむ場の提供をすることができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
少年団及び体育協会市長杯大会参加者数	人	1,693	2,604

担当	議会事務局 庶務調査担当、議事担当
----	----------------------

款	01 議会費	項	01 議会費	目	01 議会費
事業名	03 市議会運営事業（政策）				

総合計画体系	07-05-02-01				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	5,167	5,841
歳 入 計		5,167	5,841
歳出	10 需用費	0	821
	12 委託料	5,060	4,913
	13 使用料及び賃借料	108	107
内訳			
歳 出 計		5,167	5,841
(参 考)		当初予算額 6,474	当初予算額 6,277

【事業の概要】

本会議及び委員会などの会議録及び資料を議会のホームページ上に掲載し、広く市民に公表している。また、平成24年第2回定例会(24年6月)より、本会議の様子のライブ配信、市内公共施設4か所をはじめ、議会のホームページ上において録画映像を配信している。平成30年第2回定例会からは、インターネットを通じて議会ホームページにて議会のライブ配信を開始しました。



【事業の成果】

議会ホームページ上で、本会議の様子をライブ中継、また、録画映像を配信したことにより、市民の議会への関心を高め、より開かれた議会を実現することができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
ライブ配信及び録画放映再生件数	件	8,321	7,112
傍聴者数 (議場及び市内公共施設 4 か所)	人	145	434

担当	議会事務局 議事担当
----	---------------

款	01 議会費	項	01 議会費	目	01 議会費
事業名	05 市議会だより編集印刷事業（政策）				

総合計画体系	07-04-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	-		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	861	859
歳 入 計		861	859
歳出	10 需用費	861	859
内訳			
歳 出 計		861	859
(参 考)		当初予算額 920	当初予算額 898

【事業の概要】

議会だより編集特別委員会を定例会終了後に開催し、一般質問の内容や審議結果などを中心に掲載記事の検討を重ね、定例会閉会月の2ヶ月後の20日に議会だよりを発行しています。また、次回定例会の会期日程や一般質問の要旨を掲載した議会だよりお知らせ版を同時に発行しています。発行回数はいずれも年4回で、行政区長を通じて全戸に配布、また、市内コンビニ、金融機関の窓口等にも設置しています。



	議会だより編集特別委員会 開催日	
No.61	R2. 4. 21	R2. 4. 28
No.62	R2. 7. 21	R2. 7. 28
No.63	R2. 10. 20	R2. 10. 27
No.64	R3. 1. 26	R3. 2. 4

【事業の成果】

議会だよりの全戸配布及び議会ホームページへの掲載を行ったことにより、市民の議会活動への関心を高め、議会の活動状況等を広く伝えることができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
議会だより閲覧件数	件	861	868

担当	議会事務局 庶務調査担当、議事担当
----	----------------------

款	01 議会費	項	01 議会費	目	01 議会費
事業名	06 市議会研修活動事業（政策）				

総合計画体系	07-05-02-01			
事業期間	継続	全体事業費	-	

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	0	856		
歳 入 計		0	856		
歳出	08 旅費	0	838		
	10 需用費	0	18		
内訳					
歳 出 考 計		0	856		
(参 考)		当初予算額	2,497	当初予算額	2,497

【事業の概要】

常任委員会及び議会運営委員会その他特別委員会の委員が行政課題の解決又は事務事業の比較調査、政策研究のため、先進的な事例に取り組み、同じような地域性を有する若しくは参考とする自治体などを視察するための準備(視察先自治体との連絡調整や交通手段の手配等)などを補佐しています。



総務委員会



文教厚生委員会



産業建設委員会

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、先進地視察については、各委員会において協議し、令和2年度は中止しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
視察研修報告書件数	件	0	5

担当	議会事務局 庶務調査担当
----	-----------------

款	01 議会費	項	01 議会費	目	01 議会費
事業名	08 市議会政務活動費事業（政策）				

総合計画体系	07-05-02-01				
事業期間	継続	全体事業費	-		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	1,987	2,219		
歳 入 計		1,987	2,219		
歳出	18 負担金、補助及び交付金	1,987	2,219		
内訳					
歳 出 計		1,987	2,219		
(参 考)		当初予算額	2,400	当初予算額	2,400

【事業の概要】

かすみがうら市議会政務活動費の支給に関する条例及び規則に基づき、議員1人あた年額15万円(月額1万2,500円)を限度として政務活動費を交付します。

政務活動費の手引き



令和2年3月
かすみがうら市議会

政務活動費 収支内訳 (円)

	交付額	残金
12議員	1,800,000	244,336
2会派	600,000	168,464
計	2,400,000	412,800

【事業の成果】

必要な経費の一部として政務活動費を交付したことにより、議員の調査研究その他活動の充実を図り、その使途を明確にし、これまで以上に議員活動の活性化が図られ、議会の政策形成機能や監視機能が向上しました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
執行率	%	82.8	92.5

担当	農業委員会事務局 農地担当
----	------------------

款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	07 農地利用対策費
事業名	03 農用地利用集積特別対策事業（政策）				

総合計画体系	02-01-01-04		
事業期間	継続	全体事業費	—

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	2,853	2,767
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	1,702	2,829
歳 入 計		4,555	5,596
歳出内訳	01 報酬	2,803	0
	03 職員手当等	383	0
	04 共済費	543	460
	08 旅費	111	0
	10 需用費	144	262
	11 役務費	66	77
	12 委託料	0	99
	13 使用料及び賃借料	506	1,561
	17 備品購入費	0	141
	30 賃金	0	2,996
歳 出 計		4,555	5,596
(参 考)		当初予算額 5,603	当初予算額 6,332

【事業の概要】

本事業は、農業者の安定的な農業経営と農地の効率的な利用促進のため、地域の農業を熟知した農業委員及び農地利用最適化推進委員が農地中間管理事業等を活用するなど、地域の担い手への農地の集積・集約化を図り、遊休農地の発生や違反転用を防止することを目的としています。

また、荒廃農地を解消するため、農業関係機関との調整を行い、地域の農業振興に寄与することを目的としています。



荒廃農地解消事例
【牛渡地区】

【事業の成果】

令和2年度はコロナ禍の影響で接触を伴う活動が困難な中で、農業委員及び農地利用最適化推進委員が地域の担い手への農地の集積・集約化に尽力し、遊休農地の発生や違反転用の防止を図り、荒廃農地の解消等、地域の農業振興に寄与することが出来ました。

	単位	令和 2年度	令和元年度
荒廃農地解消面積	ha/年	8.60	12.40
農地の利用集積	ha/年	32.90	48.80

担当	消防総務課 管理係
----	--------------

款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 常備消防費
事業名	04 常備消防事業（政策）				

総合計画体系	03-03-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	0	0
	そ の 他	1,000	0
	一 般 財 源	2,524	2,440
歳 入 計		3,524	2,440
歳出内訳	01 報酬	1,550	0
	03 職員手当等	220	0
	04 共済費	271	221
	08 旅費	47	0
	12 委託料	0	330
	17 備品購入費	1,027	0
	18 負担金、補助及び交付金	410	410
	30 賃金	0	1,479
歳 出 計		3,524	2,440
(参 考)		当初予算額 3,738	当初予算額 2,759

【事業の概要】

【目的】

地域の防火意識の高揚等を図り、もって安全な家庭及び災害に強い地域社会を形成する事を目的とし、幼少年女性防火委員会に補助金を交付します。

根拠：市事業費助成型補助金交付要綱第64条（幼少年女性防火委員会補助金）

【活動内容】

幼少年女性防火委員会（消防本部 警防課内）

わかぐり保育所幼年消防クラブ	25名
志筑小学校少年消防クラブ	15名
新治小学校少年消防クラブ	15名
霞ヶ浦南小学校少年消防クラブ	65名
霞ヶ浦北小学校少年消防クラブ	44名
霞ヶ浦地区女性防火クラブ	31名
合計	195名



防火委員会・・・各クラブの育成指導、啓発宣伝、表彰事務
各クラブ・・・火災予防広報・火災予防ポスター作成等

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、限られた事業のみの実施となったが幼年消防クラブ、少年消防クラブ、女性防火クラブの健全な育成が図れていることから、防火意識の高揚が図られています。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
幼少年女性防火委員会のクラブ活動の促進	回	4	13
会計年度任用職員採用率	%	100	100

担当	消防総務課 消防団係
----	---------------

款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 非常備消防費
事業名	03 消防団運営事業（政策）				

総合計画体系	03-03-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財源	国 県 支 出 金	0	0		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	850	1,584		
歳 入 計		850	1,584		
歳出	07 報償費	0	34		
	18 負担金、補助及び交付金	850	1,550		
内訳					
歳 出 考 計		850	1,584		
(参 考)		当初予算額	1,594	当初予算額	1,593

【事業の概要】

【目的】

火災における消火活動はもとより、台風、豪雨、地震などの自然災害における国民の生命、身体、財産を脅かすあらゆる災害に対応し、組織的な活動を行えるよう、訓練等を実施します。

【事業内容】

- ・消防団分団補助金
分団で実施する訓練等に対する補助金



【事業の成果】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、限られた事業のみの実施となったが、各分団で定期的に訓練を実施し防災力の向上を図ることができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
各ポンプ操法大会出場分団数	分団	0	12

担当	消防総務課 管理係
----	--------------

款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設整備費
事業名	02 消防車両整備事業（政策）				

総合計画体系	03-03-01-05				
事業期間	継続	全体事業費	—		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)		
財 源	国 県 支 出 金	14,391	15,596		
	地 方 債 等	21,300	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	3,497	28,998		
歳 入 計		39,188	44,594		
歳 出 内 訳	12 委託料	694	972		
	17 備品購入費	38,494	43,622		
歳 出 計		39,188	44,594		
(参 考)		当初予算額	40,039	当初予算額	45,101

【事業の概要】

【目的】

複雑多様化する各種災害の発生が予測される中、これらの災害に迅速かつ的確に対応するためには、消防車両、救急車両の更新と、消防用機械器具の更新及び大規模な修繕・整備が不可欠となることから、年次計画に基づき、老朽化した消防・救急車両及び積載する消防用機械器具の更新を実施します。

- (1) 令和2年度更新車両
西消防署 高規格救急自動車更新
- (2) 国庫支出金（補助基準額の2分の1）
（緊急消防援助隊設備整備費補助金）
- (3) 車両更新基準： 消防車両
17年

救急車両
8年又は走行距離 15万



令和2年度更新救急車両

【事業の成果】

年次計画に基づき、老朽化した消防・救急車両及び積載する消防用機械器具の更新をすることで、市民の安全・安心を守ることができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
車両更新台数	台	1	3

担当	消防総務課 管理係
----	--------------

款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設整備費
事業名	04 消防水利整備事業（政策）				

総合計画体系	03-03-01-01				
事業期間	継続	全体事業費	-		

【事業費】 (単位：千円)

		令和 2年度決算額	令和元年度決算額 (参考)
財源	国 県 支 出 金	0	0
	地 方 債 等	11,100	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	8,280	8,000
歳 入 計		19,380	8,000
歳出	10 需用費	554	0
	12 委託料	589	0
	14 工事請負費	17,230	6,082
	17 備品購入費	1,007	1,918
内訳			
歳 出 計		19,380	8,000
(参 考)		当初予算額 20,019	当初予算額 8,083

【事業の概要】

【目的】消防法第20条により、「消防に必要な水利施設は、当該市町村がこれを設置し、維持し及び管理する」とされています。主な内容は、災害対策のため、火災時に使用する消防水利を確保し、消火活動の強化を図ることを目的とします。

○令和3年4月1日現在の消火栓数 1,085基
 (1) 新設消火栓設置場所 上稲吉地内 2基
 三ツ木地内 1基
 有河地内 1基



○令和3年4月1日現在の防火水槽数 869基
 (2) 新設防火水槽設置場所 安食地内 1基



(3) 消火栓用ホース更新に伴う購入 (50本)
 *消防団車両積載ホースについて、老朽化が進んでいることから、消防団車両ホースの更新へと切り替え、令和3年度より一時休止としました。



【事業の成果】

年次計画に基づいた水利設置を実施する事ができました。

指 標 区 分	単位	令和 2年度	令和元年度
設置有効稼働率	%	100	100

担当	消防総務課 消防団係
----	---------------

款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設整備費
事業名	06 消防団施設整備事業（政策）				

総合計画体系	03-03-01-01				
事業期間	期間限定複数年度（平成28年度～令和3年度）	全体事業費	46,407,242		

【事業費】 (単位：千円)

		令和2年度決算額	令和元年度決算額（参考）		
財源	国 県 支 出 金	1,162	604		
	地 方 債 等	0	0		
	そ の 他	0	0		
	一 般 財 源	8,761	8,444		
歳 入 計		9,923	9,048		
歳 出	12 委託料	902	834		
	14 工事請負費	5,533	5,368		
	17 備品購入費	3,488	2,846		
内 訳					
歳 出 計		9,923	9,048		
(参 考)		当初予算額	10,487	当初予算額	7,731

【事業の概要】

▶消防団詰所トイレ設置

【目的】 消防団詰所は災害・訓練など様々な用途で消防団員が使用しています。複雑多様化する災害に備えて、市民の安全・安心を守るため、トイレの整備されていない詰所へ整備することを目的とし、より良い環境づくりを目指します。

【設置計画】 平成28年より令和3年までの6年間で、年間、2箇所の詰所トイレ整備を進めております。本年度で、合計12箇所の整備が完了します。

▶消防団設備整備費補助金事業

【目的】 消防団の災害対応能力の向上を図るため設備の整備を促進することを目指します。

【令和2年度各分団に整備した資機材】

(1) 切創防止用保護衣



(2) 投光器



(3) 発電機



【事業の成果】

災害対応に万全を期すとともに地域消防力の充実強化を図ることができました。

指 標 区 分	単位	令和2年度	令和元年度
消防団詰所トイレ設置状況	%	100	100